資料2

平成26年
3月議会提出議案
（当初予算分）

主要事項説明書

福 知 山 市

目　次

◆会計別予算額一覧 2

◆一般会計予算概要と市税の状況 3

◆一般会計歳入予算 5

◆一般会計歳出予算（目的別） 7

◆一般会計歳出予算（性質別） 9

◆平成 26 年度当初予算案　市長マニフェスト事業一覧 11

◆平成 26 年度当初予算案　その他の主要事業一覧 15

◆会計別予算額一覧

平成26年度　各会計予算集計表

（単位　千円）

会計別			平成26年度	平成25年度	増減額	伸率(%)
一般会計			40,610,000	39,900,000	710,000	1.8
特別会計	国民健康保険事業		7,949,600	7,970,900	△ 21,300	△ 0.3
	国民健康保険診療所費		57,000	46,700	10,300	22.1
	と畜場費		28,800	27,300	1,500	5.5
	簡易水道事業		1,005,000	883,000	122,000	13.8
	宅地造成事業		38,600	30,000	8,600	28.7
	休日急患診療所費		21,200	21,900	△ 700	△ 3.2
	公設地方卸売市場事業		7,000	7,500	△ 500	△ 6.7
	農業集落排水施設事業		939,100	894,400	44,700	5.0
	石原土地区画整理事業		995,900	1,341,300	△ 345,400	△ 25.8
	福知山駅周辺土地区画整理事業		158,200	530,800	△ 372,600	△ 70.2
	介護保険事業	保険事業勘定	7,335,800	7,177,100	158,700	2.2
		介護サービス事業勘定	33,000	30,600	2,400	7.8
	河守土地区画整理事業		33,100	48,400	△ 15,300	△ 31.6
	下夜久野地区財産区管理会		172	172	0	0.0
	後期高齢者医療事業		1,831,800	1,882,000	△ 50,200	△ 2.7
	地域情報通信ネットワーク事業		834,000	546,800	287,200	52.5
	小計		21,268,272	21,438,872	△ 170,600	△ 0.8
企業会計	水道事業		3,341,800	2,380,600	961,200	40.4
	下水道事業		5,802,400	4,664,300	1,138,100	24.4
	病院事業	市民病院事業	11,488,900	10,984,700	504,200	4.6
		国保新大江病院事業	341,650	42,844	298,806	697.4
	小計		20,974,750	18,072,444	2,902,306	16.1
合計			82,853,022	79,411,316	3,441,706	4.3

◆一般会計予算概要と市税の状況

一般会計 予算概要

（単位　千円、%）

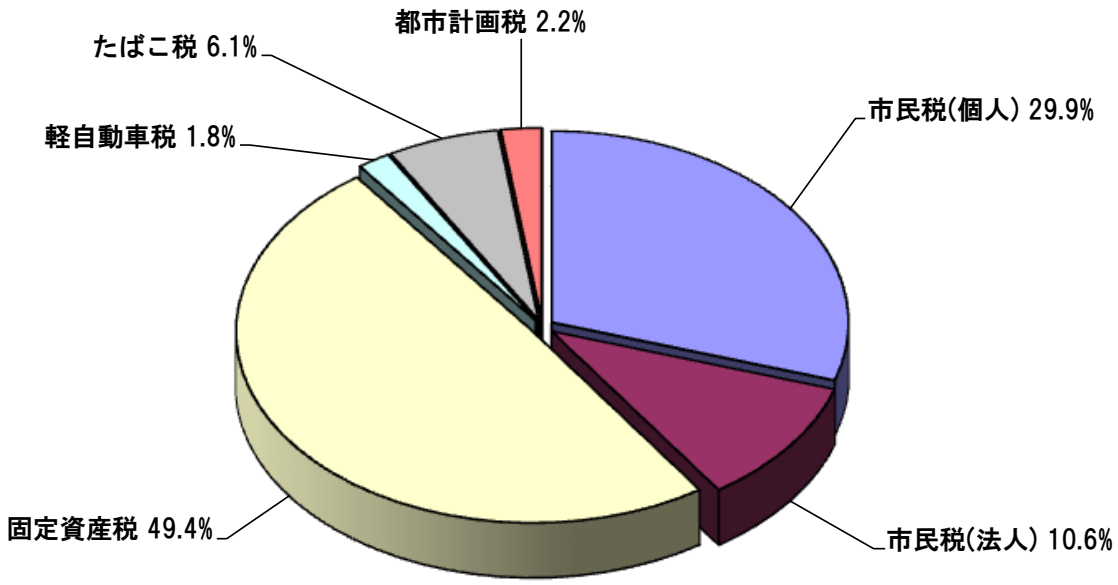
区分			平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	伸率 (A)/(B)(%)	構成比 平成26年度	構成比 平成25年度
総額			40,610,000	39,900,000	1.8	100.0%	100.0%
財源区分	自主財源		14,943,580	14,864,568	0.5	36.8%	37.3%
	依存財源		25,666,420	25,035,432	2.5	63.2%	62.7%
歳入	市税		11,362,428	11,080,365	2.5	28.0%	27.8%
	市債		5,624,600	5,057,400	11.2	13.9%	12.7%
		臨時財政対策債	1,921,000	1,840,000	4.4	4.7%	4.6%
		合併特例債	2,031,000	1,960,100	3.6	5.1%	4.9%
		その他	1,672,600	1,257,300	33.0	4.1%	3.2%
歳出	義務的経費		19,812,153	20,012,517	△ 1.0	48.8%	50.2%
	投資的経費		5,532,936	5,270,383	5.0	13.6%	13.2%
	その他の経費		15,264,911	14,617,100	4.4	37.6%	36.6%

市税の状況

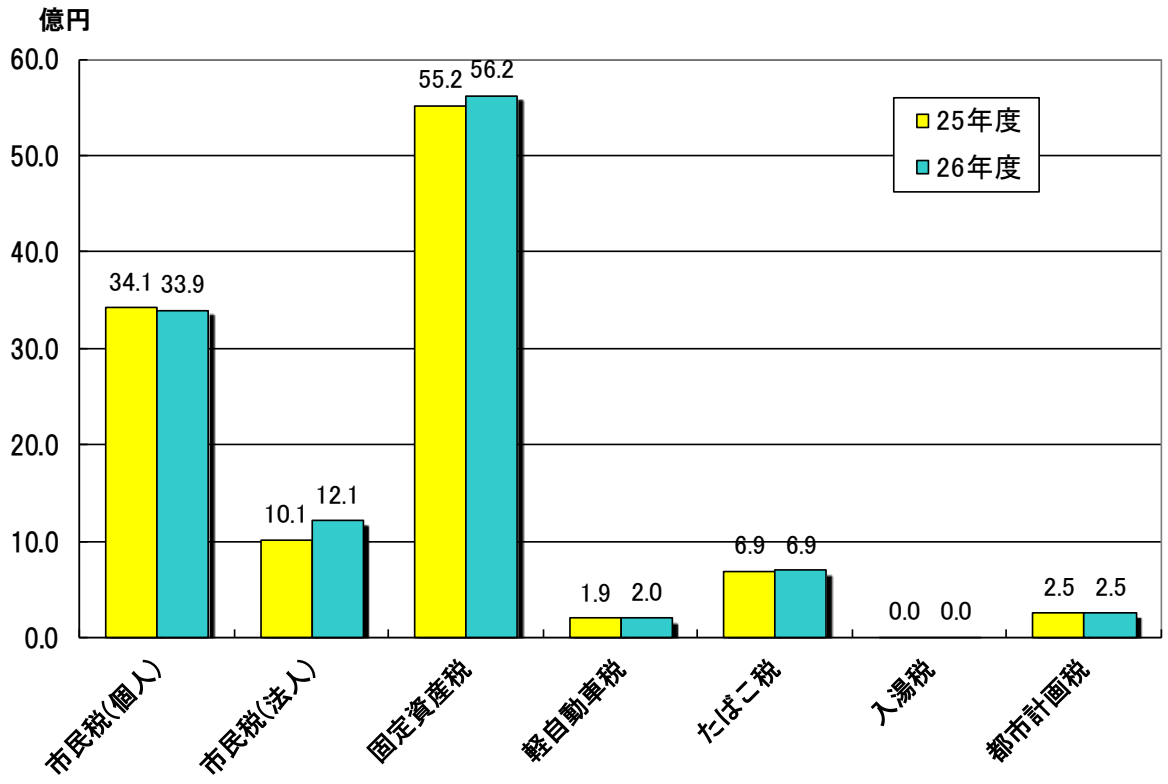
（単位:千円）

区分		平成26年度 予算額	平成26年度 構成比	平成25年度 予算額	平成25年度 構成比	増減額	伸率(%)
市民税	個人	3,393,857	29.9%	3,414,872	30.8%	△ 21,015	△ 0.6
	法人	1,208,159	10.6%	1,008,766	9.1%	199,393	19.8
固定資産税	固定資産税	5,582,216	49.1%	5,484,701	49.5%	97,515	1.8
	国有資産等	33,910	0.3%	34,737	0.3%	△ 827	△ 2.4
軽自動車税		195,093	1.8%	192,375	1.8%	2,718	1.4
たばこ税		690,629	6.1%	687,829	6.2%	2,800	0.4
鉱産税		1	0.0%	1	0.0%	0	0.0
入湯税		3,904	0.0%	4,440	0.0%	△ 536	△ 12.1
都市計画税		254,659	2.2%	252,644	2.3%	2,015	0.8
計		11,362,428	100.0%	11,080,365	100.0%	282,063	2.5

H26　市税の構成比



市税の前年度比較

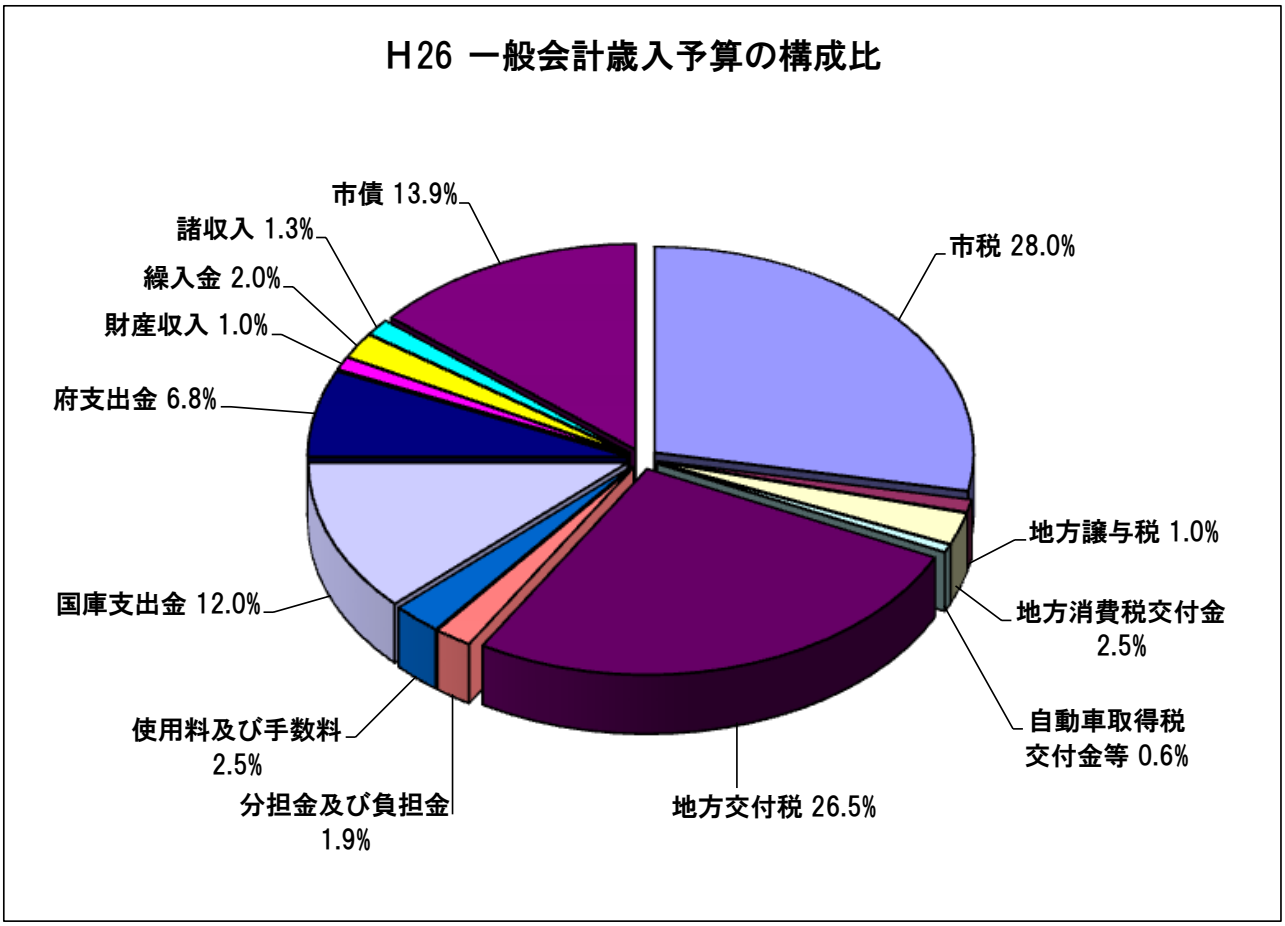


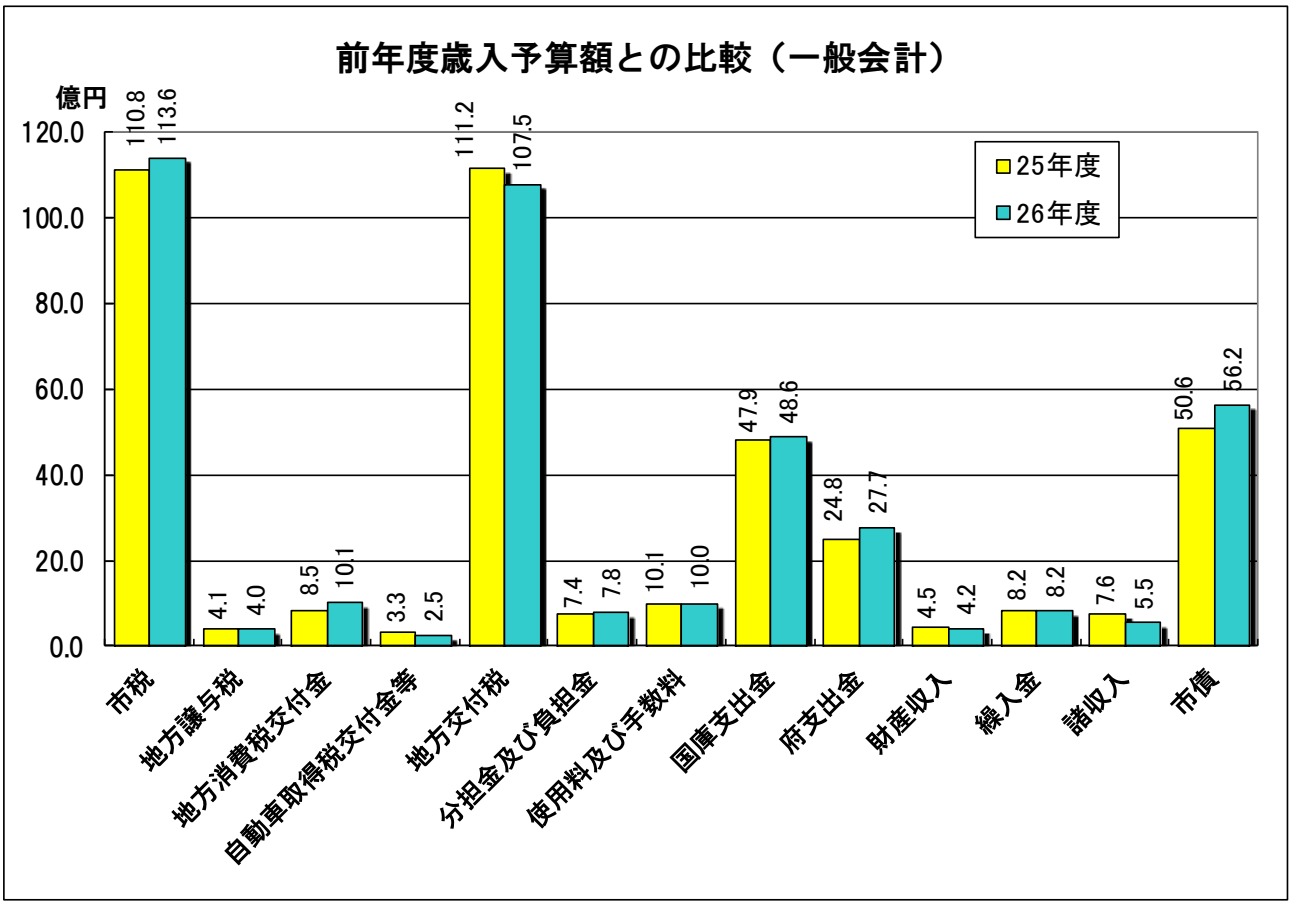
◆一般会計歳入予算

平成２６年度 一般会計予算

（単位　千円）

歳入						
科目	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	増減額 (A)−(B) (C)	伸率(%) (C)/(B)	平成26年度 構成比(%)	平成25年度 構成比(%)
市税	11,362,428	11,080,365	282,063	2.5	28.0	27.8
地方譲与税	400,000	408,000	△ 8,000	△ 2.0	1.0	1.0
利子割交付金	27,000	28,000	△ 1,000	△ 3.6	0.1	0.1
配当割交付金	47,000	27,000	20,000	74.1	0.1	0.1
株式等譲渡所得割交付金	7,000	4,000	3,000	75.0	0.0	0.0
地方消費税交付金	1,011,000	852,000	159,000	18.7	2.5	2.1
ゴルフ場利用税交付金	10,000	6,000	4,000	66.7	0.0	0.0
自動車取得税交付金	80,000	177,000	△ 97,000	△ 54.8	0.2	0.4
国有提供施設等所在市町村助成交付金	18,000	20,000	△ 2,000	△ 10.0	0.1	0.1
地方特例交付金	46,000	50,000	△ 4,000	△ 8.0	0.1	0.1
地方交付税	10,750,000	11,120,000	△ 370,000	△ 3.3	26.5	27.9
交通安全対策特別交付金	16,000	17,000	△ 1,000	△ 5.9	0.0	0.0
分担金及び負担金	782,602	743,267	39,335	5.3	1.9	1.9
使用料及び手数料	1,004,293	1,005,250	△ 957	△ 0.1	2.5	2.5
国庫支出金	4,864,727	4,787,426	77,301	1.6	12.0	12.0
府支出金	2,765,093	2,481,606	283,487	11.4	6.8	6.2
財産収入	419,565	454,504	△ 34,939	△ 7.7	1.0	1.1
寄附金	4,401	2,501	1,900	76.0	0.0	0.0
繰入金	823,203	815,818	7,385	0.9	2.0	2.1
諸収入	547,088	762,863	△ 215,775	△ 28.3	1.3	1.9
市債	5,624,600	5,057,400	567,200	11.2	13.9	12.7
歳入合計	40,610,000	39,900,000	710,000	1.8	100.0	100.0


H26 一般会計歳入予算の構成比
市債 13.9%
諸収入 1.3%
繰入金 2.0%
財産収入 1.0%
府支出金 6.8%
国庫支出金 12.0%
使用料及び手数料 2.5%
分担金及び負担金 1.9%
地方交付税 26.5%
自動車取得税交付金等 0.6%
地方消費税交付金 2.5%
地方譲与税 1.0%
市税 28.0%


前年度歳入予算額との比較（一般会計）
億円
120.0
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
25年度
26年度
市税 110.8 113.6
地方譲与税 4.1 4.0
地方消費税交付金 8.5 10.1
自動車取得税交付金等 3.3 2.5
地方交付税 111.2 107.5
分担金及び負担金 7.4 7.8
使用料及び手数料 10.1 10.0
国庫支出金 47.9 48.6
府支出金 24.8 27.7
財産収入 4.5 4.2
繰入金 8.2 8.2
諸収入 7.6 5.5
市債 50.6 56.2

◆一般会計歳出予算（目的別）

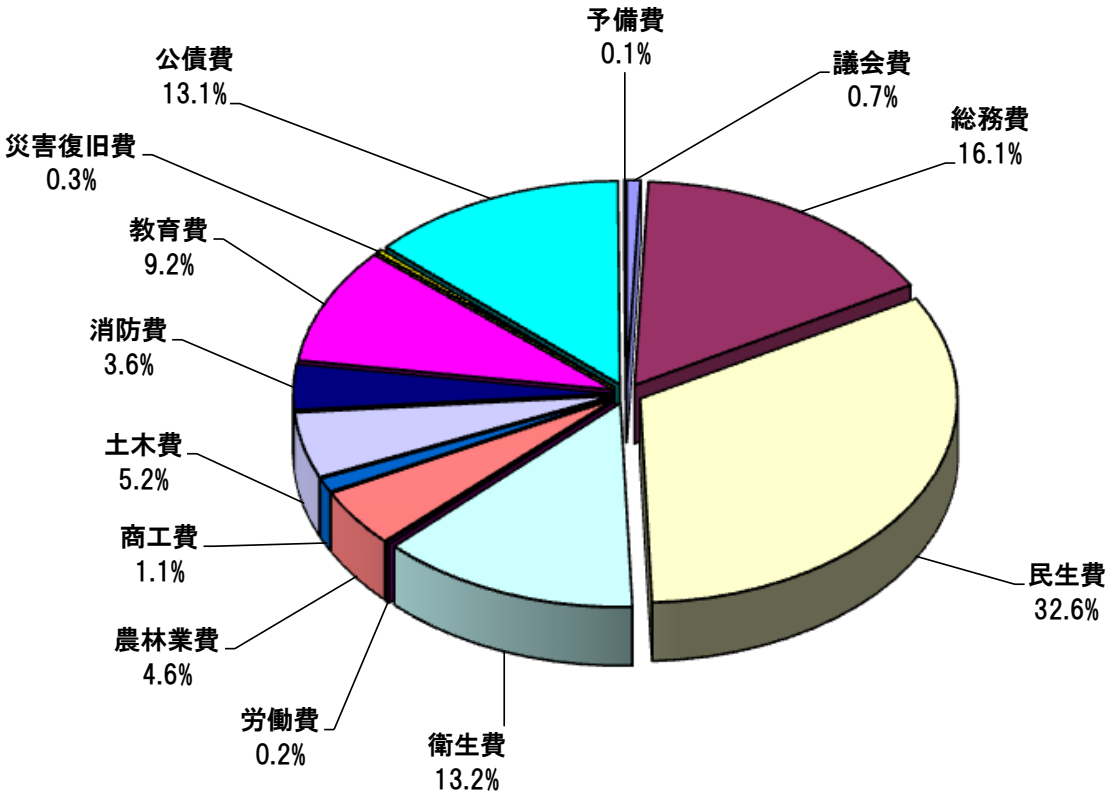
（単位　千円）

歳　　出						
科　　目	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	増減額 (A)－(B)　(C)	伸率(%) (C)／(B)	平成26年度 構成比(%)	平成25年度 構成比(%)
議　会　費	305,460	308,021	△ 2,561	△ 0.8	0.7	0.8
総　務　費	6,527,887	7,174,216	△ 646,329	△ 9.0	16.1	18.0
民　生　費	13,251,893	12,902,311	349,582	2.7	32.6	32.3
衛　生　費	5,346,857	5,159,514	187,343	3.6	13.2	12.9
労　働　費	72,149	136,076	△ 63,927	△ 47.0	0.2	0.4
農林業費	1,864,411	1,633,845	230,566	14.1	4.6	4.1
商　工　費	466,459	495,029	△ 28,570	△ 5.8	1.1	1.2
土　木　費	2,096,441	2,523,466	△ 427,025	△ 16.9	5.2	6.3
消　防　費	1,483,285	1,292,719	190,566	14.7	3.6	3.2
教　育　費	3,729,742	2,553,135	1,176,607	46.1	9.2	6.4
災害復旧費	111,000	－	111,000	皆増	0.3	－
公　債　費	5,304,416	5,527,868	△ 223,452	△ 4.0	13.1	13.9
諸支出金	－	143,800	△ 143,800	皆減	－	0.4
予　備　費	50,000	50,000	0	0.0	0.1	0.1
歳出合計	40,610,000	39,900,000	710,000	1.8	100.0	100.0

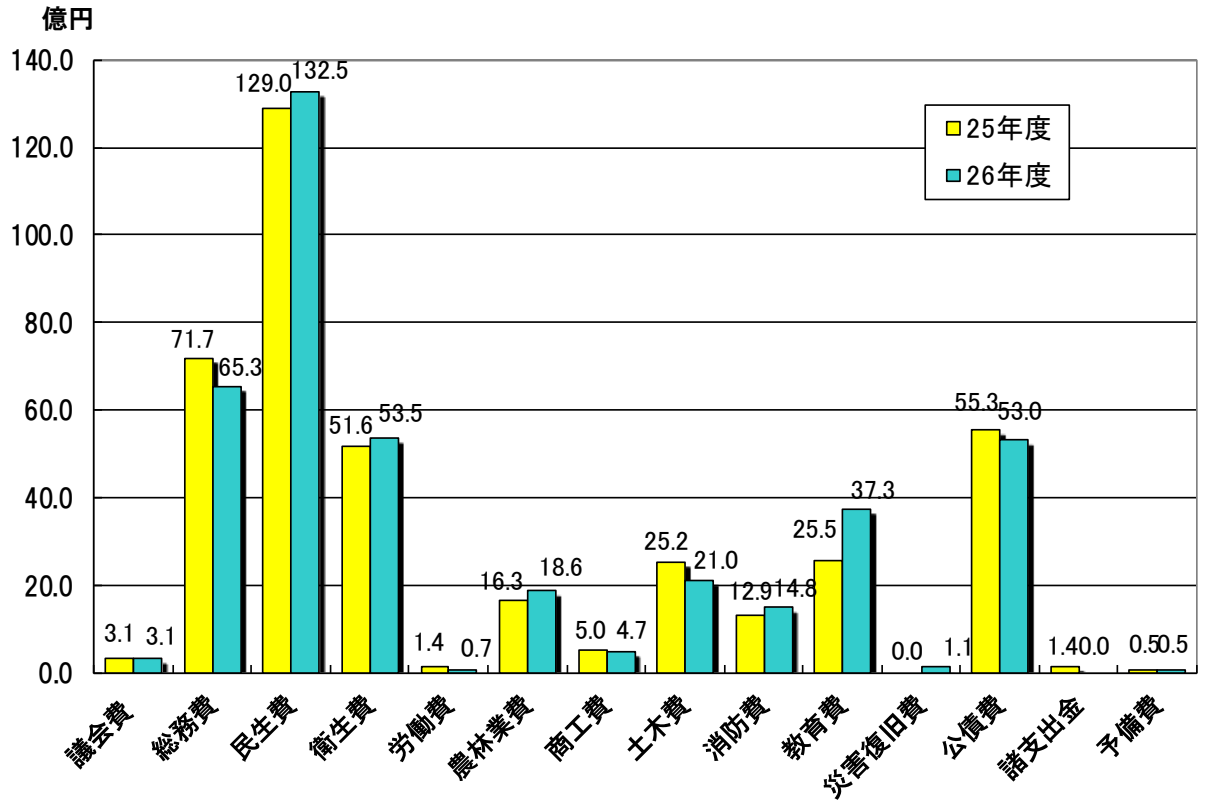
（再掲）いわゆる教育予算（教育費+児童福祉費（子育て支援））

科　　目	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	増減額 (A)－(B)　(C)	伸率(%) (C)／(B)	平成26年度 構成比(%)	平成25年度 構成比(%)
いわゆる教育予算	8,938,000	7,720,439	1,217,561	15.8	22.0	19.3
教　育　費	3,729,742	2,553,135	1,176,607	46.1	9.2	6.4
児童福祉費	5,208,258	5,167,304	40,954	0.8	12.8	13.0

H26 歳出予算の構成比（一般会計・目的別）



前年度歳出予算額との比較（一般会計・目的別）



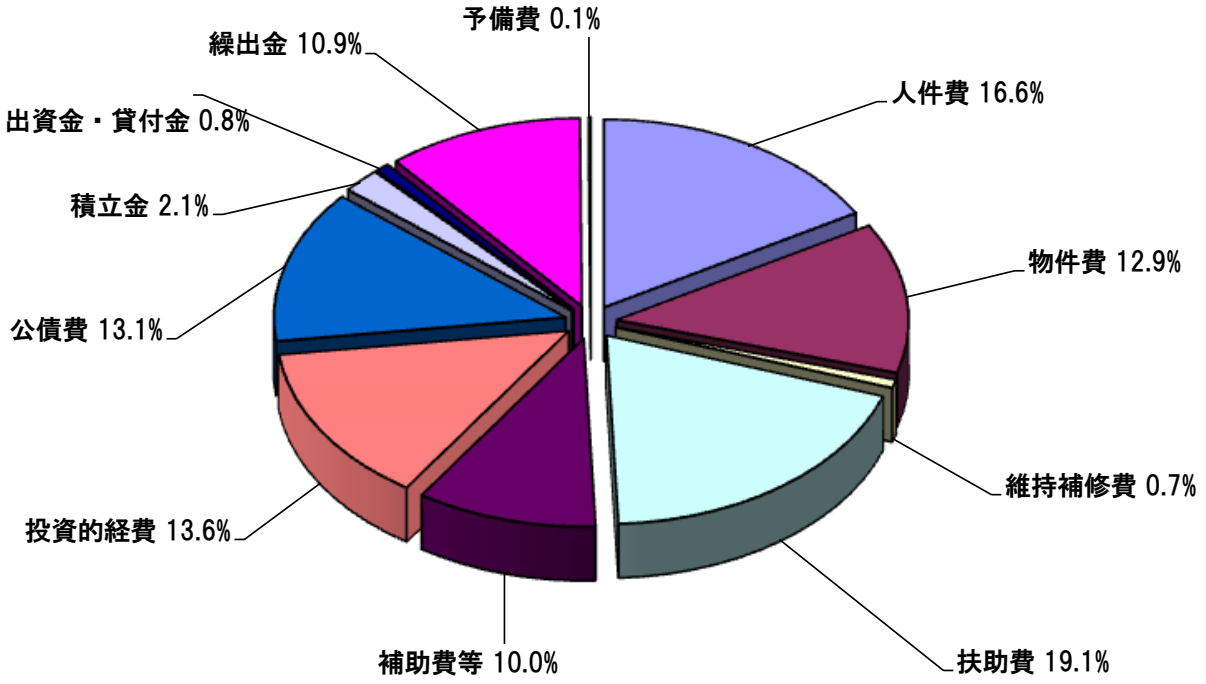
◆一般会計歳出予算（性質別）

一般会計 性質別予算

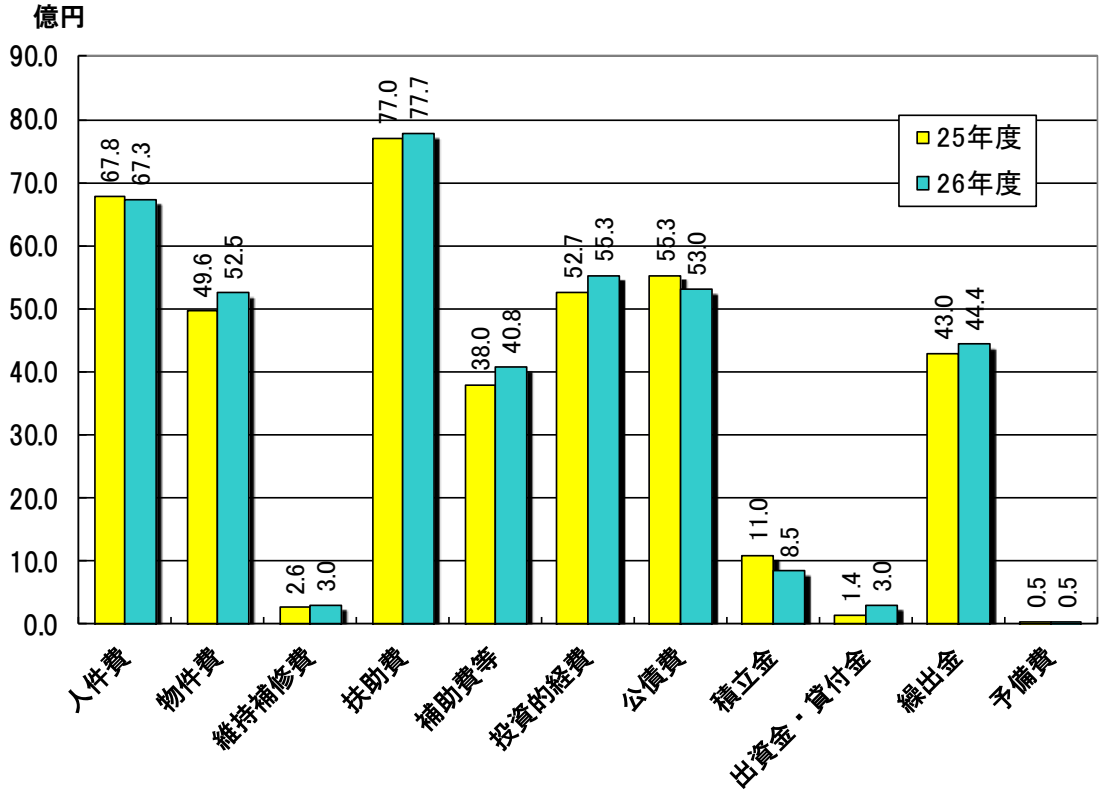
（単位　千円）

区　　分	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	増減額 (A)-(B)　(C)	伸率(%) (C)/(B)	平成26年度 構成比　(%)	平成25年度 構成比　(%)
人　件　費	6,733,161	6,783,916	△ 50,755	△ 0.7	16.6%	17.0%
うち 議員給与費	159,544	159,544	0	0.0	0.4%	0.4%
うち 職員給与費	4,914,906	5,000,821	△ 85,915	△ 1.7	12.1%	12.5%
物　件　費	5,251,130	4,964,162	286,968	5.8	12.9%	12.4%
維持補修費	303,796	263,555	40,241	15.3	0.8%	0.7%
扶　助　費	7,774,576	7,700,733	73,843	1.0	19.1%	19.3%
補助費等	4,080,439	3,802,536	277,903	7.3	10.1%	9.5%
投資的経費	5,532,936	5,270,383	262,553	5.0	13.6%	13.2%
うち人件費	255,926	252,677	3,249	1.3	0.6%	0.6%
普通建設事業費	5,421,936	5,270,383	151,553	2.8	13.3%	13.2%
補助事業費	2,583,958	2,567,876	16,082	0.6	6.4%	6.4%
単独事業費	2,837,978	2,702,507	135,471	5.0	6.9%	6.8%
災害復旧事業費	111,000	－	111,000	皆増	0.3%	－
公　債　費	5,304,416	5,527,868	△ 223,452	△ 4.0	13.1%	13.9%
積　立　金	849,519	1,096,653	△ 247,134	△ 22.5	2.1%	2.7%
出資金・貸付金	294,600	140,800	153,800	109.2	0.7%	0.4%
繰　出　金	4,435,427	4,299,394	136,033	3.2	10.9%	10.8%
予　備　費	50,000	50,000	0	0.0	0.1%	0.1%
計	40,610,000	39,900,000	710,000	1.8	100.0%	100.0%

H26 歳出予算の構成比(一般会計・性質別)



前年度歳出予算額との比較（一般会計・性質別）



◆平成 26 年度当初予算案　市長マニフェスト事業一覧

人にいちばんやさしい子育て・環境都市をめざす

～強い絆で未来を切り開く『ひととまちの元気づくり』予算～市民をど真ん中に

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ
① 自然との共生で災害に強い安心安全なまちづくり					
(1)防災行政無線の市全域整備					
1	防災情報緊急告知ラジオ導入事業	危機管理室	新規	10,965	19
2	防災行政無線整備事業	危機管理室	継続	12,329	20
(2)再生可能エネルギー導入の調査・研究と太陽光発電の設置補助充実					
3	住宅用太陽光発電システム設置事業	環境政策室	継続	15,000	21
4	自然エネルギー活用事業	大江支所	新規	900	22
(3)公共施設への代替エネルギーの導入					
5	三段池公園カルチャーパーク整備事業	都市計画課	拡充	54,602	23
(4)家庭ごみ排出量の削減（府下No.1 をめざす）					
6	資源ごみ集団回収報奨事業	環境政策室	継続	11,344	24
(6)国道9号の4車線化や国道429号などの整備促進					
7	国道9号福知山道路（長田野～岡）完成記念プレイベント事業	都市整備課	新規	1,160	25
8	稚児野台地跡地活用事業	農林管理課	継続	5,000	26
② 個性が輝く未来あるまちづくり（オンリーワンの子育て環境づくり）					
(1)「ふくふく医療」対象者の拡大					
9	ふくふく医療費支給事業	子育て支援課	継続	87,254	27
(2)民間保育園の支援と園庭の芝生化の推進					
10	民間保育所運営事業	子育て支援課	継続	325,410	28
11	子どもに優しい芝生園庭整備事業（公立・民間保育園）	子育て支援課	継続	1,910	29
(3)子育てバリアフリーマップの作成					
12	子育てバリアフリーマップ作成事業	子育て支援課	新規	1,076	30
(4)放課後児童クラブの充実					
13	放課後児童クラブ運営事業	生涯学習課	拡充	278,615	31
(5)小中学校全教室へのエアコン設置と施設整備					
14	小学校・中学校・幼稚園施設空調設備設置事業	教育総務課	継続	459,300	32

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

(6) 第3種陸上競技場ほかスポーツ施設の整備

15	由良川ランナーウェイ整備事業	スポーツ振興課	新規	6,300	33

③ 改革進め府市協調で健全な行財政づくり

(1) 自治基本条例の制定

16	地域力再編！パワーアップ支援事業	企画課	継続	1,000	34
17	政策マーケティング（100人ミーティング）事業	企画課	継続	2,877	35

(2) 市民提案事業の導入

18	地域提案交付金事業	企画課	新規	1,000	36
19	市民アイデア買取り事業	企画課	継続	300	37

(3) 市民参加型事業評価システムの導入

20	市民参加型事業評価推進事業（公開事業レビュー）	企画課	継続	700	38

(4) 土地開発公社の解散

21	第三セクター等改革推進債償還基金積立事業	財政課	継続	190,603	39

(5) 保育園の民営化

22	市立保育園整備計画推進事業	子育て支援課	継続	41,912	40

(6) 総合案内窓口の設置

23	総合案内窓口運営事業	秘書課	継続	3,735	41

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

④ 雇用が進んでまちの活気づくり

(1) 農産物のブランド化と６次産業化

24	6次産業推進事業	農業振興課	拡充	4,160	42
25	里の駅みたけ産見守り弁当宅配事業（6次産業モデル事業）	農林管理課	継続	7,380	43
26	地場産農産物ブランド化支援事業	農業振興課	継続	4,500	44

(2) 有害鳥獣捕獲事業の拡充

27	有害鳥獣捕獲事業	林業振興課	拡充	79,550	45
28	有害鳥獣防除事業	林業振興課	継続	64,000	46

(3) 荒廃森林再生運動の実施

29	荒廃森林再生事業	林業振興課	新規	700	47

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

(4) 中小企業サポートセンターの開設と雇用対策戦略会議の設置

30	中小企業サポートセンター事業	商工振興課	継続	3,261	48

(5) 地元雇用を創出する公契約条例の制定

31	入札制度改革等検討事業	契約監理課	継続	374	49

(6) 高齢者雇用の拡大と若者の雇用をつなぐ循環型雇用システムの検討

32	循環型雇用促進特別奨励金給付事業	商工振興課	新規	3,630	50

(7) 三段池公園、動物園の整備

5	三段池公園カルチャーパーク整備事業	都市計画課	拡充	54,602	23

(8) スポーツ観光の推進（スポーツイベント・合宿誘致の支援）

33	スポーツ合宿補助事業	スポーツ振興課	継続	1,500	51

(9) 元気出す地域活力支援事業の拡充

34	ふくちの村来人定住活動支援事業	農林管理課	新規	7,282	52
35	農山村空き家バンク事業	農林管理課	拡充	5,628	53
36	元気出す地域活力支援事業	まちづくり推進課	継続	2,800	54

(10) 夜久野高原花回廊の整備

37	夜久野高原花回廊整備事業	夜久野支所	拡充	2,626	55

(11) 大原産屋の里周辺の整備

38	大原地区産屋周辺整備事業	三和支所	継続	35,640	56

(12) 大江山の自然と歴史の有効活用

39	大江山ウォーク推進事業	スポーツ振興課	新規	251	57
40	大江山ゆらり自然発掘事業	大江支所	新規	1,302	58
41	大江ふるさと観光ガイド事業	大江支所	継続	1,023	59
42	大雲水辺の里づくり事業	大江支所	継続	300	60

(13) ＪＲ福知山線複線化の促進

43	鉄道利用促進事業	生活交通課	拡充	750	61

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

⑤ ふるさとでいつまでも幸せ実感　福祉と文化のまちづくり

(1) 官民一体となった医療提供体制の構築

44	病院事業（市民病院）	市民病院事務部	継続	10,984,700	153

(2) 市民会館に小劇場ホール機能整備を実施

45	市民会館・中央公民館改修事業	企画課	新規	550,000	62-63
46	厚生会館改修基本構想策定事業	まちづくり推進課	新規	5,000	64

(3) 教育・文化の拠点づくり　（仮称）市民交流プラザの建設

47	交流プラザふくちやまオープン記念事業	中央公民館	新規	1,451	65
48	新図書館オープン記念事業	図書館	新規	1,262	66

(4) 敬老乗車券の発行

49	敬老乗車券事業	生活交通課	継続	27,633	67

(5) （仮称）発達支援センターの整備検討

50	くりのみ園機能拡充事業	子育て支援課	継続	10,000	68

(6) 障害児・者歯科診療北部拠点施設の誘致

51	障害児者歯科診療所運営助成事業	社会福祉課	新規	1,167	69

(7) 市役所各階に手話や要約筆記のできる職員を養成

52	「絆」プロジェクト 手話のできる人材育成推進事業	地域福祉課	継続	1,480	70

(8) ＫＴＲ大江駅のバリアフリー化

53	KTR大江駅バリアフリー化事業	生活交通課	新規	55,211	71

(9) 安心生活見守り事業の実施

54	安心生活見守り事業（介護保険事業特別会計）	高齢者福祉課	継続	29,780	147-148

(10) 地域包括支援センターの充実

55	地域包括支援センター運営事業（介護保険事業特別会計）	高齢者福祉課	継続	2,385	147-148

(11) 男女共同参画センターの開設と平和・人権若者交流事業の推進

56	平和・人権若者交流事業	人権推進室	新規	775	72
57	男女共同参画センター設立事業	人権推進室	継続	112	73

◆平成 26 年度当初予算案　その他の主要事業一覧

北近畿をリードする創造性あふれるまち実現プラン

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ
Ⅰ　市民協働でつくるコミュニティ豊かな自立したまち					
(1)みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
＜市民協働の推進＞					
58	市民ど真ん中「プロデュース」事業	企画課	新規	2,715	74
59	里山交流事業	まちづくり推進課	新規	400	75
＜人権・平和の尊重＞					
60	人権施策推進計画事業	人権推進室	継続	1,836	76
(2)地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
＜質の高い行政サービスの提供＞					
61	定住自立圏構想推進事業	企画課	新規	300	77
62	（仮称）新まちづくり計画策定準備事業	企画課	拡充	5,384	78
63	施設マネジメント事業	資産活用課	継続	13,417	79
Ⅱ　定住と交流の活力あるまち					
(3)人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
＜公共交通の強化＞					
64	福祉有償運送実施団体活動補助事業	生活交通課	継続	1,360	80
65	KTR経営支援事業	生活交通課	継続	70,970	81
66	高校生定期乗車券補助事業	生活交通課	継続	3,631	82
＜道路網の整備＞					
67	街路事業（多保市正明寺線　高畑工区）	都市計画課	継続	90,000	83
68	広域交通網整備促進事業	土木課	継続	135,000	84
69	防衛施設周辺整備事業	土木課	継続	39,131	85
70	長田野工業団地花いっぱい事業	土木課	継続	6,900	86
＜高度情報化の推進＞					
71	ホームページ運営事業	秘書課	拡充	2,054	87
(4)地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
＜農林水産業の振興＞					
72	穀物乾燥施設再建支援事業	農業振興課	新規	46,200	88
73	府営ため池整備事業	農林管理課	新規	2,190	89
74	農地・農業用施設災害復旧事業	農林管理課	継続	106,000	90
75	ふくちの農場づくり事業	農業振興課	継続	16,200	91
76	森林組合間伐補助事業	林業振興課	継続	25,918	92

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ
＜商工業の振興＞					
77	中小企業専門家派遣事業	商工振興課	新規	470	93
78	福知山市企業交流プラザ改修事業	産業立地課	新規	5,800	94
79	販路開拓支援事業	商工振興課	拡充	2,010	95
80	企業誘致促進特別対策事業	産業立地課	継続	51,580	96
＜観光の振興＞					
81	夜久野高原工芸村整備事業	夜久野支所	新規	3,971	97
82	国際観光推進事業	観光振興課	新規	1,229	98
83	大呂自然休養村整備事業（継続費）	農林管理課	継続	169,100	99
＜雇用の確保＞					
84	試行雇用おうえん助成金交付事業	商工振興課	継続	5,320	100
85	緊急雇用特別対策事業	商工振興課	継続	50,232	101

Ⅲ 人と自然が調和し、すこやかに安心して暮らせるまち

(5) 地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり

＜保健・医療の充実＞					
86	臨時福祉給付金事業	地域福祉課	新規	228,883	102
87	健康増進計画推進事業	健康推進室	継続	3,554	103
88	女性のためのがん検診推進事業	健康推進室	継続	36,759	104-105
＜高齢者福祉の充実＞					
89	外出支援助成事業	高齢者福祉課	拡充	23,094	106
90	介護人材確保対策事業	高齢者福祉課	拡充	36,531	107-108
＜障害のある人の福祉の充実＞					
91	地域生活支援事業（地域活動支援センター事業）	社会福祉課	新規	6,000	109
92	難聴児補装具給付事業	社会福祉課	新規	545	110
93	盲聾学校通学支援事業	社会福祉課	継続	1,034	111
＜子育て支援の充実＞					
94	子育て世帯臨時特例給付金事業	子育て支援課	新規	114,892	112
95	福祉医療費（ひとり親）支給事業	子育て支援課	継続	59,916	113
＜生活支援の充実＞					
96	生活保護扶助事業	社会福祉課	継続	1,599,854	114

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

(6)人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり

＜土地利用及び市街地・集落整備＞

97	菟原下定住促進住宅用地整備事業	三和支所	新規	33,650	115
98	景観形成推進事業	都市計画課	新規	649	116
99	まちなみ環境整備事業	商工振興課	拡充	20,000	117
100	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業	商工振興課	拡充	800	118

＜生活空間の整備＞

101	斎場施設改修事業	生活交通課	拡充	8,800	119

＜低炭素・循環型社会の形成＞

102	ごみ焼却施設基幹的設備改良事業	環境政策室	継続	500,000	120

＜消防・救急・防災対策の強化＞

103	林地保全事業	林業振興課	新規	1,050	121
104	「屋外イベント等防火安全講習会」開催事業	消防署予防課	新規	135	122
105	市庁舎耐震化・長寿命化改修事業	総務部総務課	継続	559,294	123
106	めざせ！「救命の絆」世界一のまち事業	消防署警防課	継続	863	124
107	消防車両更新事業	消防本部	継続	72,504	125

Ⅳ 明日を担う創造力あふれる人材育成のまち

(7)魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり

＜青少年の健全育成＞

108	平成こだま教育推進事業	生涯学習課	継続	1,190	126

＜学校教育の充実＞

109	仮称・教育支援センター整備事業	学校教育課	新規	6,000	127
110	グローバル人材育成事業	学校教育課	新規	415	128
111	川合小学校統合準備事業	教育総務課	新規	7,840	129
112	旧福知山市学校給食センター解体事業	学校給食センター	新規	50,000	130
113	心の安定基地つくり推進事業	学校教育課	継続	8,224	131
114	スクールサポーター配置事業	学校教育課	継続	33,575	132
115	桃映中学校北校舎改築事業	教育総務課	継続	370,047	133
116	小学校・幼稚園耐震改修事業	教育総務課	継続	23,240	134

＜生涯学習の推進＞

117	市民交流プラザふくちやま管理運営事業	中央公民館	新規	77,010	135
118	（図書館）中央館運営事業	図書館	新規	34,273	136
119	川口地域体育館耐震補強改修事業	中央公民館	新規	13,500	137
120	読書活動支援事業	図書館	継続	784	138

＜文化財の保存・活用＞

121	埋蔵文化財体験活用事業	生涯学習課	新規	2,000	139

＜文化・スポーツ活動の推進＞

122	福知山城魅力創出事業	まちづくり推進課	新規	351	140
123	体育施設設備整備事業	スポーツ振興課	拡充	82,793	141
124	市展事業	まちづくり推進課	拡充	3,636	142

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費（千円）	ページ

特別会計・企業会計

○社会保障関連

125	国民健康保険事業	保険課	継続	7,949,600	143-144
126	国民健康保険診療所費	保険課	継続	57,000	145
127	休日急患診療所費	健康推進室	継続	21,200	146
128	介護保険事業（保険事業勘定）	高齢者福祉課	継続	7,335,800	147-148
129	介護保険事業（介護サービス事業勘定）	高齢者福祉課	継続	33,000	149-150
130	後期高齢者医療事業	保険課	継続	1,831,800	151-152
131	病院事業（市立福知山市民病院）	市民病院事務部	拡充	11,488,900	153
132	病院事業（国民健康保険新大江病院）	保険課	継続	341,650	154

○上下水道等関連

133	簡易水道事業	上下水道部	継続	1,005,000	155-156
134	農業集落排水施設事業	上下水道部	継続	939,100	157
135	水道事業	上下水道部	継続	3,341,800	158
136	下水道事業	上下水道部	継続	5,802,400	159

○土地区画整理関連

137	石原土地区画整理事業	都市整備課	継続	995,900	160
138	福知山駅周辺土地区画整理事業	都市整備課	継続	158,200	161
139	河守土地区画整理事業	都市整備課	継続	33,100	162
140	宅地造成事業	農林管理課	継続	38,600	163

○その他

141	と畜場費	農業振興課	継続	28,800	164
142	公設地方卸売市場事業	農業振興課	継続	7,000	165
143	福知山市下夜久野地区財産区管理会	夜久野支所	継続	172	166
144	地域情報通信ネットワーク事業	情報推進課	継続	834,000	167-168

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	防災情報緊急告知ラジオ導入事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
10,965	国	府	市債	その他	一般財源	
	10,487				478	－

1　事業の背景・目的

台風１８号災害などの災害時には、防災行政無線の屋外拡声子局や広報車両で避難等を呼びかけますが、風雨が激しい状況や窓を閉めきっている状態では、放送内容が聞き取れないという課題があります。

災害時の協定に基づき、防災行政無線の内容を伝達できるＦＭ丹波に対応する緊急告知ラジオを導入することにより、確実に避難情報が伝達できる手段ができ、適切な避難行動につなげます。

平成26年度は市で1,000台を購入し、由良川流域の要配慮者のいる世帯を対象として、手上げ方式により配備を進めます。また、土砂災害警戒区域の指定に伴い、ＦＭラジオの可聴範囲地域への情報伝達手段として、順次、緊急告知ラジオを導入します。

（緊急告知ラジオの概要）

① 福知山市と福知山ＦＭ放送（株）とは、平成20年度から、災害時における緊急放送に関する協定を結んでおり、災害時の情報等について、ＦＭラジオを通して情報伝達を行っている。（可聴範囲：約２万世帯）

② しかしながら、その情報は、伝達時にＦＭラジオを聴いている市民にしか伝わらないため、その効果は限定的となっていた。

③ 今回導入する緊急告知ラジオは、電源を落としている状態でも、緊急信号の電波により自動的に立ち上がり、大音量で防災行政無線の情報を伝達することが可能となる。

2　事業の内容

(1) 緊急信号発生器　　１式　918 千円

※夜間の緊急割込み放送を感知し、自動立ち上げの電波を発生する装置

(2) 緊急告知ラジオ　　1,052 台　9,658 千円

由良川流域の要配慮者世帯への導入 1,000 台

土砂災害警戒区域指定に伴う導入　　52 台（荒木）

(3) 緊急告知ラジオ緊急信号発生器に係る使用料

１式　389 千円

3　事業費の内訳

使用料及び賃借料　　389千円

備品購入費　　10,576千円

4　主な特定財源

市町村合併推進体制整備費補助金

担当課	総務部危機管理室	電話	直通　24－7503　内線 3511

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	防災行政無線整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
12,329	国	府	市債	その他	一般財源	
		6,164			6,165	4,000

1　事業の背景・目的

京都府の土砂災害警戒区域の指定に伴い、土砂災害の危険がある地域に、確実に情報を伝達するため、防災行政無線の戸別受信機の配備を行います。

2　事業の内容

土砂災害警戒地域への情報伝達媒体として、防災行政無線の戸別受信機を299台(野花・立原）を整備します。

また、防災行政無線屋外拡声子局の経年化が進んでいることから、耐用年数を過ぎたバッテリーについて、順次更新を行います。

(1)　戸別受信機（野花・立原）　299台　11,303千円

(2)　屋外拡声子局バッテリーの更新　12箇所　1,026千円

3　事業費の内訳

需用費　屋外拡声子局バッテリーの更新　1,026千円

備品購入費　戸別受信機（野花・立原）　299台　11,303千円

4　主な特定財源

みらい戦略一括交付金

担当課	総務部危機管理室	電話	直通　24－7503　内線 3511

施策名	人と自然が共生する安全･安心･快適環境のまちづくり					
事業名	住宅用太陽光発電システム設置事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
15,000	国	府	市債	その他	一般財源	
		7,500			7,500	15,300

1　事業の背景・目的

家庭における再生可能エネルギーの活用と地球温暖化対策を図るため、家庭用太陽光発電システムの設置者に対して設置費用の一部を補助します。

平成22年4月の制度開始以来、平成25年12月末までの申請累計数は674件、出力合計は2,939kwに達しており、今後も申請件数は増加することが見込まれます。

2　事業の内容

（１）対象者　　自らが居住する住宅に太陽光発電システムを設置した方、新たに太陽光発電システムが設置された建売住宅を購入した方

（２）補助単価　　20,000円/kw

（３）補助限度額　　100,000円(5kw)

（４）予定件数　　150件

3　事業費の内訳

補助金　　15,000千円（150件）

4　主な特定財源

（款）府支出金（項）府補助金（目）衛生費府補助金

みらい戦略一括交付金　　7,500千円

担当課	市民人権環境部 環境政策室	電話	直通 22-1827　内線 6100

施策名	人と自然が共生する安心･安全･快適環境のまちづくり					
事業名	自然エネルギー活用事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
900	国	府	市債	その他	一般財源	
			900			－

1　事業の背景・目的

　地球環境の維持のためクリーンエネルギーとして、出力規模の小さい小水力発電に対する関心が高まっています。かつて大江山の佛性寺地区には水力発電が稼動していた経過もあり、大江山山系の地形と水量が、小水力発電の可能性を持っています。平成25年度には京都府立工業高等学校が、福知山市大江町佛性寺地域で水車小屋を利用し小水力発電の実証実験を行いました。

　平成26年度は、この小水力発電の活用をPRし、地域の豊かな自然を情報発信します。

2　事業の内容

　京都府立工業高等学校が製作した小水力発電システム（水車）を利用し、そこで得られた自然エネルギーを活用できる外灯等を整備し、その効果を広くPRすることで地域の豊かな自然を情報発信します。

　LED照明等設置

3　事業費の内訳

　再生エネルギーＰＲ工事　900千円

4　主な特定財源

　過疎対策債　900千円

H25.11.21 小水力発電引渡し式

担当課	地域振興部大江支所	電話	直通 56-1102　内線 75-9331

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	三段池公園カルチャーパーク整備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
54,602	国	府	市債	その他	一般財源	
	42,000		9,000		3,602	100,120

1　事業の背景・目的

文化・スポーツ・レクリエーション活動など、多目的な総合公園としてさらに整備を進めます。

2　事業の内容

三段池公園において、動物園の拡張整備を行うとともに、城山地区の便益施設（便所）の設置等を行います。

武道館において、ソーラーパネルと蓄電池を設置し、省エネ・防災対策を強化します。

3　事業費の内訳

(款)土木費　(項)都市計画費　(目)公園施設費

・動物園の拡張および城山便益施設整備　20,000千円
・武道館太陽光発電システム整備　32,000千円
・その他

4　主な特定財源

(款)国庫支出金　(項)国庫補助金　(目)土木費国庫補助金

社会資本整備総合交付金　10,000千円
再生可能エネルギー等導入基金事業　32,000千円

(款)市債　(項)市債　(目)土木債

公共事業等債　9,000千円

担当課	土木建設部 都市計画課	電話	直通 24-7052　内線 4313

施策名	人と自然が共生する安全・安心・快適環境のまちづくり					
事業名	資源ごみ集団回収報奨事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
11,344	国	府	市債	その他	一般財源	
		5,672			5,672	11,000

1　事業の背景・目的

福知山市では、ごみの再資源化を促進するため、集団回収による資源回収を奨励しています。

市民が、集団回収活動に取組むことにより、ごみ減量の意識づけや、地域のコミュニティづくりにも役立ちます。

平成24年度は、2,768トン（313団体）の回収実績があり、本市におけるリサイクル率の向上に貢献しています。

2　事業の内容

ＰＴＡや子ども会などの登録団体による資源ごみ（新聞・雑誌、アルミ）の集団回収に対して、１kgあたり4円の報奨金を支払います。本年度から、回収品目に廃食用油を加えます。

3　事業費の内訳

報奨金　　11,344千円

内訳　　回収目標　2,836トン×4円/kg＝11,344千円

4　主な特定財源

（款）府支出金（項）府補助金（目）衛生費府補助金

みらい戦略一括交付金　　5,672千円

担当課	市民人権環境部 環境政策室	電話	直通 22-1827　内線 6100

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	国道９号福知山道路（長田野～岡）完成記念プレイベント事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,160	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,160	－

１　事業の背景・目的

国道９号福知山道路（長田野～岡）４車線工事が平成２６年度に完成することを記念して「福知山道路（長田野～岡）開通プレイベント」を実施します。

事業調整について「国道９号福知山道路活性化委員会」と協議を図り、多くの市民参加のもと、身近な道路として親しみをもっていただくとともに、残る事業の北羽合～新庄までの４車線化について早期完成に資する機会にします。

２　事業の内容

①ウォーキング大会 参加者予定人数 1,000人

コースは「堀高架橋」往復1.6ｋｍで、完歩者には完歩状を贈呈します。

②スタンプラリー 参加予定人数 300人

ウォーキング大会終了後、お城、御霊公園等の中心市街地５カ所にスタンプ箇所を設置しスタンプラリーを実施します。また、スタンプラリー完走者には記念品を贈呈します。

３　事業費の内訳

報償費（ブラスバンド出演謝礼）	30,000円
需用費（スタンプラリー完走記念品、チラシ印刷代等）	260,000円
役務費（広告新聞掲載料）	40,000円
手数料（簡易トイレし尿処理費等）	30,000円
保険料（イベント団体保険加入代）	50,000円
委託料（会場設営経費等）	750,000円

担当課	土木建設部 都市整備課	電話	直通 24-7028　内線 4336

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	稚児野台地跡地活用事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
5,000			4,700		300	1,300

1　事業の背景・目的

国道9号夜久野トンネルが老朽化し、現在、国において地域の長年の念願であったトンネル開削事業が進められています。

この開削事業計画地であるトンネル上部に市の取得用地があり、本計画は、トンネル開削事業と一体的に養豚団地跡地の市取得用地の活用を行うもので、地域特産物などを生かして有効活用し、市北西部の地域振興を図るものです。

2　事業の内容

(1)稚児野台地跡地活用事業実施計画書作成業務

・国道9号夜久野トンネル開削事業と一体的な整備が速やかに図れるよう、稚児野台地うるしの畑整備計画の実施計画書を作成

(2)取得用地の維持管理業務

・取得用地の草刈などの維持管理を実施

3　事業費の内訳

委託料　　5,000千円

4　主な特定財源

過疎対策債　　4,700千円

稚児野台地　全景

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4114

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	ふくふく医療費支給事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
87,254				1	87,253	85,345

1　事業の背景・目的

子どもの健康保持及び増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援を図ります。

2　事業の内容

３歳以上中学３年生までの子どもの医療費について、次のとおり医療費の一部を公費で負担します。

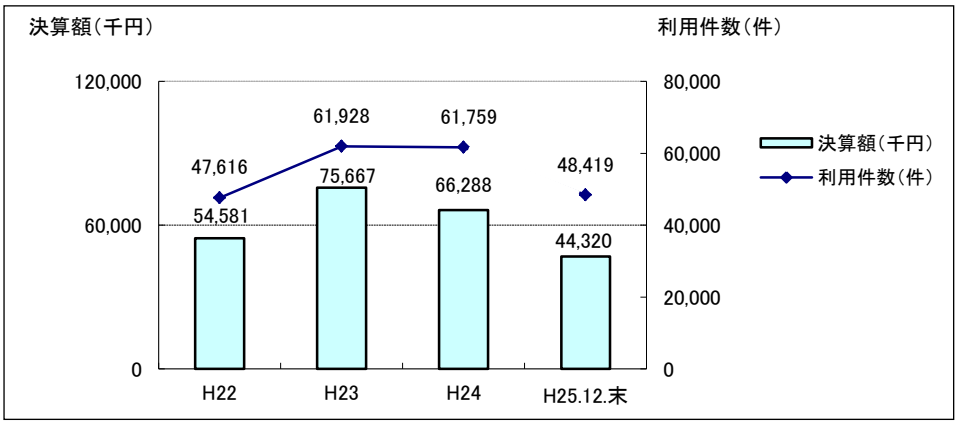
(1) 入院外　３歳以上中学３年生まで

１医療機関１日最大500円の自己負担で受診できるよう医療費を公費負担します。

(2) 入　院　中学生

１医療機関１か月200円の自己負担で受診できるよう医療費を公費負担します。

○実施状況



3　事業費の内訳

(款)民生費　(項)社会福祉費　(目)社会福祉総務費

・需用費　208千円
・役務費　7,203千円
・使用料及び賃借料　43千円
・扶助費　79,800千円

4　主な特定財源

(款)諸収入　(項)雑入　(目)雑入

・広告収入（窓あき封筒）　1千円

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7011　内線 2114

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	民間保育所運営事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
325,410	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,900	122,262		313	200,935	265,754

1　事業の背景・目的

保護者の就労形態の多様化等から保育に対するニーズも多様化しています。保育ニーズに対応したサービス充実に取組む市内の民間認可保育所19園に対し運営を支援します。また、実際に保育に携わる保育士等の確保と質の向上について、継続的に取組みます。

2　事業の内容

民間認可保育所が実施する延長保育、障害児保育、家庭支援推進保育、休日保育、夜間保育、一時預かり、地域子育て支援センターなどの保育サービスに対して補助金を交付します。また、保育士等の処遇改善に取組む民間認可保育所に対して人件費等の補助を行います。

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）児童福祉費　（目）児童福祉総務費

- 報償費　100千円（研修会講師謝礼）
- 旅費　49千円（研修等旅費）
- 需用費　113千円（消耗品等）
- 役務費　410千円（通信運搬費等）
- 委託料　3,200千円（保育園貸付用地調査）
- 負担金補助及び交付金　321,238千円（民間認可保育所に対する補助金等）
- 扶助費　300千円（保育所入所支度金）

4　主な特定財源

(款)国庫支出金　(項)国庫補助金　(目)民生費国庫補助金

- 母子家庭等対策総合支援事業　1,900千円

(款)府支出金　(項)府補助金　(目)民生費府補助金

- 民間社会福祉施設整備費借入金利子補給　1,181千円
- 民間社会福祉施設サービス向上事業　14,240千円
- 京都府こども未来基金　42,802千円
- 保育対策等促進事業　64,039千円

(款)財産収入　(項)財産運用収入　(目)財産貸付収入

- 土地建物貸付収入　313千円

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	子どもに優しい芝生園庭整備事業（公立保育園）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
889	国	府	市債	その他	一般財源	
					889	869

1　事業の背景・目的

芝生は天然のクッションになり、転倒等による衝撃が緩和され、足の指を使って土踏まずの形成を促進し脳を刺激する効果もあります。

成長する子ども達の遊び場として園庭を芝生化することにより、園児が安心・安全に活動し遊ぶことができる保育環境を整備します。

2　事業の内容

・園庭芝生化に伴う工事（表土すきとり・残土処分・真砂土投入・芝張り）
・芝刈り機購入
・整備予定園：　三和保育園

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）児童福祉費　（目）児童福祉施設費
・工事請負費　809千円（園庭芝生化工事）
・備品購入費　80千円（芝刈り機購入）

事業名	子どもに優しい芝生園庭整備事業（民間保育園）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,021	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,021	480

1　事業の背景・目的

芝生は天然のクッションになり、転倒等による衝撃が緩和され、足の指を使って土踏まずの形成を促進し脳を刺激する効果もあります。

成長する子どもたちの遊び場として園庭を芝生化することにより、園児が安心・安全に活動し遊ぶことができる保育環境を整備します。

2　事業の内容

・園庭芝生化に伴う工事（表土すきとり・残土処分・真砂土投入・芝張り）
・芝刈り機購入

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）児童福祉費　（目）児童福祉総務費
・負担金補助及び交付金　1,021千円（芝生化補助金）

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	子育てバリアフリーマップ作成事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,076	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,000				76	－

1　事業の背景・目的

子ども連れの訪問に対して配慮されている施設等の情報をマップ化し、外出支援をすることにより、家庭外での親子のふれあいと他の親子との交流促進を図ります。

2　事業の内容

子育て世代に配慮した施設等を知ることができる子育てバリアフリーマップを作成します。

①子育てバリアフリーマップを、ホームページ上から検索・閲覧できるようにします。

②印刷物（Ａ２版・両面・フルカラー、１００部）各公共施設等掲示用

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）児童福祉費　（目）児童福祉総務費

・需用費　76千円

・委託料　1,000千円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金　（項）国庫補助金　（目）民生費国庫補助金

・市町村合併推進体制整備費補助金　1,000千円

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7011　内線 2114

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	放課後児童クラブ運営事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
278,615	国	府	市債	その他	一般財源	
		73,911	62,200	36,911	105,593	136,171

1　事業の背景・目的

保護者が就労等で昼間家庭にいない児童に対し、保護者の替わりに放課後や学校休業中に安心して遊び生活できる場を提供するとともに健全育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援します。

2　事業の内容

放課後児童クラブは、市直営12か所、委託1か所、補助6か所、合計19か所で、平日は放課後から午後7時まで、土曜日と長期休業中は午前7時45分から午後7時まで開設しています。

児童クラブに対する保護者ニーズが多様化・高度化するなか、施設の充実や指導員の資質向上を進め、利用児童の安心・安全な環境整備を推進します。

3　事業費の内訳

(款)教育費　(項)社会教育費　(目)社会教育総務費

・賃金	132,637千円	・委託料	7,358千円
・報償費	221千円	・使用料及び賃借料	50千円
・旅費	114千円	・備品購入費	7,464千円
・需用費	5,363千円	・負担金補助及び交付金	20,502千円
・役務費	3,170千円	・工事請負費	101,736千円
		合　計	278,615千円

4　主な特定財源

・「のびのび育つ」こども応援事業費補助金	73,911千円
・広告収入（窓あき封筒）	4千円
・放課後児童クラブ利用料金	36,907千円
・放課後児童クラブ環境整備（合併特例債）	62,200千円

放課後児童クラブ登録児童数（8月1日現在）

年　度	常時登録数	長期登録数	合　計
■平成24年度	495人	587人	1,082人
■平成25年度	437人	582人	1,019人

担当課	教育委員会事務局 生涯学習課	電話	直通 24-7064　内線 5142

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	小学校施設空調設備設置事業 中学校施設空調設備設置事業 幼稚園施設空調設備設置事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
459,300	国	府	市債	その他	一般財源	
	140,173		303,700		15,427	26,100

1　事業の背景・目的

普通教室に空調設備を設置し教育環境の改善を図り、実施設計の必要な学校において行い、実施設計が前年度完了した学校については空調設備の設置工事を行います。

2　事業の内容

小学校

雀部小学校空調設備に係る実施設計業務
遷喬小学校空調設備に係る実施設計業務　　他２件
惇明小学校空調設備設置工事
昭和小学校空調設備設置工事　　他２件

中学校

日新中学校空調設備に係る実施設計業務
桃映中学校空調設備設置工事
南陵中学校空調設備設置工事　　他２件

幼稚園

昭和幼稚園空調設備に係る実施設計業務
福知山幼稚園空調設備に係る実施設計業務
成仁幼稚園空調設備に係る実施設計業務

3　事業費の内訳

（款）教育費（項）小学校費（目）学校建設費　293,200千円
（款）教育費（項）中学校費（目）学校建設費　160,000千円
（款）教育費（項）幼稚園費（目）幼稚園費　6,100千円

委託料　設計業務委託　18,700千円
工事請負費　440,600千円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）教育費国庫補助金
学校施設環境改善交付金（小学校）　92,833千円
学校施設環境改善交付金（中学校）　47,340千円

（款）市債　（項）市債　（目）教育債
過疎対策事業債（中学校）　15,000千円
合併特例事業債（小学校）　190,300千円
合併特例事業債（中学校）　92,700千円
合併特例事業債（幼稚園）　5,700千円

担当課	教育委員会教育総務課	電話	直通 24-7061　内線 5114

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	由良川ランナーウェイ整備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
6,300			5,900		400	－

1　事業の背景・目的

　市民体育館横堤防上の未舗装部分を舗装し、市民が安心して利用できる約4.5㎞の「由良川ランナーウエイ」として整備します。これにより市民の健康増進、交流の場として提供し活用を図ります。

　また市民ランナー、ジョギング愛好家のすそ野拡大につなげるとともに市民の健康づくりに寄与します。

2　事業の内容

由良川ランナーウェイの整備に要する経費

・未舗装部分である約700ｍ間の舗装工事

3　事業費の内訳

由良川ランナーウェイ整備工事費

2ｍ×700ｍ＝1,400㎡

@4,500円／㎡×1,400㎡＝6,300,000円

4　主な特定財源

由良川ランナーウェイ整備事業（合併特例）　　5,900千円

担当課	地域振興部スポーツ振興課	電話	直通24－7069　内線5148

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	地域力再編！パワーアップ支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,000					500

1　事業の背景・目的

地域の課題や将来の目指す姿を検討するため、地域で（仮称）まちづくり協議会等の組織を立ち上げ、地域ビジョン（地域の将来像）を策定する取り組みを、モデル地区の公募により実施します。（中学校区等を想定）

2　事業の内容

限界集落、公共交通、福祉など、水平的な視点で活性化を図るための最適エリアを、中学校区単位だけでなく、市町堺、府県堺も含む連携エリアとするまちづくりについて、地域内外の住民による地域振興、地域活性化を目的とした計画策定の支援を行います。

計画の策定に当たり、市の関係部署も必要に応じて協議に加わるなどにより協働することとしますが、当該地域の多くの住民の意見を吸い上げる取り組みを必須条件に加えるなど、住民主体の議論による練り上げを原則とします。

策定された計画については、当該地域のまちづくり計画として認定し、具体化を支援することとします。

3　事業費の内訳

○補助金　　1,000千円

※1団体1年1回（上限500,000円）×2団体

4　主な特定財源

国庫補助金：

市町村合併補助金　1,000千円

平成 25 年 12 月 19 日開催
みわまちづくり会議　講演会「住民主体のまちづくり」の模様

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	政策マーケティング（100人ミーティング）事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,877	国	府	市債	その他	一般財源	
	2,877					1,486

1　事業の背景・目的

市民意見を十分に反映した市の各種計画を策定するための市民意見の抽出と、市民の市政への参画機会を増やすことによる協働によるまちづくり意識の醸成を目的として実施します。

2　事業の内容

無作為抽出等により募集・選出した市民100人が、3日間に分かれて参加し、グループ討議により福知山のまちづくりに関する多様な議題について深く討論します。

○市民100人を無作為抽出による選出
○100人ミーティングの実施
○意見のまとめを大学の連携・協力により行う
○まとめの分析
○市政への反映
○市ホームページ等への掲載

3　事業費の内訳

○報償費　512千円
○旅費　70千円
○需用費　105千円
○役務費　81千円
○委託費　2,109千円

4　主な特定財源

国庫補助金：
　市町村合併補助金　2,877千円

写真は平成25年9月6日～8日(3日間)「未来を描く！福知山 100 人ミーティング」開催風景

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030　内線 3114

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">地域提案交付金事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,000</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td>1,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

地域住民の提案と実施による地域課題の解決や地域活性化の仕組みづくりを支援することを目的に実施します。

2　事業の内容

中学校区程度の一定のまとまりのある地域において、地域活性化・定住促進のための活動や地域ビジョン（地域計画等）策定の取り組みを検討する組織（地域力再編！パワーアップ支援事業による補助金交付対象団体等）が提案する、地域振興を目的とした事業に対し補助金を交付します。

3　事業費の内訳

○補助金　　1,000千円

※１年１団体１回（上限1,000,000円）

4　主な特定財源

国庫補助金：市町村合併補助金　1,000千円

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	市民アイデア買取り事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
300	国	府	市債	その他	一般財源	
	300					433

1　事業の背景・目的

市民をど真ん中に据えた市政実現のため、市政への計画段階からの市民参画と市民協働の意識向上を目的として、広く市民のみなさんから市民にしか出し得ないまちづくりについてのアイデアを募集します。

2　事業の内容

（1）概要

ふるさと福知山の未来が光り輝くような施策のアイデアを募集し、その中から事業効果が見込まれる提案について具現化をめざします。

今年度は「子育て」「地域振興」等、テーマを設定した募集方法を検討します。

（2）方法等

広報ふくちやまやチラシの配布、ＨＰへの掲載により、広く市民全般からまちづくりに関する提案を募集します。

提案内容を、市民、市長、市職員による審査で優秀賞、入賞等を決定し、賞金を授与します。

（3）スケジュール

5 月　　提案募集受付
7 月　　応募締め切り
8 月～9 月　審査・ヒアリング（必要に応じて）
＊27 年度以降での具現化をめざします。

3　事業費の内訳

○報償費　192千円
○需用費　　56千円
○役務費　　52千円

4　主な特定財源

国庫補助金：市町村合併補助金　300千円

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	市民参加型事業評価推進事業（公開事業レビュー）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
700	国	府	市債	その他	一般財源	
		350			350	800

1　事業の背景・目的

市が行う事務事業について、その手法や成果等を市民とともに評価・検証を行い、「市民をど真ん中に」据えた市政運営の実現に寄与するとともに、評価結果を今後の事業執行に反映させ、事務事業の改善や市民サービスの向上、スクラップアンドビルドによる行政経営の実践を図ります。

2　事業の内容

一般市民で構成される「市民判定人」等による公開事業評価（公開事業レビュー）を実施します。

3　事業費の内訳

○報償費　　385千円
○旅費　　102千円
○需用費　　44千円
○役務費　　169千円

4　主な特定財源

・府支出金
　行財政改革支援等特別交付金　350千円

■公開事業レビューの模様

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030　内線 3112

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	第三セクター等改革推進債償還基金積立事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
190,603	国	府	市債	その他	一般財源	
				190,603		153,583

1　事業の背景・目的

　公社継承土地・建物から得られる収益をいったん基金にストックし、来るべき三セク債の繰上げ償還、あるいは発行抑制に活用します。歳計現金に混在させるのではなく、基金を通すことで収益の累積状況と使用目的を明確にし、三セク債の償還過程について議会・市民と情報共有を図ります。

2　事業の内容

　債務保証を履行したことで土地開発公社から継承した土地・建物にかかる賃借料と売却収入を「第三セクター等改革推進債償還基金」に積立てます。

3　事業費の内訳

　基金積立金　　190,603 千円

4　主な特定財源

　公社継承土地貸付収入　　108,603 千円

　公社継承土地売払収入　　82,000 千円

担当課	財務部財政課	電話	直通24-7035　内線3325

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	市立保育園整備計画推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
41,912	国	府	市債	その他	一般財源	
				26,800	15,112	5,000

1　事業の背景・目的

市立保育園の統廃合・民営化を進め、保育サービスの拡充や施設の適正規模・配置、運営など、公立、民間の特質を活かした子育て支援の一層の充実を図ります。

2　事業の内容

市立保育園の民営化を進め、老朽化している園舎の建て替えを運営移管先法人とともに進めていきます。また、閉園した保育園のうち利用計画のない園舎を解体し資産管理の適正化を図ります。

3　事業費の内訳

(款)民生費　(項)児童福祉費　(目)児童福祉施設費

・委託料　3,912 千円（用地調査、引継保育）
・工事請負費　37,500 千円（用地造成、道路整備、園舎解体）
・補償補填及び賠償金　500 千円（物件補償）

4　主な特定財源

（款）繰入金　（項）基金繰入金　（目）基金繰入金

・地域の元気臨時交付金基金繰入金　26,800 千円

1 年間の引継ぎ期間の後、平成 27 年 4 月から民営化する修斉保育園（新庄地内。運営移管先は社会福祉法人　みのり福祉会)。

26 年度は周辺道路を整備します。

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	総合案内窓口運営事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
3,735	国	府	市債	その他	一般財源	
				518	3,217	3,778

1　事業の背景・目的

市役所は多数の課が様々な業務を行っており、市民にとって担当課がわからなかったり、戸惑っておられたりということがあります。また、高齢者にとって担当課まで行くことが困難な場合などもあります。

こうしたことを解消し、市役所をより身近で来ていただきやすいところとするため、総合案内窓口により案内業務を行うものです。

2　事業の内容

職員をフロアーマネージャーとして配置し、市役所庁舎1階玄関付近で、各課窓口と連携し案内をするほか、案内が必要な方に積極的に声掛けをする、高齢者を該当の課に案内するなどの業務を行います。

3　事業費の内訳

・賃　金（臨時職員賃金）　3,685千円
・需用費（消耗品費　事務用品など）　50千円

4　主な特定財源

・雑　入（広告料収入　案内表示広告料）　518千円

担当課	市長公室秘書課	電話	直通 24-7027　内線 3147

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	６次産業推進事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
4,160		2,080			2,080	2,486

１　事業の背景・目的

米価をはじめとする農産物価格の低迷により、農産物に付加価値をつけて販売することが大切であると考えます。そのため、従来から実施している農産加工組織や新たに取り組む組織に対して加工施設支援を行うことにより、新たな福知山ブランド品の開発が期待でき、加えて販売促進を支援することとし、農家所得の向上を目指します。

２　事業の内容

１）農産加工施設支援事業

農産加工施設支援と販売促進支援により市内の6次産業化の取り組みを推進し、新たな商品開発を支援する。

２）農業法人連携6次産業化モデル事業（拡充分）

市内農業生産法人が連携し、そばと粉末野菜やカットネギにより、6次産業化の取り組みを行う施設整備と販路開拓を支援する。

３）福知山農産物ＰＲ事業（拡充分）

東京において、イベントや出店販売を行い、本市の農産物や加工品のＰＲを行うとともに新たな商談の機会による販路開拓を支援する。

３　事業費の内訳

１）農産加工施設支援事業

（１）農産加工施設支援(ハード)

・補助率　補助率30%、上限300千円

・補助金　1,200千円(冷蔵庫、オーブン等の施設)

（２）販売促進支援（ソフト）

・補助率　補助率50%、上限200千円

・補助金　　800千円（パッケージ、イベント等宣伝販売経費）

２）農業法人連携6次産業化モデル事業

施設整備支援（粉砕器、フードスライスラー等）

・補助金等　事業費　3,400千円×40%、補助金　1,360千円

販路開拓支援（商品宣伝販売等）

・補助金等　事業費　　500千円×50%、補助金　250千円

３）福知山農産物ＰＲ事業

東京出店にかかる店舗借り上げ、旅費等　事業費　550千円

４　主な特定財源

みらい戦略一括交付金　2,080千円

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	里の駅みたけ産見守り弁当宅配事業（6次産業モデル事業）					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
7,380	国	府	市債	その他	一般財源	
		1,370		4,640	1,370	2,200

1　事業の背景・目的

三岳地域は、65歳以上が占める高齢化率が44.1%(平成22年国勢調査)となっており、過疎高齢化が進行しています。高齢者活動促進施設「里の駅みたけ」は、三岳地域の高齢者の活動を支援する施設として平成11年3月に開設し、平成18年4月からは指定管理者制度による運営を行っています。

新鮮な地場野菜や特産物の加工品等を販売することにより、農作物の生産意欲と地元雇用に大きな役割を担っていますが、地域の過疎高齢化の進行に伴う本施設の在り方が課題となっています。

こうした中で、平成24年9月に三岳地域全世帯を対象に実施した「宅配弁当サービスの実施について」のアンケート調査を行ったところ、実施を望む意見が多くあったことから、本施設が地域の高齢者世帯等の日常生活をサポートするために、平成25年度から地産地消推進店として地元食材を使った「見守り弁当」を宅配し、地域の住民による「見守り」活動を支援するものです。

2　事業の内容

見守り弁当の活動を実施している「三岳高齢者活動促進施設運営委員会」が取組む宅配見守り弁当に必要となる資材等の支援と、高齢者活動促進施設「里の駅みたけ」の加工室利用者の増加等による加工室の拡張を行います。

・見守り弁当運営補助金　　1式
・加工場拡張工事　　1式

3　事業費の内訳

・工事請負費　　5,800千円
・負担金補助金及び交付金　　1,580千円

4　主な特定財源

・地域の元気臨時交付金基金繰入金
　5,800千円×80%=4,640千円
・　みらい戦略一括交付金
　　1,370千円

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4112

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	地場産農産物ブランド化支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
4,500	国	府	市債	その他	一般財源	
		3,600			900	3,650

1　事業の背景・目的

新たな本市のブランド化を図る観点で農業生産法人である有限会社やくの農業振興団が平成 22 年度より本格的に取り組んでいる「そば」による生産から加工、販売に至る 6 次産業化の取組を側面から支援することとして、平成 23 年度に行政支援を行い、さらに平成 25 年度に生産量の拡大を図るため、堆肥による土づくりを行い、平成 26 年度においては、そば栽培にかかる経営基盤の強化を図り本市のブランド化を推進します。

2　事業の内容

京都府の事業活用を行い、そば栽培にかかる汎用コンバイン（そば用）等の機械導入支援を行う。

1）事業主体　　（有）やくの農業振興団

2）事業概要　　現在取り組んでいる「そば」の収量の増大を図るため、そば栽培にかかる汎用コンバイン等機械の導入支援

3）事業内容　　そば栽培にかかる生産条件整備支援　機械導入
汎用コンバイン1台、トラクター1台、石抜き機1台

3　事業費の内訳

補助金 2,500 千円（府　40%、市　10%）

汎用コンバイン　事業費　5,000 千円
補助金　5,000 千円×50%＝2,500 千円

トラクター　　事業費　3,500千円
補助金　3,500千円×50%＝1,750千円

石抜き機
補助金　　500千円×50%＝　250千円

4　主な特定財源

京の水田農業総合対策事業費補助金

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	有害鳥獣捕獲事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
79,550	国	府	市債	その他	一般財源	
		30,642			48,908	65,984

1　事業の背景・目的

本市におけるシカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害の軽減と市民の不安を解消するため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊及び捕獲実施隊による計画捕獲を効果的に実施します。

2　事業の内容

被害防止計画に定めるシカ4,270頭・イノシシ600頭・アライグマ他小動物550頭の計画捕獲を推進するための体制と対策を次のとおり実施します。

（１）　駆除隊活動事業

有害鳥獣駆除隊員に対し、捕獲、活動実績に応じた捕獲報償金及び出動手当等を支払います。

（２）捕獲実施隊活動事業

有害鳥獣捕獲実施隊員による主に銃器を使用する捕獲活動を週4日（月16日）8か月間実施し、捕獲、活動実績に応じた捕獲報償金及び出動手当等を支払います。

（３）広域捕獲及び緊急捕獲活動事業

府県境に生息する鳥獣を効率的に捕獲するための広域捕獲や突発的な緊急捕獲を実施し、活動実績に応じて出動手当等を支払います。

（４）狩猟免許取得支援強化事業（拡充分）

計画的な捕獲活動には、駆除隊員の確保が重要であり、狩猟免許の新規取得者に対し、取得費用の一部を助成します。

（取得費用の2/3を助成（補助率の拡充））

（５）安全・技術研修会開催事業

駆除隊員、実施隊員、農区柵の管理者等に対し、捕獲活動に関する法令順守と安全対策、わなによる捕獲技術、捕獲個体の適正処理等の講習会を開催します。

3　事業費の内訳

報償費（捕獲動物買上料及び駆除隊・実施隊活動手当）73,437千円、賃金1,215千円、旅費73千円、需用費1,077千円、役務費360千円、
委託料264千円、使用料296千円、備品購入費90千円、
負担金補助及び交付金 2,738千円

4　主な特定財源

府補助金　　緑の公共事業（有害鳥獣駆除関係事業）30,642千円

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047　内線 4132

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	有害鳥獣防除事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
64,000	国	府	市債	その他	一般財源	
		1,000		61,000	2,000	68,180

1　事業の背景・目的

シカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物等への被害は農家の営農意欲や農地保全にも大きく影響しており、駆除対策と併せて金網柵等の設置による防除対策を緊急的、加速的に実施するため、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する防除施設設置事業に対する支援、協力を行い、被害の軽減を図ります。

2　事業の内容

（１）バッファゾーン整備及び実のなる木植栽事業

人里・集落・農地への野生鳥獣の侵入を防ぐため、山裾に緩衝帯を整備するとともに奥地に実のなる木を植栽し､野生鳥獣との棲み分けを図ります。

（２）シカ・イノシシ侵入防止柵設置事業

福知山市有害鳥獣対策協議会が農区等に対して貸与する防除施設資材（電気柵・金網フェンス・溶接金網）の購入費について支援します。

ただし、国の定める基準を上回れば、地元負担となります。

（設置予定延長120ｋｍ、事業費180,000千円）

3　事業費の内訳

委託料2,000千円、補助金62,000千円

4　主な特定財源

府補助金　緑の公共事業（有害鳥獣防除施設設置事業）　1,000千円

雑入　　有害鳥獣被害防止対策費　61,000千円

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047　内線 4132

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	荒廃森林再生事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
700	国	府	市債	その他	一般財源	
					700	―

1　事業の背景・目的

森林の適正管理を目的とする間伐等の森林施業に(補助金等の)支援を受けるためには、所有者の合意による集団化と森林経営計画樹立が必須ですが、社会経済状況の変化等によって森林、林業への関心が薄れ、本市においても放置森林の増加や森林の荒廃化が深刻な状況となっています。

このような状況をふまえ、集団化が可能と思われるモデル地域を選定し、森林現況調査や計画策定に対する支援を行うことにより、森林の適性管理の気運を高め、森林の荒廃防止を図ります。

2　事業の内容

間伐材搬出等の施業条件を満たすと思われる地域を選定し、森林所有者に働きかけを行い、森林現況調査や経営計画策定を進めます。

実施予定数　　1団地（60ha規模）

3　事業費の内訳

委託料　　700千円

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047　内線 4132

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	中小企業サポートセンター事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
3,261	国	府	市債	その他	一般財源	
					3,261	3,026

1　事業の背景・目的

市内に於ける経済動向は、持ち直しつつあるが下請け産業の多い中小企業経営は、海外経済、為替動向の影響等で原材料価格の上昇が強まるなか、価格転嫁も難しく、また、消費税率アップ等も控え先行きが不透明な状況となっています。このため、中小企業がかかえる経営課題の解決をサポートすることで、更なる技術力、製品力、販売力の向上を図り、企業経営の安定化と地域経済の活性化を目指します。

2　事業の内容

市内並びに本市周辺の市町にある企業等との連携を深め、企業経営力強化への有益情報（補助金制度・社員教育・技術力向上・販路開拓等）をメール会員に発信します。また、元気な中小企業を全国に情報発信するため「元気な会社はひとあじ違う」冊子の第二弾の発行、さらには、新製品の開発等を産学官連携で実施できる新たな支援体制づくりを行います。

3　事業費の内訳

［総事業費］　3,261千円

［内　　訳］臨時職員賃金　1,215千円

福知山市中小企業等支援機関連絡会議負担金　1,415千円

使用料及び賃借料（パソコン・プリンターリース料）　104千円

その他事務費（旅費・通信運搬費）　527千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7504　内線 4151

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	入札制度改革等検討事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
374	国	府	市債	その他	一般財源	
					374	180

1　事業の背景・目的

入札における競争性・透明性及び公平性の向上並びに市内中小企業の受注機会の拡大を目指し、現在の入札契約制度を評価・検証し、今後の福知山市が実施していくべき改善方策等について意見を聴くため、福知山市入札制度改革等検討委員会を開催し、より一層の改善を図ります。

2　事業の内容

福知山市入札制度改革等検討委員会で、公正中立の立場で客観的に入札制度等について意見を聴取し、現行制度を評価･検証し、改善を図ります。

3　事業費の内訳

委員報酬	240千円
旅費	119千円
需用費	15千円

担当課	財務部契約監理課	電話	直通 24-7043　内線 3314

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	循環型雇用促進特別奨励金給付事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
3,630	国	府	市債	その他	一般財源	
				3,630		―

1　事業の背景・目的

就業が困難な40代以上の求職者のうち、国の雇用開発助成金事業（60歳以上）により正規雇用への推進事業の対象となっていない40代、50代の求職者を、国のトライアル雇用制度を活用して雇用し、その後、引き続き正規雇用をした事業所に対して奨励金を支給することで、40代、50代の求職者の積極的な雇用の推進、さらには知識や経験を活かした拡充を目指します。

2　事業の内容

①　対象事業所

市内にある事業所で、トライアル雇用制度を活用して40代もしくは50代の福知山市内在住の求職者を雇用し、その後、引き続き正規雇用として期間の定めのない雇用をした事業所

②　補助金額

正規雇用者1人につき180千円

※ただし、トライアル雇用を終了後、引き続き常用雇用者として6ヶ月以上雇用したことが確認出来た事業所に対して交付します。

3　事業費の内訳

○負担金補助及び交付金

循環型雇用促進特別奨励金　　3,600千円

180千円×20件＝3,600千円

○需用費（チラシ印刷等）　　30千円

4　主な特定財源

○ふるさと就職おうえん基金繰入金　　3,630千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4143

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育･文化のまちづくり					
事業名	スポーツ合宿補助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,500	国	府	市債	その他	一般財源	
				1,500		1,500

1　事業の背景・目的

本市のスポーツ資源を有効に活用し、スポーツ合宿を通して人の交流促進を図り地域の活性化につなげるため、合宿誘致に取り組みます。

ただし、7月・8月本市の合宿繁忙期を除く期間（10か月限定）とし、空き施設が多い平日を中心に合宿を促進し、施設の有効活用を図ります。

2　事業の内容

合宿で本市に来られる人、団体に対して補助金交付要綱に則り補助金を交付し、合宿費用の一部を補完します。

※補助金の交付額

1回の合宿延べ宿泊日数が20人泊以上の団体（監督、顧問、コーチなどの指導者含む）とし、1団体あたり20万円を限度として、大会宿泊を除いた月曜日から金曜日までの宿泊日数に2,000円を乗じた額を補助金とします。

3　事業費の内訳

補助金　1,500,000円

4　主な特定財源

地域振興基金繰入金（スポーツ合宿補助事業繰入金）　1,500千円

5　参考

平成24年度スポーツ合宿実績

宿泊人数 500人　総泊人数 1,060人　交付金額 1,370,000円

担当課	地域振興部スポーツ振興課	電話	直通24－7069　内線5148

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	ふくちの村来人（むらびと）定住活動支援事業					新規
予算額（千円）	財源内訳（千円）					前年度予算額
7,282	国	府	市債	その他	一般財源	
		1,350			5,932	－

1　事業の背景・目的

本市の農山村地域では、人口減少・高齢化、また空き家増加が進行し、共同作業の困難化、農林業の衰退、生活環境の悪化など、集落機能の低下が重要課題となっています。

一方では近年、従来の都会中心の価値観や社会情勢の変化により、農山村地域への移住志向も高まってきています。

現在、都市部からの過疎地への定住促進対策として、国では「地域おこし協力隊制度」や、府では、空き家活用に関する補助事業などの制度が創設されており、これらの条件や制度を活かした農山村活性化の取り組みが進んでいます。

今回、集落や地域団体等自らが空き家を活用した移住者受け入れ計画を策定し、将来計画人口の実現や地域おこし活動の活性化に繋げていく取り組みを直接支援する事業を開始します。

2　事業の内容

移住促進計画を策定し、空き家に移住者を受け入れて地域おこしを行う地域に対し、市が委嘱した地域おこし協力隊員（ふくちの村来人）を移住配置して、地域協力活動を行います。

（1）明日の村人移住促進事業（2,700千円　移住環境整備費）
- 移住促進計画策定費補助（　500千円　府1/2市1/2）
- 空き家の改修費補助　　（1,800千円　府1/2市1/2）
- 空き家の家財撤去費支援（　200千円　府1/2市1/2）
- 空き家での起業支援　　（　200千円　府1/3市1/3）

（2）地域おこし協力隊制度　（4,582千円　人的支援費）
- ふくちの村来人活動事業（2名配置）

3　事業費の内訳

共済費	254千円	需用費	420千円
賃　金	1,656千円	役務費	65千円
報償費	200千円	使用料及び賃借料	2,159千円
旅　費	28千円	負担金補助及び交付金	2,500千円

4　主な特定財源

農業費補助金（明日の村人移住促進事業補助金）1,350千円

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4114

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	農山村空き家バンク事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
5,628	国	府	市債	その他	一般財源	
		2,500			3,128	5,544

1　事業の背景・目的

本市農山村地域では過疎高齢化が進行し、地域の担い手不足が深刻化する中で集落活動などが困難になりつつあります。

こうした集落内にある空き家や住宅建築が可能な空き地を活用して集落への定住者を確保し、地域の維持・活性化のために「空き家情報バンク要綱」に基づいて情報を登録し、利用希望者へ情報の提供を行います。

2　事業の内容

空き家バンク情報資料の作成を行い、利用者への情報提供を密にするとともに、施策を活用して空き家等の登録を促進します。

空き家バンク登録促進のための施策

(1)固定資産税相当額補助

・登録された物件を対象として、登録年前年の固定資産税相当額1年分を補助

・１件当たり年3万円を上限

(2)空き家改修費補助

・市外からの移住者（5年以上定住）と空き家所有者の間で成約した物件に対して空き家改修費を補助

・50万円以上（範囲拡充）の改修工事に対して1/2補助、100万円を上限

・市内に住所または営業所を有する業者が施工（丹州材の活用を推進）

(3)空き家見学ツアー

・バンク登録物件を見学するバスツアーを実施

3　事業費の内訳

需用費	151千円
役務費	111千円
委託料	9千円
使用料及び賃借料	57千円
負担金補助及び交付金	5,300千円

4　主な特定財源

みらい戦略一括交付金	2,500千円

市内農山村地域の空き家

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4114

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">元気出す地域活力支援事業</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2,800</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>2,800</td><td></td><td>2,800</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

　地域の活力向上や課題解決に向け、地域住民が主体的に参画する団体が、実効性のある地域活性化事業を行うことにより、当該地域はもとより福知山市の活性化に資することを目的として支援します。

　採択団体へ実施したアンケートからは「課題の解決に近付いた」「現在も事業を継続している」等の回答があり、地域課題の解決や住民自治の充実に効果がありました。

2　事業の内容

　福知山市元気出す地域活力支援事業補助金交付要綱に基づき予算の範囲内において補助金を交付します。

【一般枠・起業準備支援枠】
　　補助率　　3分の2以内　　補助上限額100千円
【若者創造枠】補助率　　10分の10以内　　補助上限額200千円
※団体の構成員の平均年齢が30歳未満の団体を対象とします。

3　事業費の内訳

負担金補助及び交付金3,600千円
【一般枠】　　100千円×20件＝2,000千円
【起業準備支援枠】100千円×　2件＝ 200千円
【若者創造枠】　　200千円×　3件＝ 600千円

4　主な特定財源

地域振興基金繰入金　2,800千円

担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033　内線 3131

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	夜久野高原花回廊整備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,626	国	府	市債	その他	一般財源	
					2,626	700

1　事業の背景・目的

夜久野高原は「黒ボク」と呼ばれる独特の表土で覆われており、その水はけの良さや、優れた作業性から畑作や樹木育成などに適しており、開墾以来今日まで、夜久野畑での農家によるスイカ・豆・大根・栗・葡萄栽培や、造園関係業者による、サツキ・ツツジ栽培や、緑化樹の養成などが行なわれており、京都府、兵庫県双方の緑化センターも設置され、樹木研究と養成の拠点となっている他、京都府緑化センターには毎年春に枝垂桜並木の見学客が大挙して訪れる花の名所となっています。この好条件を活かし、「夜久野玄武岩台地活性化事業構想」の一環として、道の駅「農匠の郷やくの」を中心に既存の、緑化センターや放光院(茶堂)、玄武岩公園などの観光スポットを繋ぎ「石仏八十八ヶ所巡りルート」を含む「夜久野高原花回廊」を、地域の協力のもと設定・整備して夜久野高原観光のネットワーク化を進めます。

それにより、夜久野高原への入込客の増加と滞在時間の延長を促進し、観光関連支出の地域投下の条件を拡大して経済循環の輪を広げ、夜久野地域の振興に繋げる目的で本事業を実施します。

2　事業の内容

(1)夜久野高原花回廊花木植栽業務

花回廊検討委員会の提言に基づいた、花回廊に花木植栽委託業務。

(2)回廊散策路補修業務

花回廊構想のルートである、石仏八十八ヶ所巡りの回廊補修及び石仏のコンクリート製台座の補修の実施。

3　事業費の内訳

需用費　　100,000円（苗木代）

委託料　　2,526,000円（花木植栽業務・散策路補修業務）

担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1103　内線 74-9221

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	大原地区産屋周辺整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
35,640	国	府	市債	その他	一般財源	
			35,600		40	10,916

1　事業の背景・目的

三和町大原地域にある産屋は、全国に残る数少ない産育習俗を伝える京都府指定文化財です。産屋は、大原神社前を流れる川合川の対岸に位置しています。産屋へ行くルートとしては、川合川に設けてある飛び石を渡るか、歩道のない国道173号を通るしかありません。飛び石については、降雨により川が増水した際は、通ることができません。また、国道については、平成25年度事業で京都府がロードパークから国道の下を通って産屋に行けるように地下道を設置します。

京都府の地下道設置事業の延長で大原神社までのルートを確保することと、大原神社から産屋へ行くルートを確保するため、川合川に、産屋周辺の景観にマッチした橋を設置することとし、訪れる人が伝統文化や文化財、地域で守り美化に努めている観光資源を安心して、安全に、また一体的に体感できるようにします。さらに、川合地域が持つ経ヶ端城跡などの地域資源と連動させながら有効活用を図ります。

平成24年度は、基本設計を実施し、平成25年度は詳細設計を実施しました。

事業期間：平成24年度～平成27年度

2　事業の内容

平成26年度　橋梁下部工、基礎工、擁壁工事等
　　用地買収、物件移転補償等

平成27年度　橋梁上部工、周辺整備工事

3　事業費の内訳

各所調整、協議旅費(京都)	25,920円(2人×2回分)
委託料(公共嘱託登記業務)	900,000円
工事請負費	31,600,000円
土地購入費(橋梁取付用地)	614,000円
物件移転補償費	2,500,000円
計	35,639,920円

4　主な特定財源

大原産屋周辺整備事業(過疎対策債)
35,600千円

担当課	地域振興部三和支所	電話	直通 58-3001　内線 73-9111

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	大江山ウォーク推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
251					251	－

1　事業の背景・目的

「スポーツから健康サポート」をテーマに、大江山の自然・歴史に触れる機会を設けます。ウォーキングや登山、トレッキングなどにゆかりのあるスポーツをとおして、体験や体力・健康の保持に努める方々が増えていることを踏まえて、地域資源を利用して大江山から三岳山までの縦走路として活用を検討し、大江山の伝説も取り入れながら様々なスポーツシーンを展開することで、スポーツ観光として、市外からの来福者への観光誘致につなげます。

2　事業の内容

(1)ノルディックウォーク福知山ステーションと連携し、大江山近辺でノルディックウォーク大会の開催を働きかけます。さらに、ジャパンシリーズ対象大会の１つとしての位置付けを目指します。

(2)京都府山岳連盟、ノルディックウォーク連盟と連携し大江山への誘客事業を展開します。

3　事業費の内訳

【内訳】

報償費	（講師謝礼）	45,000円
旅費		66,000円
需用費	（印刷製本費）	50,000円
役務費	（その他手数料）	40,000円
委託料		50,000円
	計	251,000円

担当課	地域振興部スポーツ振興課	電話	直通24－7069　内線5148

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">大江山ゆらり自然発掘事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="3">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,302</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1,302</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

　大江地域では、大江山連峰満喫ゾーン、酒呑童子の里周辺自然体験ゾーン、元伊勢パワースポットゾーン、由良川川遊び体験ゾーンの4つにゾーニングし、周遊性を高めるとともに、山・川の魅力度を向上させ、地域観光の促進を図ります。

　今回、その第１段階として、元伊勢パワースポットゾーンから酒呑童子の里ゾーン周辺自然体験ゾーンを拠点整備するもので、京都府に対して平成26年度地域主導型公共事業として要望するとともに、市としても元伊勢、二瀬川等の魅力を最大限に活かす整備をすすめます。

2　事業の内容

散策路（二瀬川探勝路）サイン等設置業務

　地域資源の利活用を図るため、今年度、施設整備費として、散策路へのスムーズな誘導看板等の設置をし、観光客の利便性を高めます。

3　事業費の内訳

散策路（二瀬川探勝路）サイン(3基)・手すり・ベンチ設置修繕、支障看板撤去1,200千円／需用費（事務用品等）102千円

担当課	地域振興部大江支所	電話	直通 56-1102　内線 75-9331

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	大江ふるさと観光ガイド事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,023	国	府	市債	その他	一般財源	
				1,023		2,398

1　事業の背景・目的

元伊勢観光センターは、ＫＴＲ大江山口内宮駅に近接し、大江山や元伊勢への観光の誘客拠点として駅舎を兼ねた観光案内所兼休憩所として昭和63年に整備されたものです。現在、どぶろく研究会が施設の一部を濁酒の製造拠点及び休憩所として利用し、エントランス部分については市の直営となっています。

24～25年度、緊急雇用対策事業で観光ガイド職員を概ね週4日配置しています。現在まで、ハイキング等の団体利用も含め、土日は平均約15名の利用がありました。観光や道順の問合わせ、ハイキング等の下見、リピーターもあり、開館の効果は十分にあると考えられます。この実績を踏まえ今後、ビジターセンターとして定期的持続的に開館して地域の魅力を発信していきます。

2　事業の内容

(1)元伊勢観光センターにおける観光案内業務の委託

・観光案内、観光及び地場産品のＰＲ、企画展示等の実施

・大江山や元伊勢等の豊かな自然・歴史・伝説等を活かした魅力のある情報の発信

・開館日　（土日祝、ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝｳｨｰｸ、夏休み期間）

(2)観光振興課との連携を図り、毎週土曜日に実施しているディスカバーウエストハイキングの対応

(3)観光ガイドボランティア養成講座の実施

(4)ガイド用ベスト及び帽子の製作

3　事業費の内訳

ＤＷハイキングガイド謝礼　196千円

元伊勢観光センター観光ガイド委託料　677千円

案内所開設、観光ＰＲ事務（チラシ、ガイド資料等作成、講座実施、情報発信等）

通信運搬費（電話設置・プロバイダー）　100千円

ガイド用ベスト及び帽子　50千円

4　主な特定財源

地域振興基金繰入金　1,023千円

担当課	地域振興部大江支所	電話	直通 56-1102　内線 75-9331

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	大雲水辺の里づくり事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
300	国	府	市債	その他	一般財源	
					300	200

1　事業の背景・目的

大江地域は、由良川流域の自然と歴史に育まれた地域で、由良川は地域にとって母なる川であると共に、洪水など災害の源でもあり、由良川との共存が大きな課題となっています。そこで母なる由良川の水運の歴史や水資源に着目し、水に親しめる川づくりを推進するとともに、川を通しての地域間交流の推進、人々の交流の場を創出することを目的とします。

2　事業の内容

大雲の里を拠点に、水運の歴史のある川・こどもの遊び場としての川・水産資源の宝庫としての川・山と海の接点としての川の価値を再認識し、その利活用を考える。

(1)由良川に生息する魚等、生態系の調査・ＰＲ
(2)観光協会や地域団体と連携した川舟イベントの開催
(3)川舟観光の調査・検討
(4)川舟運行事業者の検討
(5)国・府への由良川利水推進に関する要望

3　事業費の内訳

福知山市大雲水辺の里づくり事業補助金　300,000円

担当課	地域振興部大江支所	電話	直通 56-1101　内線 75-9334

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	鉄道利用促進事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
750	国	府	市債	その他	一般財源	
					750	950

1　事業の背景・目的

「鉄道のまち」として、鉄道とともに発展をしてきた本市にとって、鉄道は現在においても沿線地域の人々の貴重な移動手段であるとともに、地域産業・経済の発展のためになくてはならない都市基盤です。

現代の車社会の著しい進展とそれにあわせた高速道路網の整備進展など様々な社会情勢の変化の中で、利用者数は減少を続け、地方における鉄道の状況は非常に厳しいものとなっています。

こうした中、今後も北近畿のくらしや経済を守り続けていくためには、鉄道網の整備・拡充を推進する必要があり、本市においても鉄道に対する市民意識の高揚と利用促進を図るため、市内関係団体で組織する福知山市鉄道利用増進協議会が行う事業に対し支援を行います。

2　事業の内容

鉄道の利用促進を図るため、福知山市鉄道利用増進協議会が行う鉄道利用増進事業に対し補助金を交付します。

主な事業

○スイーツ列車事業（市民アイデア買取事業）
○案山子（かかし）コンテスト
○教育機関利用補助
○企画旅行補助

3　事業費の内訳

（款）総務費　（項）総務管理費　（目）交通対策費

福知山市鉄道利用増進協議会補助金　750千円

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020　内線 2231

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	市民会館・中央公民館改修事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
550,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	220,000		313,500		16,500	－

1　事業の背景・目的

平成26年4月、「市民交流プラザふくちやま」のオープンにより現在の市民会館の主要機能である図書館、中央公民館が全面移転することに伴い、老朽化した市民会館・中央公民館の耐震化工事及び機能再編を行います。

新たな市民会館には中央保健福祉センター、男女共同参画センター、障害者生活支援センターなど保健福祉機能の拠点化を行うとともに、現在の4階ホールの改修を行い、利便性向上を図ります。

2　事業の内容

施設改修工事　　A＝3,294 ㎡

年度	内容	事業費
25	改修に係る実施設計	15,000 千円
26	施設改修工事	550,000 千円
計		565,000 千円

3　事業費の内訳

○工事請負費　550,000千円

4　主な特定財源

国庫補助金：暮らし・にぎわい再生事業　220,000千円

市　　債：合併特例債　313,500千円

■市民会館外観（現況）

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030　内線 3112

市民会館・中央公民館改修事業　概要

1　主要機能

１階　中央保健福祉センター（事務室、集団検診室、診察室等）

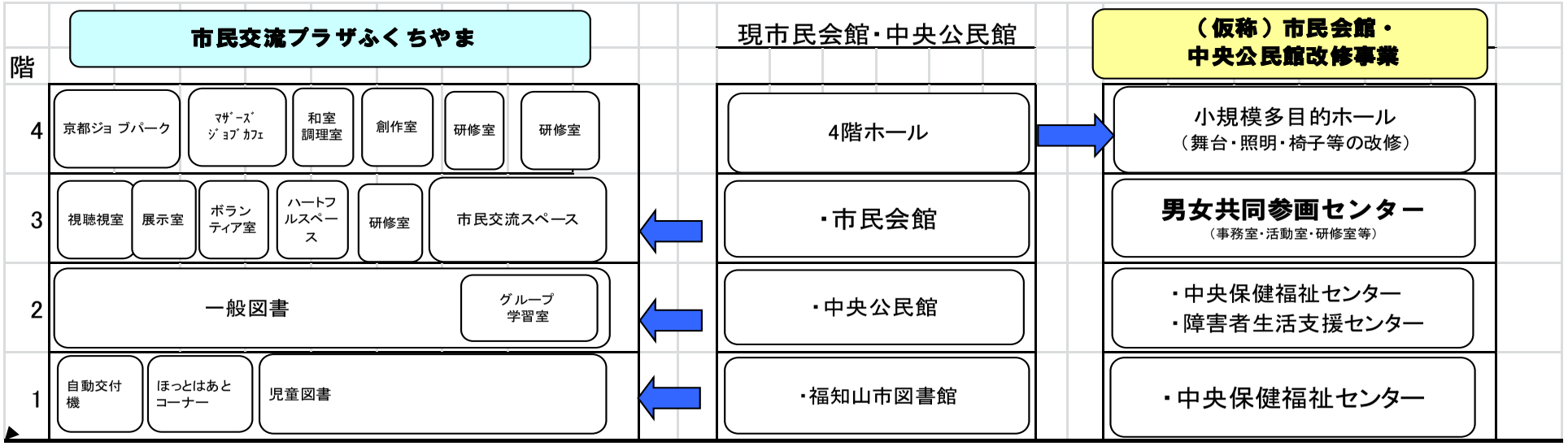
２階　中央保健福祉センター（機能訓練室、栄養指導室、多目的室等）

　　障害者生活支援センター（事務室、相談室、会議室等）

３階　男女共同参画センター（事務室、活動室、研修室）

４階　小規模多目的ホール（客席数３００席規模）

2　計画概念図



施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	厚生会館改修構想策定事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
5,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	5,000					－

1　事業の背景・目的

市民交流プラザ、市民会館4階ホールとの機能分担を考慮して、厚生会館を本市の文化拠点として充実させるために基本構想を策定します。

厚生会館は、本市最大の1,000人規模のホールで、音響特性なども優れています。本市の文化拠点にふさわしい、文化ホールとしての機能充実、利用者の利便性の向上を目的に、利用者ニーズを踏まえて事業内容や事業規模などについて多角的に検証し、将来の改修計画に向けた基本構想を策定します。

2　事業の内容

基本設計策定業務委託

※今後の想定　26年度　基本構想策定

27年度以降　実施設計

改修工事

3　事業費の内訳

業務委託　5,000千円

4　主な特定財源

国庫補助金（市町村合併補助金）5,000千円

担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033　内線 3133

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	交流プラザふくちやまオープン記念事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,451	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,451	－

1　事業の背景・目的

市民の様々な生涯学習活動・市民活動・地域活動の拠点となる「市民交流プラザふくちやま」の供用開始にあたり、施設のＰＲと利用促進を図るため、開館記念イベントを開催します。

2　事業の内容

市民交流・生涯学習の拠点として整備した市民交流プラザの開館に際し、記念講演会等のイベントを開催し、市民交流プラザを文化と情報の発信基地として生涯学習活動を支援するとともに、今後の利用促進を図ります。

●オープニング記念事業

プレオープンセレモニー

内容：開館記念式典　市長挨拶　関係者によるテープカット等

グランドオープンセレモニー

内容：記念展示事業並びに開館記念講演会等の実施等

市民による市民文化活動の発表会や各種イベントの実施等

展示室・展示ホールを利用、市民の文化活動の取組紹介や作品展示会を開催。

生涯学習ゾーンを利用した市民文化活動の発表会や作品紹介等の催しの検討を行い実施する。

3　事業費の内訳

・報償費／報償金、講師謝礼（オープン記念講演会）　400千円
・需用費／消耗品費、消耗品費（招待者記念品等）　443千円
　　印刷製本費、印刷製本費（施設概要書等）　50千円
・役務費／通信運搬費、郵送料等　21千円
　　手数料、その他手数料（新聞広告手数料）　105千円
・委託料／製作・作成業務、記念式典会場設営看板等　432千円

担当課	中央公民館	電話	直通 22-9551　内線 5170

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">新図書館オープン記念事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,262</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1,262</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

市民の知識と文化を育む拠点である新図書館中央館のオープンを記念して、図書館活動の振興にご尽力いただた方を招き、市民の皆さんと共に新しく生まれ変わる情報交流拠点の開館を祝います。

また、多くの方に図書館の魅力を伝えるための記念イベントを随時開催することにより、新しい図書館の周知と利用促進を図ります。

2　事業の内容

記念式典費用
記念式典招待者旅費
パンフレットの作成
オープン記念講演会等の実施

3　事業費の内訳

・報償費300千円／旅費63千円／需用費866千円／役務費／33千円

<table>
<tr><td>担当課</td><td>教育委員会
図書館中央館</td><td>電話</td><td>直通 22-3225　　内線 5162</td></tr>
</table>

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	敬老乗車券事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
27,633				10,955	16,678	13,749

1　事業の背景・目的

路線バス及び北近畿タンゴ鉄道株式会社（KTR）の利用を促進し、高齢者の通院や買物等の移動手段の確保を図るとともに、高齢者の社会参加を促すことを目的に、75歳以上の高齢者に対し、路線バス及びKTRの乗車券として利用できる敬老乗車券を販売します。

2　事業の内容

①　対　象

市内に住所を有し、その年度に75歳以上になる人

②　助成券の内容

・　市内を運行する路線バス（高速バスは除く）及びKTRの乗車券として利用できる助成券を、1冊3,000円分（100円券×30枚つづり）として500円で販売します。

・　助成券の購入は、同一年度ひとり3冊9,000円分を限度とし、有効期限は購入した年度の翌年度末とします。

＊ 販売は市役所及び各支所で行います。

＊ 助成券は、作製年度が判るように年度ごとに色分けして販売します。

＊ バス運行事業者及びKTRには、利用された助成券相当額を負担します。

3　事業費の内訳

（款）総務費　（項）総務管理費　（目）交通対策費

需用費（消耗品費、印刷製本費）

敬老乗車券印刷代等 9,000冊　633千円

負担金　運行事業者への運賃補填　27,000千円

4　主な特定財源

（款）繰入金　（項）基金繰入金　（目）基金繰入金

過疎地域自立促進基金繰入金（敬老乗車券事業基金繰入）　6,455千円

（款）諸収入　（項）雑入　（目）雑入

敬老乗車券販売収入　4,500千円

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7084　内線 2232

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	くりのみ園機能拡充事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
10,000			9,500		500	5,148

1　事業の背景・目的

発達に課題のある子どもとその保護者を支援していく拠点施設として福知山市障害児　通園療育センター「くりのみ園」を開設しています。「くりのみ園」の通園希望児童は増加しており、また「のびのび福知っ子就学前発達支援事業」による事後支援を充実させていく必要があり、「くりのみ園」の機能を拡充していきます。

※平成25年度事業名：(仮称) 福知山市発達支援センター整備事業

2　事業の内容

現在「くりのみ園」で行っている療育等発達に課題のある子どもの支援を充実するため、旧福知山市学校給食センター跡地での園舎新築に向けた実施設計を行います。

≪拡充する機能≫	≪左の内容≫
就学前療育部門の拡充	専門設備を充実させ療育の質と量の向上を図ります
就学前発達支援部門の拡充	4歳児クラス健診の事後支援として個別指導を充実します
学童期支援部門の新設	小学校低学年を対象に集団生活適応訓練などを行います

3　事業費の内訳

(款) 民生費　(項) 児童福祉費　(目) 児童福祉施設費

・委託料　10,000千円 (実施設計)

4　主な特定財源

(款) 市債　(項) 市債

(目) 民生債

・くりのみ園機能拡充事業

(合併特例)　9,500千円

くりのみ園の外観。機能拡充のため旧福知山市学校給食センター跡地に移転新築します。

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7083　内線 2117

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">障害児者歯科診療所運営助成事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td>予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,167</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1,167</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

障害のある人の中には、歯科診療を受ける場合、治療に至るまでの訓練時間がかかり、さらに複数回の通院が必要となる場合が多くあります。しかしながら、障害のある人の歯科診療施設は京都の二条駅近くに１か所あるだけであり、通院に大きな負担がかかっています。

京都府の補助金を受けて京都府歯科医師会が福知山市内に障害児者歯科診療所を設置されることとなりましたが、毎年運営コストがかかることとなります。

障害のある人が歯の健康を保ち、食事をおいしく味わえる環境を整え、北部地域の障害のある人の歯科診療を継続するために、京都府歯科医師会に対し助成を行います。

開設予定地：福知山市公設地方卸売市場管理棟１階部分（福知山市問屋町）
設置運営主体：京都府歯科医師会

2　事業の内容

京都府歯科医師会へ、福知山市内に設置される障害児者歯科診療所の運営に対して、京都府及び北部市町が分担額を負担します。

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）社会福祉費　（目）社会福祉援護費

・負担金補助及び交付金　　1,167千円

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7017　　内線 2124

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	「絆」プロジェクト　手話のできる人材育成推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,480	国	府	市債	その他	一般財源	
		740			740	1,500

1　事業の背景・目的

手話通訳や要約筆記は、聴覚・音声・言語に障害のある人のコミュニケーション手段を確保するうえで、社会参加（日常の買い物や外出、スポーツ、観劇など）、市役所や事業所における手続き、災害時の避難支援、日ごろの見守りなどに大切な役割を担っています。

また、要約筆記は難聴の高齢者などにとっても、有効なコミュニケーション手段のひとつとなります。

本市では、平成25年3月に策定した「第2次福知山市地域福祉計画」に基づき、人権尊重を基本に、住民相互の理解・補完・協力によって誰もが安心して暮らせる地域づくりと社会参加を促進するとともに、福祉文化を創造しユニバーサル社会の形成に向け、平成25年度から取り組んでいる本事業を継続します。

2　事業の内容

(1) 聴覚、音声、言語に障害のある人の情報支援を行うため、市役所窓口に自己紹介程度の手話による会話ができ要約筆記を可能とする職員を養成します。

(2) 市民公募による缶バッチを作成し、手話ができる市民や職員に配付し、身につけることで、聴覚・音声・言語に障害のある人への周知を図るとともに、手話の普及・啓発を行います。

(3) 聴覚、音声、言語に障害のある人の社会参加を促進するため、企業や事業所に対して簡単な手話の出前講座を開催し、手話の普及・啓発を行います。

(4) 地域住民に対して、聴覚、音声、言語に障害のある人の生活・福祉制度についての理解と認識を深めるための講演会を開催します。

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）社会福祉費　（目）社会福祉総務費

・報償費　550千円（講師謝礼）
・需用費　80千円（消耗品）
・委託料　850千円（職員手話・要約筆記養成研修実施業務）

4　主な特定財源

（款）府支出金　（項）府補助金　（目）民生費府補助金

・京都府みらい戦略一括交付金　740千円

担当課	福祉保健部地域福祉課	電話	直通 24-7088　内線 2112

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	ＫＴＲ大江駅バリアフリー化事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
55,211	国	府	市債	その他	一般財源	
			55,000		211	－

1　事業の背景・目的

厳しい経営が続く北近畿タンゴ鉄道株式会社（ＫＴＲ）の利用促進を図るため、大江駅のバリアフリー化を行います。高齢者や障害者に利用しやすい環境を整備するとともに、京都府北部地域を対象とした海の京都構想の大江山酒呑童子の里交流地区の起点となる大江駅周辺の活性化を図ります。

2　事業の内容

KTR大江駅のバリアフリー化を図るため、改札とホームを連絡する通路に階段昇降機の設置等を行います。

3　事業費の内訳

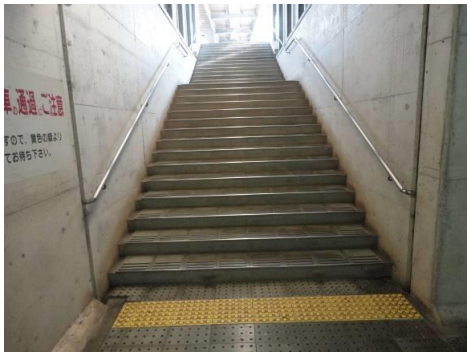
（款）総務費　（項）総務管理費　（目）交通対策費

階段昇降機設置費負担金	48,432千円
地域振興センター自動ドア設置工事	4,000千円
〃　スロープ改修工事	2,568千円
階段昇降機操作委託	150千円
事務経費	61千円

4　主な特定財源

（款）市債　（項）市債　（目）総務債

過疎対策事業債　55,000千円



大江駅連絡通路

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020　内線 2231

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	平和・人権若者交流事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
775	国	府	市債	その他	一般財源	
	775					－

1　事業の背景・目的

若者が平和事業を企画・立案・運営することで、市民協働による「恒久平和宣言のまち福知山」を具現化していきます。

これまでに平和事業等に参加した若者を中心に実行委員会を組織し、自らで平和事業を企画し運営することで、市民に向けて熱く「恒久平和宣言のまち福知山」のメッセージを発信します。

2　事業の内容

平成27年度の本格実施に向け実行委員会を立ち上げ、「（仮称）平和フォーラム・イン福知山（終戦70周年記念事業）」を実施します。

平成26年度は、人にいちばん近いまちづくり実行委員会ほか協力頂ける市民団体によって平和人権コンサートを企画・運営します。

【事業計画】

H26年度　平和人権コンサート（2015年終戦70周年記念プレイベント）
内容(案)･･･被爆ピアノ講演とコンサート
歌手：沢田知可子さんほか

3　事業費の内訳

講師派遣手数料　　700千円
使用料及び賃貸借料　75千円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金
（項）国庫委託金
（目）民生費国庫委託金
人権啓発活動補助金：775千円
（対象経費の補助率100%）

爆心地から 1.8Km の民家で被爆した「被爆ピアノ」。今夏、福知山で平和のメッセージを奏でます。

担当課	市民人権環境部 人権推進室	電話	直通 24-7022　内線 2221

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	男女共同参画センター設立事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
112	国	府	市債	その他	一般財源	
					112	206

1　事業の背景・目的

福知山市男女共同参画推進条例第１７条において、男女共同参画の推進に関する活動を支援するための拠点施設の整備に努めることを定めています。また、男女共同参画計画でも、男女共同参画社会の実現に向けて「教育・啓発」「保護・救済」「協働・支援」を推進するための拠点施設の設立を目指すこととしています。センターの設立により、女性団体等の活動支援やDV被害者やセクシュアル・ハラスメント等の相談・支援体制の充実、男女共同参画の啓発を推進します。

2　事業の内容

・男女共同参画センターの利用等にかかる女性団体等のニーズの把握

3　事業費の内訳

報償費　105千円（講師料）

ほか

担当課	市民人権環境部 人権推進室	電話	直通 24-7022　内線 2222

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	市民ど真ん中「プロデュース」事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,715	国	府	市債	その他	一般財源	
	2,715					－

1　事業の背景・目的

市の事業について多くの市民と直接意見を交わし、事業に対する満足度や認知度を測るとともに市の事業に対する関心と理解を深めてもらうことを目的として㈱ＦＭ丹波に委託して実施します。

2　事業の内容

駅前、学校、公民館、地域イベントなど、市民が多く集う場にてＦＭ丹波が市の事業について、知っているかどうかの簡単な質問や市政への提案などのインタビューを実施します（1万人を目標）。

また、そこで出た意見に対しての市職員による回答や、「市長のまちかど懇話会」、「公開事業レビュー」、「100人ミーティング（仮）」など、市民と市が意見交換する場の様子や市民の声などをFM丹波による連続番組として放送します。

放送内容に公平性を確保するため、成美大学教授等にコメンテーターとしての参加を依頼します。

3　事業費の内訳

○報償費　620千円
○旅　費　14千円
○需用費　35千円
○役務費　46千円
○委託費　2,000千円

4　主な特定財源

国庫補助金：
市町村合併補助金　2,715千円

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	里山交流事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
400	国	府	市債	その他	一般財源	
				400		－

1　事業の背景・目的

過疎地域と中心市街地の間に位置する中間農村地域における高齢化、人口減少による農村集落の衰退により地域活力が低下するなか、ソフトな地域経営として農家民宿を活用した地域再生と地域振興を行います。

2　事業の内容

既に農家民宿を開業している地域をモデル地域として選定し、活動促進を図るとともに、参考事例として紹介し活動促進を図ります。

里山民宿開業研修費補助
　対象経費の3分の2補助（上限100千円）　会場費・講師謝礼等
里山民泊活動促進補助
　対象経費の3分の2補助（上限300千円）
　　農家民宿を活用した滞在型体験交流事業により地域再生と地域振興を図り、将来的には教育旅行等の誘致につなげる。

3　事業費の内訳

補助金　　400千円

4　主な特定財源

地域振興基金繰入金　400千円

担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033　内線 3131

施策名	みんなで進める人権尊重・住民自治のまちづくり					
事業名	人権施策推進計画事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
1,836		172			1,664	1,802千円

1　事業の背景・目的

第２次人権施策推進計画の理念である『人権文化の創造と「共に幸せを生きる」共生社会の実現』を目指すとともに、基本施策である①人権教育と啓発、②協働・支援、③保護・救済、④バリアフリー・ユニバーサルデザイン、⑤総合的な推進体制について推進していきます。

2　事業の内容

(1) 人権施策推進事業
事業実施に係る全般経費、人権問題協議会、事前登録型本人通知制度の市民啓発。

(2) 人権ファシリテーター養成セミナー
参加体験型人権学習の進行役を育成するために、年2回の講座を実施。

(3) 市民団体育成事業
人権ファシリテーター受講者や市民啓発団体等のスキルアップを目的にステップアップ講座を実施。

(4) ユニバーサルデザイン推進事業
ユニバーサルデザイン推進講演会の実施。

(5) 市民リーダー派遣事業
全国人権同和教育研究大会、部落解放研究全国研究集会等へ市民を派遣し人権リーダーの育成を図ります。

(6) 職員人権人材バンク経費
各部から職員を任命し、人権研修や実践活動等を通して、人権政策能力の優れた職員を育成します。第5期22名のバンク職員が2年目を迎えます。

(7) 人権を考える女性の集い助成
関係団体による実行委員会を組織し、「人権を考える女性の集い」を企画運営します。

(8) 中丹・丹後人権啓発活動地域ネットワーク協議会
京都地方法務局各支局、人権擁護委員協議会、市町で構成員を組織し、相互の連携協力により、効果的な人権啓発活動を推進していきます。

3　事業費の内訳

人権施策推進事業　424千円　　人権ファシリテーター養成セミナー　106千円
市民団体育成事業　106千円　　ユニバーサルデザイン推進事業　197千円
市民リーダー派遣事業　315千円　　職員人権人材バンク経費　310千円
人権を考える女性の集い助成　370千円
中丹・丹後人権啓発活動地域ネットワーク協議会　8千円

4　主な特定財源　（款）府支出金　（項）府補助金　（目）民生費府補助金
人権問題啓発補助金　172千円　（対象経費の1/2）

担当課	市民人権環境部 人権推進室	電話	直通 24-7022　内線 2221

施策名	地方分権に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	定住自立圏構想推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
300		150			150	―

1　事業の背景・目的

少子高齢化の進行や厳しい財政状況のもと、効率的で質の高い行政サービス水準を維持していくため、近隣市町と広域的に連携した様々な施策の展開が不可欠です。

本市と近隣市町の連携強化や新たな行政圏域の形成を目的に、総務省の広域連携支援制度である「定住自立圏制度」について、関係市町との間で調査研究を行います。

2　事業の内容

本市と近隣市町による新たな連携の実現に向け調整を行います。

3　事業費の内訳

○旅　費　　200千円
○需用費　　70千円
○役務費　　30千円

4　主な特定財源

府支出金

行財政改革支援等特別交付金　　150千円

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030　内線 3115

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	（仮称）新まちづくり計画策定準備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
5,384	5,384					2,588

1　事業の背景・目的

平成28年度よりスタートする第5次となる福知山市の計画的な行政を進めるための指針となる計画を、現下の社会情勢や市民ニーズに適切に対応した内容とするため、現行の計画の精査・点検を行うとともに、政策・施策・事務事業の体系再整理や成果指標の再定義・見直し等を行います。

2　事業の内容

○計画策定に関する国・府等の各種計画の把握・整理
○現状把握と課題抽出及びその集約と整理
○各課ヒアリング及びとりまとめ
○市民意識調査及び市民協働推進会議等の意見集約と整理
○策定委員会（市民・庁内）の運営
○主要指標の検討
○政策・施策・事務事業の体系再整理
○成果指標の再定義・見直し

3　事業費の内訳

○賃　金　1,215千円
○報償費　500千円
○旅　費　42千円
○需用費　120千円
○役務費　7千円
○委託費　3,500千円

4　主な特定財源

国庫補助金：
市町村合併補助金　5,384千円

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030　内線 3114

施策名	地方分権の推進に対応した行財政効率の高いまちづくり					
事業名	施設マネジメント事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
13,417	国	府	市債	その他	一般財源	
					13,417	4,800

1　事業の背景・目的

本市は、平成18年1月の合併以降、公共施設の用途が重複している施設や老朽化が進んでいる施設、人口減少に伴う利用率の低い施設を多く保有しています。

施設を従来どおり維持管理や改修を続けていくだけでは、厳しい財政状況をますます圧迫させ、他の行政サービスに影響を及ぼすことが懸念されます。

そこで、公共施設の抜本的な見直しを図り、市民ニーズに対応した施設の再配置及び有効活用計画を策定します。

2　事業の内容

平成26年度

公共施設再配置計画策定業務(施設状況調査・再配置基準の策定・処分計画・管理方法の見直し等)

3　事業費の内訳

公共施設再配置計画策定業務(施設状況調査・再配置基準の策定・処分計画・管理方法の見直し等)	12,000千円
需用費(事業に係る事務経費)	72千円
役務費(公有財産台帳システム保守管理料)	368千円
使用料及び賃借料(事業に係る事務経費)	977千円

担当課	財務部資産活用課	電話	直通 24-7038　内線 3312

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	福祉有償運送実施団体活動補助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,360	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,360	1,500

1　事業の背景・目的

高齢化の進展、障害のある人の社会参加の増加などに伴う外出支援制度の導入などにより、福祉有償運送の必要性が高まってきており、福知山市では、有償運送運営協議会において承認された10団体が道路運送法による登録を受け事業を実施しています。

行政がカバーできない部分を福祉有償運送実施団体に幅広く事業を展開していただくことで、利用者の利便性の向上を図ることを目的に、実施団体の事業活動に対する支援を行います。

2　事業の内容

福祉有償運送実施団体に対し、補助対象経費の2分の1（1団体15万円を上限）を活動事業補助金として交付します。

補助対象経費：安全講習会の開催及び受講に必要な経費
実施団体の所有する車両整備費用
運行管理を行うための事務経費

3　事業費の内訳

（款）総務費　（項）総務管理費　（目）交通対策費

福祉有償運送実施団体活動事業補助金	1,350千円
消耗品費	5千円
郵送料	5千円

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7084　内線 2232

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	ＫＴＲ経営支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
70,970	国	府	市債	その他	一般財源	
					70,970	63,084

1　事業の背景・目的

北近畿タンゴ鉄道株式会社(KTR)は沿線地域の人々の貴重な移動手段として、なくてはならない公共交通機関であり、海の京都構想をはじめ京都府北部地域の振興と地域の交通ネットワークの中心である本市の都市機能に欠かせない交通基盤ですが、その経営状況は利用者の減少や設備の老朽化による維持費の増加などから年々厳しさを増しています。

京都府をはじめ、沿線自治体と連携を図り、KTRの健全経営や利用促進に向けた検討を行うとともに、安全運行に必要な設備投資や集客事業を実施するために支援を行います。

2　事業の内容

○ KTR経営安定化対策事業費補助金

KTRに本市が課税する固定資産税・都市計画税負担に対する補助

○ KTR宮福線等電化高速化支援事業費補助金

KTR宮福線等電化高速化事業に伴うKTRの返済金に対する補助

○ KTR宮福線鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金

KTRが国庫補助事業として行う安全性向上に資する設備整備等に関する事業について、京都府・兵庫県と沿線市町が協調して行う補助

○ KTR再生支援事業費補助金

KTRの安心・安全・快適な運行の確保のために必要な施設整備や利用者拡大のためのKTR魅力発信事業に対する補助

3　事業費の内訳

（款）総務費　（項）総務管理費　（目）交通対策費

KTR経営安定化対策事業費補助金	13,323千円
KTR宮福線等電化高速化支援事業費補助金	21,047千円
KTR宮福線鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金	3,452千円
KTR再生支援事業費補助金	33,148千円

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020　内線 2231

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	高校生定期乗車券補助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
3,631	国	府	市債	その他	一般財源	
				904	2,727	3,690

1　事業の背景・目的

市内高校生の通学において、遠隔地から路線バスなどを利用して通学する生徒の保護者の経済的負担は非常に大きく、公共交通の利用者減少の要因にもなっています。

こうしたことから、路線バスや鉄道を利用して遠距離通学する高校生の定期乗車券購入費用の一部を助成することにより、保護者の負担を軽減し、高等教育の機会均等を図るとともに、公共交通のさらなる利用を促進することを目的に定期乗車券補助事業を実施します。

2　事業の内容

① 対　　象

路線バスや鉄道の通学定期券を購入し、京都府内の高等学校へ通学する市内在住の高校生の保護者を対象とします。

② 補助基準

通学定期券の1か月相当の購入金額のうち、7,200円を超え22,100円までの金額の75%相当額を補助金として交付します。

＊補助金額は100円未満の端数切捨て

3　事業費の内訳

（款）総務費　（項）総務管理費　（目）交通対策費

事務費　87千円

補助金　3,544千円

4　主な特定財源

（款）繰入金（項）基金繰入金（目）基金繰入金

過疎地域自立促進基金繰入金

（高校生定期乗車券補助事業基金繰入）

904千円

通学風景（KTR福知山駅）

担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7020　内線 2231

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	街路事業（多保市正明寺線　高畑工区）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
90,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	44,000		32,400		13,600	114,900

1　事業の背景・目的

現高畑橋は昭和35年に架設されてから50年以上経過し、橋面・高欄の損傷等、老朽化が著しく進んでいます。また、幅員4.5mと狭小で歩道がなく、交通渋滞や歩行者の安全な通行に支障を生じ、地元自治会及び利用者から早期整備が望まれています。

(仮称)新高畑橋の架け替え事業は、橋長178m、車道幅員を7mに拡幅し、両側に2.5mの歩道を設けるものです。

新橋完成により、福知山市東部と中心市街地とのアクセスを強化と長田野工業団地と国道175号との交通の流れも円滑となり、また歩行者にとっても安心・安全な通行確保が図られます。

2　事業の内容

[仮称]新高畑橋築造

橋脚2基(3基のうち)、上部工、取合い道路築造

3　事業費の内訳

(款)土木費　(項)都市計画費　(目)街路事業費

工事請負費

・P1・P3橋脚工2基	70,000千円
・上部工	10,000千円
・取合い道路築造	10,000千円
計	90,000千円

4　主な特定財源

(款)国庫支出金　(項)国庫補助金　(目)土木費国庫補助金

社会資本整備総合交付金　44,000千円

(款)市債　(項)市債　(目)土木債

公共事業等債　32,400千円

5　その他

P1・P3橋脚工　H26　70,000千円
H27　30,000千円
} 100,000千円の債務負担行為

担当課	土木建設部都市計画課	電話	直通 24-7050　内線 4317

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	広域交通網整備促進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
135,000	国	府	市債	その他	一般財源	
			128,200		6,800	133,000

1　事業の背景・目的

市民の移動は自動車交通に多くを負っており、地域内の交流や連携強化、安全で円滑な交通の確保を図るため、道路網の整備・充実が必要です。

夜久野、上豊富方面と駅南周辺への交通網を確立し、幹線道路の混雑を緩和するとともに、交通体系の充実を図ります。

2　事業の内容

駅南地域の交通混雑を解消し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、道路の新設改良を行います。

3　事業費の内訳

（款）土木費　（項）道路橋りょう費　（目）道路新設改良費

西町市寺線（夕陽が丘・正明寺地内）

福知山停車場奥榎原線（今安・拝師・口榎原・奥榎原地内）

事業費　135,000千円

委託料　3,000千円

工事請負費　117,000千円

用地費　15,000千円

4　主な特定財源

（款）市債　（項）市債　（目）土木債

合併特例債：128,200千円（135,000千円×0.95≒128,200千円）

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059　内線 4218

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	防衛施設周辺整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
39,131	国	府	市債	その他	一般財源	
	29,141				9,990	11,950

1　事業の背景・目的

自衛隊福知山駐屯地の訓練場に隣接する市道旭が丘小谷ヶ丘線は、住民の主要な生活道路であるが一部幅員が狭く、自衛隊大型車両と一般車両が安全に離合できません。

このため、道路拡幅工事を行い安全な道路幅員を確保することにより、駐屯地周辺における市民の安心・安全な生活環境の整備を図ります。

2　事業の内容

平成26年度は、測量設計業務の成果に基づき平成25年度に引続き用地買収を行い、併せて、物件補償及び工事を実施します（施行場所：丸田ヶ丘地内）。

3　事業費の内訳

（款）土木費　（項）道路橋りょう費　（目）道路新設改良費

事業費　39,131千円

（内訳）旅　費　70千円
委託料　1,740千円
使用料及び賃借料　165千円
工事請負費　25,690千円
用地費　7,335千円
物件補償費　4,131千円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金　（項）国庫補助金　（目）土木費国庫補助金

防衛補助　29,141千円

（積算方法）

補助対象経費　41,631千円（人件費2,500千円含む）×0.7＝29,141千円

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059　内線 4215

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	長田野工業団地花いっぱい事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
6,900					6,900	5,900

1　事業の背景・目的

長田野工業団地の玄関口となる前田岩間線南・北インター線に「花いっぱい」の景観を創出することにより、工業団地のイメージアップとともに交通安全対策、不法投棄の防止を図ります。

2　事業の内容

平成２４年４月と平成２５年１０月に芝桜の植栽を行いました。
本年度については、残りの部分約１，５００㎡の植栽及び１，７００㎡のマルチシートを実施します。

また、植え付け作業については、市民協働で実施します。

3　事業費の内訳

（款）土木費　（項）道路橋りょう費　（目）道路維持費

事業費　6,900千円

需用費　2,400千円

工事請負費　4,500千円

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059　内線 4215

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	ホームページ運営事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳（千円）					前年度予算額
2,054	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,215			664	175	※2,170

1　事業の背景・目的

ホームページは、広報誌・新聞・テレビ・ラジオとともに、市の広報媒体として、また独自の積極的な広報活動が出来る媒体です。

リアルタイムな市政情報を発信し、市民サービスを充実するとともに、全国に向けて本市の魅力を広くＰＲしており、さらには、災害など有事の際に、迅速、的確な情報を伝えることで、市民の安心・安全なくらしを確保しています。

本市では、日々の頻繁な内容更新によりアクセス数が増加しており、その利用度と重要度は増しています。

26年度は、ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）「ＬＩＮＥ」の本格稼動や、子育て情報まとめサイトを導入し、積極的な情報発信・情報提供を行うことで、若い世代や子育て世代など幅広い世代の市政への参画を促します。

また、これらの情報ツールからホームページへのアクセスを誘導することで、ホームページが今以上に多くの人の情報源として機能を果たすとともに、更なるアクセス数の増加を目指します。

福知山市のLINEの画像

2　事業の内容

(1)市政情報の発信（市政事業・イベント・災害緊急情報など）

(2)新規事業

ア　「LINE」を利用した情報発信の本格稼働

イ　子育て情報まとめサイトの導入

3　事業費の内訳

・賃金（更新を主業務とする臨時職員）　1,215千円
・役務費（タブレット端末レンタル）　61千円
・委託料（ホームページ運営保守更新業務）　778千円

4　主な特定財源

市町村合併推進体制整備費補助金　1,215千円
広告収入　664千円

※本事業は、前年度のホームページ運営事業とホームページ情報発信事業を統合したため、前年度予算額もホームページ運営事業とホームページ情報発信事業を合算しています。

担当課	市長公室秘書課	電話	直通 24-7000　内線 3144・3145

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">穀物乾燥施設再建支援事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">46,200</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td>46,200</td><td></td><td></td><td></td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

平成25年9月16日発生の台風18号により興地区の西中筋ライスセンターが甚大な水害に遭い、再建が必要となりました。再建に向けて支援事業を実施するものであります。

本施設は、遷喬地区約130haの受益地を抱えており、大区画ほ場が整い、大型機械での低コスト化を目指すには必要不可欠な施設となっており、当地域の3つの農業生産法人の核となる施設で、地域農業を支える施設として、新たな乾燥調整施設建設に対して支援を行います。

2　事業の内容

・事業実施主体　　西中筋営農組合
・助成対象　　穀物乾燥調整施設
・事業費　　84,000千円
・補助率　　55%（国庫50%、府5%）

3　事業費の内訳

・負担金補助及び交付金
　総事業費　　84,000千円×55/100＝46,200千円

4　主な特定財源

強い農業づくり交付金事業費補助金

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	府営ため池整備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
2,190			1,900		290	―

1　事業の背景・目的

豊富用水池は、造成後70年経過し、施設の老朽化が顕著な状況です。

府営事業で平成21年度から23年度まで施設の診断を行った結果、改修・改良が必要となりました。その結果を踏まえ、平成26年度から31年度にかけて府営事業によりため池整備を実施するため負担金を支払います。

2　事業の内容

○全体事業概要

事業内容　底樋、洪水吐、斜樋ゲート、水管理施設の改修・更新
（監視システム、警報装置含む）

総事業費　300,000千円

事業期間　平成26年度～平成31年度

市負担率　15%（内地元負担5%含む）

○本年度事業概要

測量試験費　　委託料　1式　14,600千円

3　事業費の内訳

負担金補助及び交付金（事業主体：京都府）

14,600千円×15%＝2,190千円

国55%、府30%、市10%、地元5%

4　主な特定財源

公共事業等債　1,900千円

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7042　内線 4116

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	農地・農業用施設災害復旧事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
106,000	国	府	市債	その他	一般財源	
		90,000	13,600	3,211	△811	－

1　事業の背景・目的

平成25年9月15日～16日に発生した台風18号豪雨により被災した農地・農業用施設　箇所の復旧を実施し、早期に農業施設の機能回復を行うとともに遊休荒廃農地化を未然に防止します。

2　事業の内容

対象箇所：施設1箇所　頭首工　猪野々地内
復旧内容：農業用施設の復旧工事
実施工程：平成26年10月～平成27年2月

3　事業費の内訳

(款)災害復旧　(項) 農林施設等災害復旧費　(目) 農林施設等災害復旧
○工事請負費　100,000千円
○委託料　4,000千円
○事務費　2,000千円（支弁人件費は含まない）

4　主な特定財源

(款)分担金及び負担金　(項) 分担金　(目) 農林業費分担金
3,211千円　(受益者分担金　107,066千円×施設3%)
(款)府支出金　(項) 府補助金　(目) 災害復旧費府補助金
90,000千円　(府補助金　100,000千円×施設90%)
(款)市債　(項) 市債　(目) 災害復旧債
13,600千円

猪野々地内　小田井根井堰の被災状況

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7042　内線 4116

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	ふくちの農場づくり事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
16,200	国	府	市債	その他	一般財源	
		13,600			2,600	20,370

1　事業の背景・目的

力強い農業構造を実現していくためには、地域農業を担う経営体や生産基盤となる農地を、将来においても確保していくための展望を作っておくことが必要です。

このため、地域農業の展望を描いた「京力農場プラン」策定地域を対象に、プラン実現のための支援を行います。

2　事業の内容

京力農場プラン策定地域を対象とし、地域の中心となる集落営農組織等の組織育成を図るため、農業機械施設導入に係る支援を行う

3　事業費の内訳

○集落営農発展型農場づくり事業

農業機械施設導入に係る支援（府50%、市0%）

・補助金　11,000千円

○集落営農組織育成事業

農業機械導入に係る支援（府0%、市30%）

ただし、補助金の上限1,000千円

・補助金　5,200千円

4　主な特定財源

京力農場づくり事業費補助金　11,000千円

みらい戦略一括交付金　2,600千円

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	森林組合間伐補助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
25,918	国	府	市債	その他	一般財源	
					25,918	28,679

1　事業の背景・目的

二酸化炭素の吸収及び固定、土砂の流出防止、水資源のかん養、生物多様性の保全など森林等が有する公益的機能を良好に発揮させるためには森林を適切に整備することが必要です。

この森林を適正に整備・保全するには間伐を推進することが重要で、そのため施業を集約化し計画的な森林整備を実施する福知山地方森林組合を対象として、搬出間伐等の森林施業及び木材利用を推進するために間伐材を市場等へ搬出する経費に対して支援します。

2　事業の内容

（1）森林環境保全直接支援事業

森林経営計画を策定済みの団地で、かつ施業面積5ha以上、10㎥／ha以上の搬出間伐を実施することで、国・府の支援を受けて施業する団地を対象として支援します。また、木材利用の促進のための市場等への搬出に対して支援します。

・事業量　　施業面積100ha
　　間伐材搬出3,500㎥
・補助率　　間伐：標準経費の25%
　　出材：市場等への搬出2,400円／㎥

（2）環境林整備事業

間伐が必要な民有林の内、搬出が困難な区域も数多く存在することから、国・府の支援を受けて環境林としての整備を行う場合に支援します。

・事業量　　施業面積150ha
・補助率　　間伐：標準経費の25%

3　事業費の内訳

補助金　　17,926千円（間伐）
〃　　7,992千円（出材）

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047　内線 4132

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">中小企業専門家派遣事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">470</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>470</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

平成26年度から実施される消費税増税による消費マインドの冷え込みが懸念される中で、市内の中小企業者が抱えている経営や技術等の諸問題に対して、専門家の具体的で適切な診断や助言を受けることにより問題解決に役立て、企業経営の安定化と本市産業の活性化を図ります。

2　事業の内容

①「公益社団法人京都産業21」の専門家派遣制度に要した事業者負担分の経費に対し補助金を交付する。

② 補助対象経費及び補助率、補助額

・専門家の派遣に要する経費の事業者負担分

・年度内1事業所3回までとする。

企業負担　1/2　　市1/2（ただし１回当り上限5千円）

3　事業費の内訳

○補助金　　450千円

5千円×3回×30事業所＝450千円

○印刷製本費　　20千円（チラシ等）

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4143

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">福知山市企業交流プラザ改修事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5,800</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5,800</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

　長田野工業団地の利便施設として設置された福知山市企業交流プラザを改修することにより、市内企業間の交流や工業団地従業員の憩い、集いの場として利用する。

2　事業の内容

・防水改修工事

アスファルト防水改修　350㎡、事務室クロス、天井張替え、漏水部建具周囲シール防水

3　事業費の内訳

・福知山市企業交流プラザ防水改修工事　１式　　5,800千円

担当課	農林商工部産業立地課	電話	直通 24-7077　内線 4161

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	販路開拓支援事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,010	国	府	市債	その他	一般財源	
					2,010	2,000

1　事業の背景・目的

市内の中小企業者等が、自社商品及びサービスの販路開拓のため、市外での展示会等に出展するには、会場費や旅費等の経費がかかり、意欲があっても参加しにくい状況等があるため、その必要経費の一部を助成することで市内中小企業等の企業活動の活性化を促します。

2　事業の内容

【展示会等出展補助及び商談会補助金】

市内の中小企業が自社の技術や製品・サービス販売拡大のために市外で開催される展示会・見本市、さらに新たにバイヤ等ーと直接交渉する為の商談会についても、その必要となる経費の1/2以内を助成します。

○展示会補助対象経費（限度額　100千円）

経費区分	補助対象経費
会場借上費	出展小間料、会場使用料
小間内装飾費	会場等の装飾に係る設営又は撤去に要する経費、光熱水費及びその使用に係る設備工事に要する経費
広告宣伝費	パンフレット、カタログ、ポスター、名刺、案内状及び販促品等の作成に要する経費、展示会等の主催者が発行する発行物への広告掲載に要する経費
委託費	展示物等製作業務の外部委託に要する経費
梱包運搬費	製品、資材等の梱包又は運搬に要する経費
旅費	公共交通機関利用運賃、有料道路通行料、レンタカー代
人件費	説明員・販売員設置費(展示会等への出展に伴い、臨時に雇入れをする場合の経費)
謝礼	専門的知識を有する専門家に依頼し、指導または相談等を受けた場合に謝礼として支払われる経費
通訳・翻訳料	展示会での通訳に支払われる経費、資料等の翻訳に支払われる経費
委託費	販路開拓に関する調査を委託するために要する経費

○商談会補助対象経費

参加費　（限度額　10千円）

交通費　（限度額　20千円）

3　事業費の内訳

○負担金補助及び交付金

・展示会等出展補助金　1,560千円　78千円×20件

・商談会補助金　450千円　30人×30千円（限度額）×1/2以内

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4143

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	企業誘致促進特別対策事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
51,580	国	府	市債	その他	一般財源	
				51,000	580	54,140

1　事業の背景・目的

アネックス京都三和への企業誘致と既存企業の操業を支援し、地域経済の活性化、雇用の創出、若者の定住を図ります。

2　事業の内容

（1）工場の新設、増設、除去費及び雇用に対して奨励金を交付

（2）企業誘致協議会等への負担金

3　事業費の内訳

（1）工場の増設、除去費及び雇用に対して奨励金を交付　51,000千円

（2）企業誘致協議会等への負担金　580千円

4　主な特定財源

企業誘致促進特別対策事業基金繰入　51,000千円

担当課	農林商工部産業立地課	電話	直通 24-7077　内線 4161

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">夜久野高原工芸村整備事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3,971</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3,971</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

旧育英小学校を工芸や創作活動の場とし、工芸村として活用するために、耐震診断及び受電設備の診断を行います。

2　事業の内容

校舎の耐震診断及び受電設備診断の委託

工芸村としての整備に向けた基礎となる施設の診断を実施します。

3　事業費の内訳

旅　費　　71千円

委託料　　3,900千円（耐震診断・受電設備診断業務）

担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1103　内線 74-9221

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">国際観光推進事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="3">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,229</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1,229</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

京都舞鶴港では、平成25年度に大型クルーズ船の寄港が7回あり、多くの外国人観光客が京都府北部を訪れました。今後もクルーズ船の外国人観光客のみならず、海外旅行者が増加傾向にあるアジアをはじめ外国人旅行者が快適に本市を旅行できるように受け入れ態勢を整備します。

2　事業の内容

(1)やさしい外国語講座（事業者編・観光ガイド編　各3回）
(2)飲食店等での外国語メニューの作成支援
(3)4カ国語（日本語・英語・中国語・韓国語）観光パンフレットの作成
(4)クルーズ船用観光案内チラシの作成

3　事業費の内訳

報償費（講師謝礼）	120千円
印刷製本費	1,059千円
翻訳手数料	50千円

担当課	地域振興部観光振興課	電話	直通 24-7076　内線 4153

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	大呂自然休養村整備事業（継続費）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
169,100	国	府	市債	その他	一般財源	
			169,100			29,500

1　事業の背景・目的

大呂自然休養村センターは、昭和50年開設以来、キャンプ場・宿泊棟・テニスコートグラウンドゴルフ場等を順次整備し、豊かな自然に囲まれた環境の中での研修会・宿泊・グループのレクリエーションなどに利用され、農村と都市住民との交流促進及び地域の活性化に寄与してきました。しかし、築37年を経過したセンター施設（管理棟）及び宿泊棟の老朽化が著しく、宿泊を伴う会議や研修利用者は大きく減少し、施設全体の経営は厳しいものとなっています。なお、平成18年度からは指定管理者による管理運営となっています。

こうした施設の運営状況の改善を図るため、「平成24～26年度辺地総合整備計画」に基づき、管理棟の建替え・グラウンドゴルフ場の増設・進入道路整備を行い、農村と都市住民との交流人口の増加による地域の活性化を目指します。

2　事業の内容

・宿泊管理棟建替え工事及び造成工事　1式
・グラウンドンゴルフ場拡張に係る測量設計・用地補償及び工事　1式

3　事業費の内訳

・調査設計業務委託料　4,600千円
・工事請負費　163,700千円
・公有財産購入費　299千円
・補償補填及び賠償金　501千円

4　主な特定財源

・辺地対策債　169,100千円

5　全体事業費（H26～H27継続費）

全体	事業費	内容
H26	169,100	宿泊管理棟整備(2年継続工事) グランドゴルフ場整備 (1コース8ホールを増設)
H27	229,000	宿泊管理棟整備、 旧棟解体、駐車場整備
合計	398,100	

右図は宿泊管理棟整備イメージ

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4112

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	試行雇用おうえん助成金交付事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
5,320				5,320		6,640

1　事業の背景・目的

就職が困難な求職者を試行的に短期間雇用（原則3か月間）する試行雇用を推進することにより、就職困難者の雇用機会の増加と企業の人材確保を図ります。

2　事業の内容

企業に対して奨励金が支給される、国の「試行雇用奨励金制度（トライアル雇用奨励金）」を利用する企業に対して、交付奨励金の1/2を限度額として福知山市が上乗せ助成します。

（国の奨励金は1人につき月額4万円・支給上限3か月まで）

3　事業費の内訳

○負担金補助及び交付金

試行雇用おうえん助成金　5,280千円

○需用費（チラシ印刷等）　40千円

4　主な特定財源

○ふるさと就職おうえん基金繰入金　5,320千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4143

平成２６年度緊急雇用特別対策事業一覧

依然として厳しい雇用失業情勢のもと、失業者に対し、次の就職までのつなぎとなる雇用の機会を創出し、生活の安定を図るとともに、地域の人材を育成するため、京都府緊急雇用対策基金を活用して緊急雇用特別対策事業を実施します。

１　起業支援型雇用創造事業　（事業期間　Ｈ２５～２６）

起業後１０年以内で、本社が同一都道府県内に所在する企業（分割・合併による新会社設立は含まず、新分野進出・多角経営化は含む。）であって、事業終了後も委託先で雇用が継続し、委託先が将来地域の雇用の受け皿となりうる企業であるかについて、有識者（金融機関・起業支援の専門家等）の意見による適格性の判断を経た企業に事業を委託し、失業者を雇用するもの。原則１年以内の雇用。

整理番号	事業名	所管	事業費（千円）	新規雇用人数（延人数(人日)）	備考
1	夜久野ジビエ活用促進支援事業	夜久野支所	5,581	1　(240)	
2	障害者支援人材確保事業	社会福祉課	9,700	4　(1157)	
3	高齢者福祉サービス人材確保事業	高齢者福祉課	12,251	5　(1825)	
合計			27,532	10　(3222)	

２　地域人づくり事業　（事業期間　Ｈ２６～２７）

女性の活躍推進、若者等無業者の就職促進、生涯現役社会の実現に向けた高齢者の活躍推進等を通じた①雇用の拡大を図るとともに、賃金引上げ、非正規雇用労働者の正社員化等の②処遇改善を推進し、地域の実情に応じた創意工夫による多様な「人づくり」を支援するための事業。原則１年以内の雇用。

整理番号	事業名	所管	事業費（千円）	新規雇用人数（延人数(人日)）	備考
1	保育人材確保支援事業	子育て支援課	8,264	4	
2	障害福祉サービス人材育成事業	社会福祉課	2,200	1	
3	介護サービス等人材育成事業	高齢者福祉課	6,465	2	
4	建設業若年者等入職促進・人材育成事業	商工振興課	5,771	2	
合計			22,700	9　(0)	

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	臨時福祉給付金事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
228,883	国	府	市債	その他	一般財源	
	228,883					－

1　事業の背景・目的

平成26年4月1日に消費税率が5%から8%に引き上げられます。

平成25年10月1日に政府が閣議決定した「消費税率及び地方消費税率の引上げとそれに伴う対応について」に基づき、「消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、一体改革の枠組みの中で講じる社会保障の充実のための措置と併せ、低所得者に対する適切な配慮を行うため、暫定的・臨時的な措置」として、総額約3,000億円の給付措置を行うこととなりました。

2　事業の内容

消費税率の引上げに伴い、所得の低い方々への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置とし、臨時福祉給付金を支給します。

(1) 給付対象者

平成26年度分市町村民税（均等割）が課税されていない方

ただし､ご自身を扶養している方が課税されている場合や生活保護制度の被保護者となっている場合は、対象外となります。

(2) 給付額

給付対象者1人につき、10,000円（老齢基礎年金受給者等には5,000円を加算）

(3) 基準日

平成26年1月1日時点で、本市において住民基本台帳に記録されている方

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）社会福祉費　（目）社会福祉総務費

- 共済費　830千円（臨時職員4人の社会保険料等）
- 賃金　5,465千円（臨時職員4人×9か月）
- 旅費　42千円（説明会等）
- 需用費　689千円（消耗品費、印刷製本費）
- 役務費　5,562千円（電話料、郵送料、広告料）
- 使用料及び賃借料　1,187千円（ＰＣ4台、コピー機リース）
- 備品購入費　108千円（プリンター1台）
- 負担金補助及び交付金　215,000千円
  （臨時福祉給付金：基本分10,000円×17,000人、加算分5,000円×9,000人）

4　主な特定財源

（款）国庫支出金　（項）国庫補助金　（目）民生費国庫補助金

臨時福祉給付金事業費　228,883千円（補助率10/10）

担当課	福祉保健部地域福祉課	電話	直通 24-7088　内線 2112

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	健康増進計画推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
3,554				77	3,477	3,558

1　事業の背景・目的

　市民の健康寿命の延伸と生活の質の向上に資することを目的に策定した「健康増進計画」に基づき、健康づくりや疾病予防推進のための目標達成を図るべく、啓発と市民協働事業を展開します。

2　事業の内容

・市民のみなさんが日常生活において、健康づくりに取り組むとともに、自主活動グループの交流のきっかけをつくるため、「元気いっぱい健康フェスタ」イベントを開催
・市民のみなさんの心に残るウォーキングコースを募集し「いきいき健康ウォーキングＭＡＰ」を作成
・ウォーキングを愛好されている市民の交流会「ウォーキング交流会」の開催
・日々の健康づくり活動の実績に応じた健康ポイントを付与する「健康活動ポイント事業」を推進。
・健康づくり推進協議会の開催

3　事業費　3,554千円

〔内訳〕・報酬　192千円・賃金　2,429千円・報償費　105千円
・旅費　7千円　・需用費　318千円・役務費　77千円
・使用料及び賃借料　76千円
・負担金補助及び交付金　350千円

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788　内線 6200

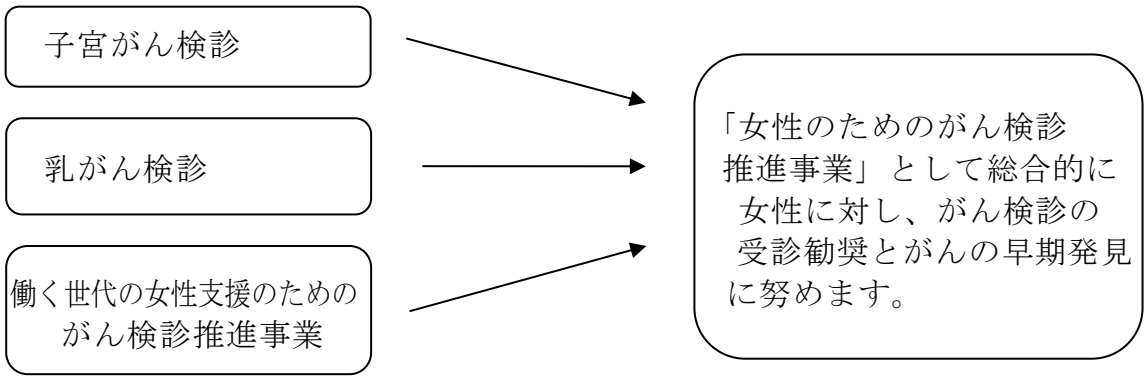
施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	女性のためのがん検診推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
36,759	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,600			441	34,718	48,464

1　事業の背景・目的

子宮頸がんは罹患率のピークが若年化しており、平成19年度の人口10万対罹患率は30～34歳で58.2、35～39歳で61.0と高くなっています。また、死亡率も諸外国の低下に反して上昇しています。

乳がんは、検診受診率が低く死亡率が上昇しています。

こうした状況から受診率が低く、罹患率の高い女性のがん検診の受診促進を図り、がんの早期発見と正しい健康意識の普及および啓発を行い、健康の保持・増進をはかります。



2　事業の内容

①検診の内容　子宮頸がん検診：直接採取による膣細胞診、組織診。
子宮体がん検診：子宮内膜の直接採取による細胞診、組織診。
乳がん検診：30歳代…視触診とエコー併用検診、40歳以上…視触診とマンモグラフィー併用検診（40歳代は2方向、50歳以上は1方向撮影）

②対象者のがん検診台帳の整備

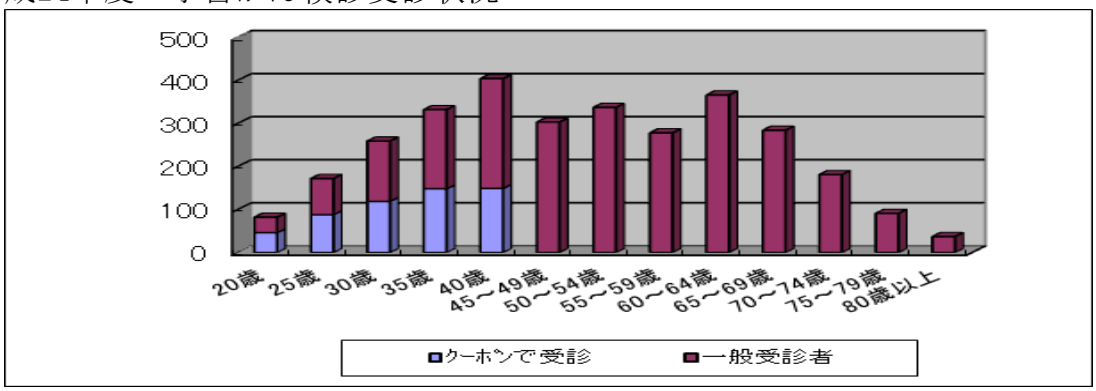
対象者：子宮がん検診　20歳以上
・無料クーポン券対象者
（H26.4.1現在、20歳）

乳がん検診　30歳以上
・無料クーポン券対象者
（H26.4.1現在、40歳）

③啓発用検診手帳と無料クーポン券の送付

④クーポン対象者で市実施の子宮頸がん検診、乳がん検診を受診した人の自己負担金補助

平成24年度　子宮がん検診受診状況

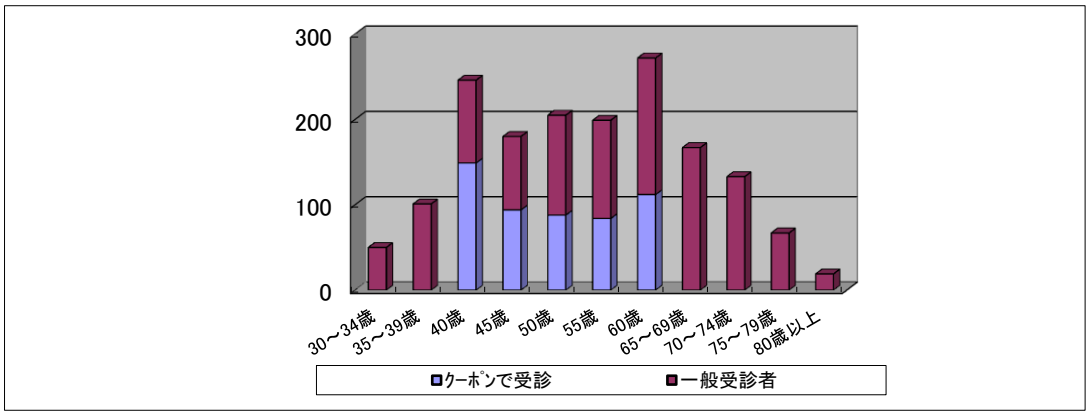


若い年代層で、無料クーポン券を利用しての受診者が多くありました。

子宮がん検診全体の受診率が17.5%に対し、クーポン対象者の受診率は25.2%と大きく上回っています。特に若い世代の受診勧奨に効果がありました。

無料クーポン券を利用した人の65.3%は新規受診者でした。これを機会に毎年受診が習慣化されるよう、啓発します。

平成24年度　乳がん検診受診状況



子宮がん検診同様、クーポン対象者の受診率は22.7%で、全体の受診率9.9%に比較し、高い受診率でした。

無料クーポン券を利用した人の63.8%が新規受診者でした。乳がん検診は2年に一度の検診のため、2年後に継続できるよう受診勧奨に努めます。

3　事業費　　36,759千円

（款）衛生費　（項）保健衛生費　（目）保健指導費

・賃金　384千円　・需用費　743千円　・役務費　476千円

・委託料　35,149千円　・扶助費　7千円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金　（項）国庫補助金　（目）衛生費国庫補助金

・疾病予防対策事業費等補助金　1,600千円

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788　内線 6200

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	外出支援助成事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
23,094					23,094	19,880

1　事業の背景・目的

下肢等の障害により、公共交通機関の利用が困難で、かつ家族による送迎ができず自ら外出することが困難な在宅高齢者及び家族の身体的・精神的また経済的負担の軽減を図ることを目的にタクシー等の利用料金の一部を助成します。

本事業については、平成24年度の市民公開レビューにおいて、事業費の伸びが大きく財政制約上、事業の持続性に疑問があるなどの意見が出され、見直しが求められました。

平成25年度からは、課税状況に応じて発行している助成券のうち、所得税、市民税課税世帯の助成券額を減額（400円券⇒300円、300円券⇒200円）しましたが、さらに抜本的な見直しが求められています。

2　事業の内容

タクシー事業所やＮＰＯ法人等の福祉有償運送を利用し、医療機関・公共機関・福祉施設・買い物に出かける場合で、次の要件に該当する方に助成券を支給します。

助成券の金額は、対象者世帯の課税状況に応じて、所得税課税世帯200円、市民税課税世帯300円、市民税非課税世帯は500円の3種類を、距離に応じて1ケ月8枚もしくは16枚交付します。なお、片道25キロ以上の長距離利用者や透析通院者はさらに割り増しの交付を行っています。

（対象者の要件）

ア　おおむね65歳以上の在宅高齢者

イ　下肢等の障害により、単独での移動が困難であり、他人の介助がないとタクシーを含むすべての公共交通機関を利用することができない方

ウ　家族等による外出手段の確保が困難な方

○今後の事業見直しに向けた取り組み

上記のとおり、市民公開レビューにおいて抜本的な見直しを求められていることから、平成26年度に第3者検討委員会を設置し、今後の事業の有り方を検討していただくこととしています。また、見直しにあたって市民アンケートを実施する予定です。

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）社会福祉費　（目）老人福祉費

・報酬　224千円　・需用費　383千円　・役務費　971千円

・委託料　300千円　・扶助費　21,216千円

担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7013　内線 2144

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	介護人材確保対策事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
36,531	国	府	市債	その他	一般財源	
		11,381		20,150	5,000	20,816

1　事業の背景・目的

市内の高齢者介護・障害者支援事業所における介護職員・支援員の不足は引き続き深刻な状況にあり、利用者へのサービス提供にも支障をきたしている状況が生じています。

このような状況に対処するため、平成25年度から人材確保のための各種助成制度を開始し、またPR活動も実施しているところであり、平成26年度は引き続きこれらの取り組みを継続、強化していくこととします。

特に人材確保が困難な理由の一つである「介護へのネガティブなイメージ」の払拭を図るため、平成25年度に民間事業者（福知山民間社会福祉施設連絡協議会（以下「施設連協」という。））と合同でワーキングチームを立ち上げ検討してきた結果を踏まえて、若者に魅力ある仕事というイメージ戦略を展開することとし、府立大江高等学校等の協力を得てPRビデオを制作します。

さらに、京都府が主導し、府北部の福祉人材養成システムの構築が目指される中、本市では、働きながら資格をとるための現任者研修（実務者研修）を平成27年度から実施する予定にしており、この研修実施母体となる施設連協に準備に係る補助金を交付します。

2　事業の内容

(1) 人材確保各種助成事業

ア　UIターン家賃助成

（ア）本制度は平成25年度から継続実施するものです。新規採用介護職員のうち、UIターン者に家賃助成を行います。

（イ）助成額は、家賃の1/2とし、次の上限額を設定します。

（助成額上限（月）：1年目40千円、2年目30千円、3年目20千円）

（ウ）助成は、3年間のサンセット方式とします。

イ　介護福祉士育成修学資金貸付

（ア）本制度も平成25年度から継続して実施するものです。介護福祉士を養成する学校の入学金及び授業料を対象として、年間1,000千円（最大2年間）を無利子で貸与します。

（イ）介護福祉士を取得し、市内の施設・事業所で3年間勤務した場合、返還は不要となります。

ウ　介護職員キャリアアップ助成

（ア）本制度も平成25年度から継続して実施するものです。キャリアアップ助成として、市内の施設・事業所に勤務しながら、初任者研修（旧ヘルパー2級）を取得した人に、資格取得費の1/2相当額（上限あり）を支給します。　　上限　30千円

(2) 人材確保PR事業（PRビデオ制作）

平成25年度から施設連協と市でワーキングチームを結成し検討してきた結果を踏まえ、府立大江高等学校等の協力を得てPRビデオを制作します。

(3) 実務者研修実施補助

平成27年度の実務者研修実施に向けて、実施母体となる施設連協に研修用備品等にかかる補助金を交付し、研修実施の準備を進めます。

３ 事業費の内訳

（款）民生費　（項）社会福祉費　（目）老人福祉費

(1) 人材確保各種助成事業　26,150千円

ア　UIターン家賃助成　6,000千円

イ　介護福祉士育成修学資金貸付　20,000千円

ウ　介護職員キャリアアップ助成　150千円

(2) 人材確保PR事業（PRビデオ制作）　337千円

府立大江高等学校謝礼、ＤＶＤ等消耗品等

(3) 実務者研修実施補助　10,000千円

研修用備品、人件費等

(4) 会議旅費　44千円

４ 主な特定財源

（款）府支出金　（項）府補助金　（目）民生費府補助金

・地域包括ケア総合交付金 11,381千円

（款）繰入金　（項）基金繰入金　（目）基金繰入金

・地域福祉基金繰入金　20,150千円

担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7013　内線 2144

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">地域生活支援事業（地域活動支援センター事業）</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6,000</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6,000</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

　地域活動支援センターは、障害のある人が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう日中活動の場を提供し、利用者の状況に応じた創作的活動や生産活動等の機会の提供、社会との交流の促進等を行う場所のことです。

　地域活動支援センター事業は、障害者総合支援法において市が必ず行わなければならない事業となっており、第3期福知山市障害福祉計画にも平成26年度内に1か所設置することと定めています。

2　事業の内容

　福知山市内において地域活動支援センターの運営を行う法人と委託契約を結び、障害のある人が日中過ごすことができる居場所として地域活動支援センター事業を行います。

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）社会福祉費　（目）社会福祉援護費

・委託料　　6,000千円

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7017　　内線 2124

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">難聴児補装具給付事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td>545</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>545</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

軽度・中等度の難聴の人は障害の程度が身体障害者手帳の交付対象に至らないということで手帳の交付を受けられませんが、1対1の会話がやっと聞き取れる程度であるなど、日常生活に大きな支障があります。特に18歳未満の児童は、この時期に言語能力の健全な発達やコミュニケーション力の向上を図る必要があり、聞こえは大変重要なものです。

しかしながら、現制度では補聴器の助成は障害者手帳取得者が対象となっており、良い補聴器を早期に装着させて充分な学習環境を整えたいという難聴児の家族にとって、高価な補聴器の購入は大きな経済的負担となっています。

福知山市では家族の経済的負担を軽減することにより、成長にあった補聴器を早期に装着し、難聴児が言語習得や学習、人間関係の形成等をスムーズに行うことができる環境を整えることを目的として、難聴児への補聴器購入助成を行います。

2　事業の内容

障害者手帳交付の対象とならない18歳未満の軽度・中等度の難聴児への、補聴器購入助成を行います。

補装具の種目、購入又は修理に要する費用の額の算定等に関する基準（平成18年厚生労働省告示第528号）に定める補聴器（高度難聴用耳かけ型とし、イヤモールドを含む。）に係る価格に相当する額の2分の1を助成します。

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）社会福祉費　（目）社会福祉援護費

・扶助費　545千円

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7017　内線 2124

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	盲聾学校通学支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,034	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,034	940

1　事業の背景・目的

西舞鶴に盲聾学校小学部がありますが、児童が通学するためには送迎が必要であり、保護者にとっては就労が制限されるなど、過度の負担がかかる状況があります。

そこで、小学校低学年の児童がJRを使って通学ができるように、通学時に同伴するグループ支援型の移動支援を行い、子育て世代の負担の軽減を図ります。

併せて、障害のある児童が障害の特性を踏まえた学校の教育を受けることができるとともに、公共交通機関を使っての通学により社会性が習得でき、自立に向けた大きな効果が得られることを目的として実施します。

2　事業の内容

京都府立聾学校舞鶴分校に通学する小学校の児童に対してグループ支援型の移動支援事業を行います。

（福知山駅からJRを使用し、学校までの間の移動の支援を行います。）

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）社会福祉費　（目）社会福祉援護費

・扶助費　1,034千円

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7017　内線 2124

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	子育て世帯臨時特例給付金事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
114,892	国	府	市債	その他	一般財源	
	114,892					－

1　事業の背景・目的

消費税の引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図ります。

2　事業の内容

平成26年1月1日時点において、児童手当の受給者で、その前年度所得が児童手当ての所得制限に満たない者に対し、対象児童一人につき1万円を支給します。

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）児童福祉費　（目）児童措置費

・共済費　553千円
・賃金　3,644千円
・旅費　14千円
・需用費　107千円
・役務費　574千円
・負担金補助及び交付金　110,000千円
　（子育て世帯臨時特例給付金：10,000円×11,000人）

4　主な特定財源

（款）国庫支出金　（項）国庫負担金　（目）民生費国庫負担金

・子育て世帯臨時特例給付金　114,892千円

5　その他

臨時福祉給付金の対象者及び児童手当の所得制限額以上の所得がある人は対象外となります。

対象者の判定は児童手当の枠組を利用しますが、公務員については所属庁からの交付とならず、住所地の市町村より交付となります。

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7011　内線 2114

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	福祉医療費（ひとり親）支給事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
59,916		29,704			30,212	59,912

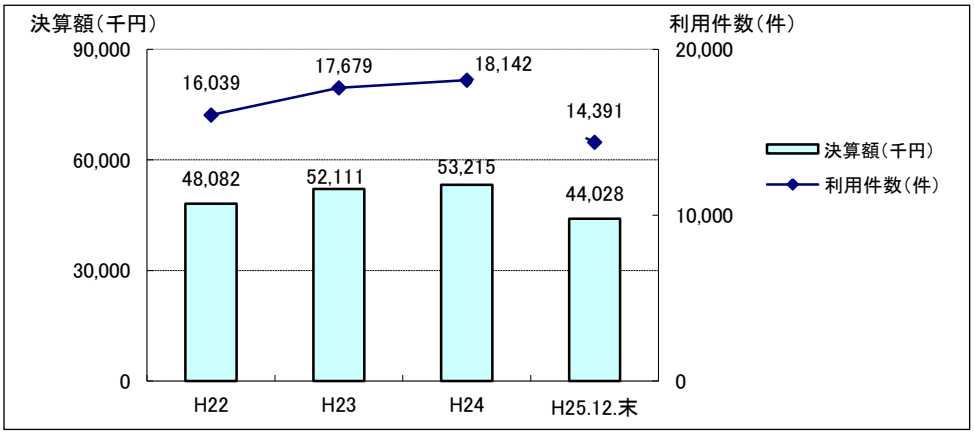
1　事業の背景・目的

ひとり親家庭等において医療費の負担を軽減し、福祉の増進及び生活の安定を図ります。

2　事業の内容

満18歳に到達以後最初の3月31日までの間にある児童を養育するひとり親家庭の親等とその児童の医療保険各法による医療自己負担額の全額を公費で負担します。（所得制限あり）

○実績状況



3　事業費の内訳

(款)民生費　(項)社会福祉費　(目)社会福祉総務費

- 旅費　7千円
- 需用費　166千円
- 役務費　1,729千円
- 委託料　54千円
- 扶助費　57,960千円

4　主な特定財源

京都府福祉医療費助成事業（ひとり親）　29,704千円

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7011　内線 2114

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	生活保護扶助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
1,599,854	1,190,140	34,246		13,000	362,468	1,663,444

1　事業の背景・目的

憲法25条に規定する理念に基づき、市民等の健康で文化的な最低限度の生活を保障することで安全で安心な生活を確保し、また自立支援を行うことによって「貧困の再生産」や「貧困の連鎖」の防止を図ります。

2　事業の内容

国民最後のセーフティネットとして、困窮の程度により次に掲げる各扶助を支給するとともに世帯の自立支援を行います。

（保護の種類）　①生活扶助　②教育扶助　③住宅扶助　④医療扶助
⑤介護扶助　⑥出産扶助　⑦生業扶助　⑧葬祭扶助

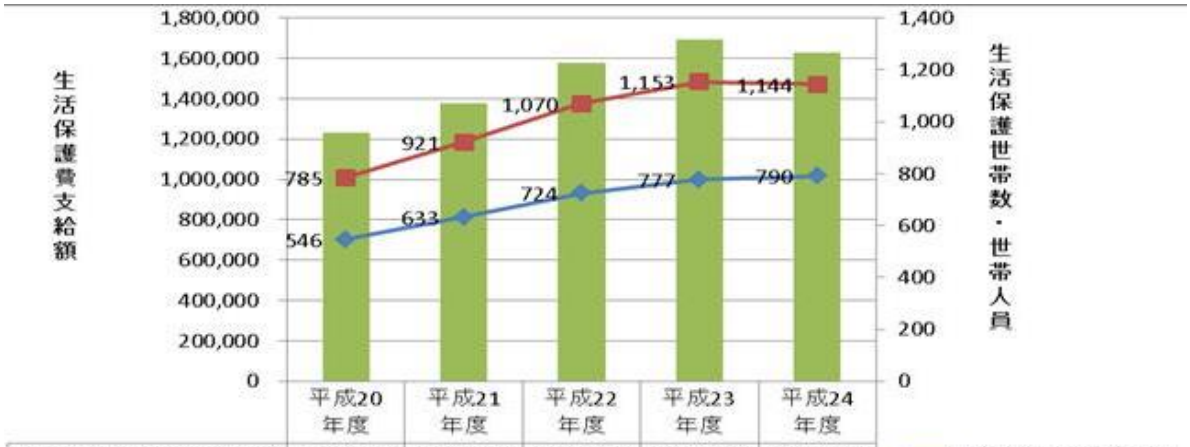
（保護の要件）

・利用し得る資産、能力その他あらゆるものを、最低限度の生活の維持のために活用することを要件とします。

・生活保護は、保護を必要とされる本人、その扶養義務者又は同居の親族の申請に基づき、審査の上で開始します。

3　事業費の内訳

（款）民生費　（項）生活保護費　（目）扶助費　・扶助費　1,599,854千円



	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
生活保護費支給額(千円)	1,229,828	1,376,833	1,578,907	1,693,810	1,626,164
生活保護世帯数(世帯)	546	633	724	777	790
生活保護受給者数(人)	785	921	1,070	1,153	1,144

生活保護費支給額(千円)
生活保護世帯数(世帯)
生活保護受給者数(人)

4　主な特定財源

（款）国庫支出金　（項）国庫負担金　（目）民生費国庫負担金　1,190,140千円
（款）府支出金　（項）府負担金　（目）民生費府負担金　34,246千円
（款）諸収入　（項）雑入　（目）雑入　13,000千円

＊府負担金の対象は、本市に帰来先のない者（行旅病人等）を保護した場合に支給した保護費に限定されます。

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7012　内線 2131

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	菟原下定住促進住宅用地整備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
33,650			33,600		50	―

1　事業の背景・目的

平成12年6月に買い取った大松機業の工場等の老朽化にともない、部材が周囲に飛散するなど危険な状態になっています。

そのため、既存建物の解体撤去を行い、跡地は定住促進住宅用地として分譲を予定しています。

所在　福知山市三和町菟原下小字中渡瀬392番(584.44㎡)
　　福知山市三和町菟原下小字中渡瀬394番(790.08㎡)
建物　娯楽室・休憩室　床面積　264.66㎡
　　工場　床面積　397.76㎡

2　事業の内容

平成26年度　建物解体・撤去、整地及び測試及び詳細計画策定
平成27年度　宅地造成等工事

3　事業費の内訳

委託料　6,150,000円
(用地測量・境界図作成、詳細設計委託料等)
工事請負費(建物解体撤去等)　27,500,000円
計　33,650,000円

4　主な特定財源

菟原下定住促進住宅用地整備事業(過疎対策債ソフト事業)
33,600千円　充当率100パーセント

担当課	地域振興部三和支所	電話	直通 58-3001　内線 73-9111

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	景観形成推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
649	国	府	市債	その他	一般財源	
					649	－

1　事業の背景・目的

景観形成を推進させることで、都市基盤をさらにレベルアップさせ、そのことが本市の魅力を高め、『住みたいまちづくり』を実現できます。

市民と協働し、景観まちづくりを進めることで「人」「もの」「情報」が集まるまちづくりの実現を推進します。

2　事業の内容

魅力ある景観形成を推進するため、福知山市景観計画・景観条例に基づき、景観資産の保全・施策を展開します。また、「景観フォーラム」や「景観写真コンクール」等を実施することにより、市民一人ひとりの景観に対する意識の醸成を図ります。

3　事業費の内訳

(款)土木費　(項)都市計画費　(目)都市計画総務費

報酬	384,000円	(景観審議会委員報酬)
報償費	95,000円	(景観フォーラム等講師謝礼金等)
旅費	30,000円	(景観審議会委員旅費)
需用費	130,000円	(印刷製本費等)
使用料及び賃借料	10,000円	(景観フォーラム会場使用料)
計	649,000円	

担当課	土木建設部都市計画課	電話	直通 24-7051　内線 4311

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	まちなみ環境整備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
20,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	10,000				10,000	50,000

1　事業の背景・目的

城下町福知山のまちのシンボルである福知山城から京街道、長町、広小路界隈、下柳町、菱屋町など一帯には江戸時代の『まち割り』から明治・大正・昭和の佇まいを残す町並みや建造物が数多く残っている。これらの歴史資産や文化を活用し、地元住民により定められた『福知山城下町東部地区街づくり協定』に基づく景観整備に対して支援を行うことで、福知山ならではの地域資源を生かした町並み形成を促進します。

H26年度重点区域拡大（長町、下柳町、菱屋町）

2　事業の内容

地元住民により定められた『福知山城下町東部地区街づくり協定』に基づく重点区域において、協定に基づく修景整備に対して福知山市街なみ環境整備事業補助金交付要綱に基づき、補助金を交付します。

○修景助成

国補助：補助対象経費の1/3以内（市を介した間接補助）
市補助：補助対象経費の1/3以内
（補助金交付額は国補助と市補助を合わせた2/3以内）
ただし、補助金限度額は1件につき2,000千円

3　事業費の内訳

○負担金補助及び交付金

・街なみ環境整備事業補助金　　20,000千円
（3,000千円×2/3（国1/3＋市1/3）×10件＝20,000千円）

4　主な特定財源

○国庫支出金（社会資本整備総合交付金）10,000千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4142

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
800	国	府	市債	その他	一般財源	
	400				400	－

１　事業の背景・目的

空き家・空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、それらを有効活用し、不動産の流動化を推進し、まちなか居住の促進と商業活性化を図ります。

２　事業の内容

福知山市ホームページに中心市街地エリアの空き家、空き店舗、空き地の情報を掲載するとともに、今年度から街なみ環境整備事業のさらなる事業促進を図るため、対象となる重点区域に特化して、宅建業協会との連携を図り、ストックバンク登録者・利用希望者双方にとって信頼が保てるマッチングを可能とします。また、多くの物件情報を収集・発信するため、広報資料の作成を行い、様々な機会を通じて制度利用を呼びかけます。

３　事業費の内訳

○需用費

・制度案内パンフレット印刷　　20円×10,000部＝200千円

○負担金補助及び交付金

・ストックバンク契約仲介手数料支援補助金

［補助率］　売買の場合　契約仲介手数料の1/2以内　上限200千円

賃貸の場合　契約仲介手数料の1/2以内　上限 50千円

売買　200千円/件×3件＝600千円

４　主な特定財源

○国庫支出金（社会資本整備総合交付金）　400千円

担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075　内線 4149

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	斎場施設改修事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
8,800				7,040	1,760	18,800

1　事業の背景・目的

人生終焉(しゅうえん)の場にふさわしい施設として、適切な維持管理を実施することにより、斎場施設の安定した運営を図るものです。

2　事業の内容

・駐車場の拡張　　8,000千円

駐車場不足を解消するため、長田野公園駐車場を拡張します。

・測量設計　　800千円

駐車場拡張にともなう測量設計

斎場と長田野公園の駐車場の現況。斎場内と合わせて現在114台が駐車できますが、増加する利用者の不便を解消するため25台分拡張します。

3　事業費の内訳

(款)衛生費　(項)保健衛生費

(目)環境衛生費

・工事請負費　　8,000千円

・委託料　　800千円

4　主な特定財源

(款) 繰入金　(項) 基金繰入金　(目) 基金繰入金

地域の元気臨時交付金基金繰入金

(斎場施設改修事業基金繰入)　　7,040千円

担当課	市民人権環境部 生活交通課　斎場	電話	直通 27-6122

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	ごみ焼却施設基幹的設備改良事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
500,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	166,600		300,000		33,400	500,000

1　事業の背景・目的

平成24年度に策定した「長寿命化計画」に基づき、ごみ焼却施設基幹的設備の改良工事を平成25年度に三菱重工環境・化学ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ㈱と契約、平成28年度までの4ヵ年の継続事業として進めています。

2　事業の内容

経年劣化、老朽化したごみ焼却施設の基幹的設備（ごみクレーン・送風機・コンベア等）を適切な時期に更新することで施設の延命化を図ります。

3　事業費の内訳

ごみ焼却施設基幹的設備改良事業　500,000千円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）衛生費国庫補助金

ごみ焼却施設基幹的設備改良事業　166,600千円

（款）市債　（項）市債　（目）衛生債

ごみ焼却施設基幹的設備改良事業　300,000千円

計　466,600千円

担当課	市民人権環境部 環境政策室	電話	直通 22-1827　内線 6100

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">林地保全事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1,050</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1,050</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

平成25年9月の台風18号豪雨では、過去の林地崩壊防止対策事業や小規模治山事業の実施箇所も再度の被害を受けたことから、被害の拡大を防止するため、自力での復旧に対して支援し、過去の復旧工事の効果の維持、継続を目指します。

2　事業の内容

過去の災害で復旧した林地において、再度被害を受けた箇所を対象として、その復旧費の1/2（上限35万円）を助成します。

対象地区　　3地区

3　事業費の内訳

補助金　　1,050千円

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047　内線 4132

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	「屋外イベント等防火安全講習会」開催事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
135	国	府	市債	その他	一般財源	
					135	―

1　事業の背景・目的

平成 25 年 8 月 15 日に発生した、第 72 回ドッコイセ福知山花火大会火災の再発防止の徹底を図ることを目的として、多数の観客等が参加する火気を取扱う行事の「主催者」「防火担当者」「露店関係者」等を対象に、屋外イベント等の「防火安全講習会」を開催します。

受講者には、顔写真付きの修了書を交付し、防火安全に対する意識付けを強化するとともに安心安全なイベント開催の中核的な役割を担っていただきます。

2　事業の内容

（1）平成 26 年度講習会実施計画（予定）

第１回目　平成 26 年 4 月上旬（土）　消防防災センター（１００名程度）
第２回目　平成 26 年 7 月上旬（土）　消防防災センター（１００名程度）

（2）参加対象者

主催者・・・・・露店等が開設される屋外における催しを主催する者
防火担当者・・・屋外における催しにおいて火災予防上必要な業務を行なう者
露店関係者・・・露店等の開設者及び従事者
火気取扱者・・・催しで火気取扱を担当する者

（3）講習内容（講習時間９０分程度）

・火災予防条例、屋外イベント等安全管理指針等の周知
・危険物等の特性及び危険性について
・安全な屋台設営方法（実技）
・安全な危険物等取扱い（実技）
・消火訓練（実技）

3　事業の効果

市内で開催されるすべての屋外イベントが、多くの皆様の参加を得て、安全で安心して楽しめるものとして開催できる。

4　事業費の内訳

135 千円
(プロパンガスボンベ等レンタル料、講習会用消耗品、安全管理指針印刷費他)

担当課	消防署予防課	電話	直通 23-5119　内線 2420＋110

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	市庁舎耐震化・長寿命化改修事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
559,294			531,300		27,994	184,716

1　事業の背景・目的

市本庁舎は、昭和51年9月に竣工した鉄筋コンクリート造、地下1階、地上6階建て（延べ面積13,607平方メートル）、建築後37年が経過した現在の耐震基準を満たさない建築物であるため、平成21年度に実施した市庁舎耐震診断結果に基づき、市役所本庁舎の耐震性能を満たすための工事を施工し、市民サービスの拠点施設として、また、地震災害時においても、災害対策本部機能を担う施設として、市民の安心・安全を確保します。

2　事業の内容

市庁舎耐震診断結果に基づき、市庁舎耐震改修工事を平成 25 年度から 3 か年計画で施工しています。

工事は、建物に設置する制震装置（オイルダンパー）を設置することにより地震エネルギーを吸収し、建物全体の揺れを抑える「制震工法」で施工し、また、工事エリアを細分化することで、執務を行いながら工事を進めています。

また、耐震化にあわせ、トイレ等の改修が必要となる設備の大規模改修工事を同時に施工し、市庁舎の長寿命化を図ります。

3　事業費の内訳

工事請負費

	耐震化改修	長寿命化改修	計
平成25年度	142,650千円	42,066千円	184,716千円
平成26年度	513,394千円	45,900千円	559,294千円
平成27年度	157,706千円	45,824千円	203,530千円
計	813,750千円	133,790千円	947,540千円

※長寿命化改修内容

トイレ排水・玄関テラス改修工事他

4　主な特定財源

起債（合併特例債）　　531,300千円(平成26年度分)

担当課	総務部総務課	電話	直通 24-7036　内線 3211

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづく					
事業名	めざせ！「救命の絆」世界一のまち事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
863	国	府	市債	その他	一般財源	
					863	2,000

1　事業の背景・目的

心停止に陥った傷病者を救命するためには、救命率が５０％となる心停止後約５分以内に心肺蘇生を開始することが重要となり、この「空白の５分」に処置がなされていたかが救命率の向上への最重要課題となります。

この事業は更なる救命率の向上を図るための切り札として、市民自らの手で多数の市民救命士を養成することにより、市内のどこで倒れても近くの市民による応急手当を受けることが出来るまちづくりを行い「救命の絆」世界一のまち「福知山」を築き上げるものです。

2　事業の内容

（１）市民からの公募による「市民応急手当普及員」の養成

平成25・26年度で計60名の養成目標

平成25年度⇒45名を養成（実績）

【目標】平成26年度⇒30名養成

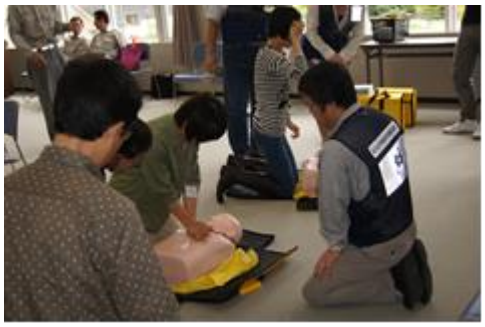
（２）「市民救命士」の育成

平成26年度⇒3,000名養成を目標

※平成 26～32 年（７年間）で年間 3,000 人

合計 35,000 人（１世帯１人）の育成を目標

（※平成 25 年度末の市民救命士数は約 15,000 人）



3　事業費の内訳

応急手当講習テキスト他、講習会消耗品	741 千円
指導員傷害保険料	30 千円
ＡＥＤトレーナー	92 千円

担当課	消防本部	電話	直通 24-0119　内線 2420＋204

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	消防車両更新事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
72,504	国	府	市債	その他	一般財源	
	11,149	4,300	46,100		10,955	22,753

1　事業の背景・目的

消防団の災害現場活動における機動力を向上するため、老朽化する小型動力ポンプ付積載車を更新整備します。

また、多くの危険物施設を有する長田野企業や、舞鶴若狭自動車道を抱える福知山市東部地域における災害対応力の充実のため、老朽化したタンク車(東分署配置)を更新します。

2　事業の内容

（1）小型動力ポンプ付積載車 2 台

配置先　上川分団第 1 部（野花）ポンプ車から積載車に更新

細見分団第 1 部（芦渕）積載車の更新

経過年数が 30 年（上川分団ポンプ車）、23 年（細見分団第 1 部）の車両を更新します。

車両は、オ―トマチック車で、小型動力ポンプの動力リフト式取り出し装置により、取り扱い時の安全性を向上させます。また、ＡＥＤ、チェーンソー等の救助資材を搭載し、大規模災害時の消防団の活動能力を充実させます。

（2）水槽付き消防ポンプ自動車　1 台

平成 4 年 1 月に東分署に配置した水槽付き消防ポンプ自動車を更新整備します。

3　事業費の内訳

(1)　小型動力ポンプ付積載車

2 台　17,081 千円

(2)　水槽付き消防ポンプ自動車

1 台　55,056 千円

水槽付き消防ポンプ自動車イメージ

4　主な特定財源

(1)　小型動力ポンプ付積載車

府補助：京都府地域防災力総合支援事業　4,300 千円

市　債：防災対策事業債　3,200 千円

過疎対策債　8,400 千円

(2)　水槽付き消防ポンプ付自動車

国　庫：緊急消防援助隊設備整備費補助金　11,149 千円

市　債：一般補助施設整備等事業債　他　34,500 千円

担当課	消防本部	電話	直通 24-0119　内線 2420＋203

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	平成こだま教育推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,190	国	府	市債	その他	一般財源	
					1,190	1,160

1　事業の背景・目的

いじめや家庭教育支援などの今日的課題の解決のために、昭和53年から実施してきた従来の「こだま教育運動」を拡充し、「平成こだま教育推進事業」として実施する。

2　事業の内容

【青少年思いやり地域活動事業】

各地区・地域公民館単位の事業で、異年齢集団の子ども達や地域の人々の交流活動を地域住民の主体的な取り組みをとおして、いじめ根絶をキーワードに心豊かで互いに思いやり、共に助け合いながらつながる地域活動を支援する。

【掲示教育】

健全な青少年の育成を目的とし、356名の推進員が、月2回、市内の各所358箇所に設置した掲示黒板に季節に応じた話題や、いじめ問題など今日的課題に視点を充てた掲示文を板書する。全国に誇れる「街角黒板」として、広く市民に定着している。

【家庭教育の推進】

家族だんらんの日の取組みを推進するため、取組みのモデル事例の紹介として、公募作品による家族だんらん作文集を作成し、各世帯に配布する。

3　事業費の内訳

需用費　　549千円　（掲示黒板更新、推進員表彰経費、作文集印刷費）
役務費　　119千円　（推進員への通知郵送代）
負担金　　522千円　（@16,300円×32地区公民館）

担当課	教育委員会事務局 生涯学習課	電話	直通 24-7064　内線 5142

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	仮称・教育支援センター整備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
6,000	国	府	市債	その他	一般財源	
			6,000			－

1　事業の背景・目的

不登校やいじめ等子どもを取り巻く環境は一刻の猶予もなく、子どもの安心できる環境づくりは喫緊の課題となっています。

このような中、不登校の児童生徒が学校復帰や自立を目指す適応指導教室「けやき広場」・教育相談室は、平成14年度から勤労青少年ホーム2階に開設をしており、学習室や相談等において不便が生じています。

ついては、現・勤労青少年ホームを仮称・教育支援センターとして整備し、耐震補強と併せて、けやき広場と教育相談室を中心に、不登校の子どもたちの安心・安全な居場所づくりを行います。

2　事業の内容

整備計画　　平成 26 年度　整備事業・耐震実施設計業務　実施

平成 27 年度　整備・耐震工事　実施予定

【視点】耐震・プライバシーへの配慮・安心
学習室、教育相談室の増室・相談待合室の整備
運動及び会議ができる部屋の整備　スロープやトイレ

3　事業費の内訳

整備・耐震基本設計業務一式　　6,000千円

4　主な特定財源

（款）市債　（項）市債　（目）教育債
緊急防災・減災事業債　6,000千円

担当課	教育委員会学校教育課	電話	直通 24-7040　内線 5124

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">グローバル人材育成事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="3">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">415</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>415</td><td>－</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

地域の夢と希望を背負って平成25年4月に開校した、夜久野小・中学校（愛称・夜久野学園）においては、平成26年4月から教育課程の特例校としての取組を行います。

これは学習指導要領で決められた教育課程の時間数を変更し、特例を設けるもので、両校においては、小学校の第１学年から中学校の第３学年までに新教科「英会話コミュニケーション科」を設置します。

内容としては、英会話コミュニケーション科の授業時数として、新たに年間を通して、小学校1年生は34時間、小学校2年生から中学校3年生までは35時間を設けるものです。

両校の取組は、本市教育の先駆け的な取組であり、低学年への移行が予想される外国語活動にかかって、英語をツールとして、教科全体のコミュニケーション力の育成を図るものです。このため、外国人（AET）と積極的にコミュニケーションを図ることのできる環境を整えて、実践的なコミュニケーション力の育成を行い、モデル校として成果等を広め、地域を支えうる人材の育成に努めます。

2　事業の内容

小学校では、会話活動や体験的な活動を通した活動を行います。

中学校では、英語技能検定を受検したり、自らの関心に応じて課題を設定し、コミュニケーション力を育成します。これら取組状況や成果を広く周知します。

3　事業費の内訳

○　消耗品費（用紙代・教材代）　100千円

○　印刷製本費（研究冊子作成）　315千円

担当課	教育委員会学校教育課	電話	直通 24-7040　内線 5121

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	川合小学校統合準備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
7,840	国	府	市債	その他	一般財源	
	2,500		3,900		1,440	－

1　事業の背景・目的

川合地域では近年の少子化に伴い過疎化が進んでおり、地域住民から川合小学校を細見小学校に統合して欲しいとの要望が挙がっています。

ついては、平成27年4月に統合することとし、平成26年度中に必要な準備をしておくことでスムーズな学校統合を行い、地域住民の満足度を高めるとともに、統合後の川合地域の児童の安心・安全を確保します。

2　事業の内容

平成27年4月に川合小学校を細見小学校に統合します。

川合小学校の閉校記念式典や統合後の川合地域の子どもたちの通学用スクールバス等、閉校及び新体制開始それぞれに伴い必要となる行事の準備や物品の調達を行います。

3　事業費の内訳

（款）教育費（項）小学校費（目）学校管理費

● 閉校記念式典関連

閉校記念式典出演者謝礼	60,000円
閉校式関係消耗品（閉校記念品、式典次第印刷用紙　等）	119,360円
印刷（統合記念誌・式典次第　等）	803,520円
郵送料（式典案内・統合委員会書類　等）	32,000円
式典会場設営費用	34,560円
閉校記念碑	216,000円

● 統合に伴う備品等運搬

引越し用ダンボール	6,480円
引越し用車両借上げ	86,400円

● 統合後通学準備

通学用スクールバス	6,480,000円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）教育費国庫補助金

へき地児童生徒援助費等補助金　2,500千円

（款）市債　（項）市債　（目）教育債

過疎対策事業債　3,900千円

担当課	教育委員会教育総務課	電話	直通 24-7061　内線 5112

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">旧福知山市学校給食センター解体事業</td><td>新 規</td></tr>
<tr><td>予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">50,000</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>47,500</td><td></td><td>2,500</td><td>－</td></tr>
</table>

１ 事業の背景・目的

平成25年春に福知山市学校給食センターと三和学校給食センターを統合し、新福知山市学校給食センターが運営を開始したことに伴い、旧福知山センターは閉鎖しましたので、解体します。

旧施設を解体し更地にすることにより、市の財産を有効に利活用することができます。

２ 事業の内容

旧福知山市学校給食センターの解体工事等にかかる経費です。

３ 事業費の内訳

総事業費 50,000千円

工事請負費 49,300千円(解体にかかる工事費)
委託料 700千円(解体にかかる実施設計等業務)

４ 主な特定財源

（款）市債 （項）市債 （目）教育債

合併特例事業債 47,500千円

担当課	学校給食センター	電話	直通 23-5766

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	心の安定基地つくり推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
8,224	国	府	市債	その他	一般財源	
					8,224	7,647

1　事業の背景・目的

不登校総合対策事業として、学校と連携を密にして、不登校の児童生徒に対して、適切な援助や指導体制をとり、不登校児童生徒の減少と自立を目指すとともに、教育相談体制を整えます。

2　事業の内容

○訪問指導員の配置（4人）

不登校児童生徒の未然防止・早期対応を図るため、学校に訪問指導員を配置し、学校に行きにくい児童や家庭を支援します。

○訪問専門指導員の配置（1人）

学校と連携を図り、不登校児童生徒宅の訪問や情報交流等を通して、児童生徒・保護者を支援し、学校復帰や自立を目指します。

○不登校対策コーディネーターの配置

学校と連携を密にし、取組の分析や計画立案を行います。

○教育相談の実施

教育に関するあらゆる相談に教育相談員(1人)・臨床心理士(3人)が応じるとともに、相談員のスキルアップを目指します。

○適応指導教室「けやき広場」の運営

不登校児童生徒が通級し、指導員の個々に応じた支援のもと、自立・学校復帰を目指します。

3　事業費の内訳

賃金（訪問指導員・不登校コーディネーター）・2,948千円
謝礼（カウンセリング講座講師他）・・・・・・　100千円
臨床心理士謝礼（3人・週3日）・・・・・・・・　3,780千円
旅費（講師旅費他）・・・・・・・・・・・・・・　600千円
需用費（インク・教材資料・画用紙・案内パンフ作成他）　183千円
役務費（電話料・通信料・郵送料）・・・・・・　316千円
委託料（野外活動運転業務）・・・・・・・・・・　16千円
使用料・賃借料（複写機）・・・・・・・・・・・・114千円
備品購入費（図書）・・・・・・・・・・・・・・・20千円
負担金（全国適応指導教室協議会）・・・・・・・　5千円
補助金（遠隔地通級の交通費補助・宿泊学習補助）142千円

担当課	教育委員会学校教育課	電話	直通 24-7040　内線 5124

施策名	魅力のある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	スクールサポーター配置事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
33,575	国	府	市債	その他	一般財源	
		2,880			30,695	20,453

1　事業の背景・目的

小中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする子どもたちに対して、個々に応じた教育的対応が求められています。

2　事業の内容

障害のある児童生徒や日本語理解が不十分な児童生徒を、教室において担任教師と連携して支援していきます。

3　事業費の内訳

臨時職員賃金（児童生徒の困難度により週時間を決定）

1日当たり5時間勤務

880円/時間×25時間/週×42週×　4名＝　3,696,000円

300円/日　×　5日/週　×42週×　4名＝　252,000円

1日当たり4時間勤務

880円/時間×20時間/週×42週×21名＝15,523,200円

300円/日　×　5日/週　×42週×21名＝　1,323,000円

1日当たり3時間勤務

880円/時間×15時間/週×42週×20名＝11,088,000円

300円/日　×　5日/週　×42週×20名＝　1,260,000円

1日当たり2時間勤務

880円/時間×10時間/週×42週×　1名＝　369,600円

300円/日　×　5日/週　×42週×　1名＝　63,000円

計　33,574,800円

4　主な特定財源

公立学校における帰国・外国人児童生徒に対する
きめ細やかな支援事業補助金
2,880千円

担当課	教育委員会学校教育課	電話	直通 24-7062　内線 5122

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	桃映中学校北校舎改築事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
370,047	国	府	市債	その他	一般財源	
	68,224		240,700		61,123	160,782

1　事業の背景・目的

耐力度の低い危険な校舎を改築し、安全・安心の確保を図ります。
桃映中学校北校舎については、耐力度が4,135点（5,000点以下で改築の対象）のため改築を実施します。

2　事業の内容

桃映中学校北校舎改築工事（平成25～26年度の継続工事）
桃映中学校北校舎改築工事に伴う電気設備工事（平成25～26年度の継続工事）
桃映中学校北校舎改築工事に伴う機械設備工事（平成25～26年度の継続工事）
桃映中学校北校舎改築工事に伴う外構整備工事
桃映中学校北校舎解体工事
桃映中学校北校舎改築工事に伴う施設備品の購入

3　事業費の内訳

（款）教育費（項）中学校費（目）学校建設費　　370,047千円

工事請負費　362,000千円　　備品購入費　7,400千円
旅費ほか　　647千円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）教育費国庫補助金
学校施設環境改善交付金　　68,224千円
（款）市債　　（項）市債　　（目）教育債
学校教育施設等整備事業債　　193,500千円
一般単独事業債　　47,200千円

担当課	教育委員会教育総務課	電話	直通 24-7061　内線 5114

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	小学校耐震改修事業 幼稚園耐震改修事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
23,240	国	府	市債	その他	一般財源	
	7,200		14,900		1,140	63,050

1　事業の背景・目的

学校施設の耐震化を行い、生徒等の安全と安心の確保を図ります。耐震補強工事を実施するための実施設計等を行います。

2　事業の内容

小学校

惇明小学校管理棟耐震改修検討委員会費用

幼稚園

大正幼稚園園舎耐震化工事

3　事業費の内訳

（款）教育費（項）小学校費（目）学校建設費　340千円

（款）教育費（項）幼稚園費（目）幼稚園費　22,900千円

工事請負費　22,900千円　報償費ほか　340千円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）教育費国庫補助金

住宅・建築物安全ストック形成事業（幼稚園）　7,200千円

（款）市債　（項）市債　（目）教育債

合併特例事業債（幼稚園）　14,900千円

担当課	教育委員会教育総務課	電話	直通 24-7061　内線 5114

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	市民交流プラザふくちやま管理運営事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
77,010	国	府	市債	その他	一般財源	
				10,260	66,750	－

1　事業の背景・目的

平成26年4月から開館する「市民交流プラザふくちやま」は、まちの中心である福知山駅北周辺に、「まちと人・人と人をつなぐ交流空間の創造」を基本コンセプトにし、子どもから高齢者まで多くの市民が気軽に「学ぶ・集う・支える」機能を備えた施設です。

「市民交流プラザふくちやま」では、市民の様々な生涯学習活動・市民活動・地域活動等を支える公民館機能や20万冊の蔵書を備える図書館を中心に、市民の生活・学習・文化活動を支援し、まちに活気と賑わいをもたらす中心市街地の活性化に寄与する複合施設であり、また併せて社会教育機能のほか福祉、雇用等の機能も有していることから、一体的な施設管理を実施します。

2　事業の内容

交流プラザふくちやまの管理運営経費
効率化のため一括して業務委託

3　事業費の内訳

・需用費／消耗品費、印刷製本費、光熱水費　35,896千円
・役務費／通信運搬費、手数料、保険料　2,451千円
・委託料／維持管理業務　38,483千円
・使用料及び賃借料／複写機使用料、その他機器借上料　180千円

4　主な特定財源

・市民交流プラザふくちやま駐車場使用料　7,000千円
・市民交流プラザふくちやま使用料　1,700千円
・市民交流プラザふくちやま自動販売機設置貸付収入　240千円
・市民交流プラザふくちやま共益費　1,320千円

担当課	教育委員会中央公民館	電話	直通 22-9551　内線 5170

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">（図書館）中央館運営事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">34,273</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>156</td><td>34,117</td><td>13,703</td></tr>
</table>

１　事業の背景・目的

「市民交流プラザふくちやま」に平成２６年６月に新図書館中央館がオープンします。新しい図書館が、市民の皆さんの知識と文化を育む拠点として多くの方に満足してご利用いただけるように、また、駅周辺地域のまちの活気と賑わいをもたらし、中心市街地の活性化に寄与するため安定した図書館サービスの提供を行います。

２　事業の内容

①図書館協議会の委員報酬[12名・年5回開催]
②臨時職員雇用経費[12名]
③朗読・案内・配架ボランティア費用
④消耗品費、公用車管理費、通信運搬費
⑤移動図書館運転及び配本業務委託
⑥夜間館内整理業務委託
⑦図書館システム、コピー機等使用料
⑧図書館公的関係団体への年会費等の負担　など

３　事業費の内訳

・報酬480千円／賃金19,735千円／報償費343千円／旅費182千円／
需用費2,718千円／役務費916千円／委託料5,010千円／
使用料及び賃借料3,911千円／備品購入費880千円
負担金及び交付金33千円／公課費65千円

担当課	教育委員会 図書館中央館	電話	直通 22-3225　　内線 5162

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	川口地域体育館耐震補強改修事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
13,500	国	府	市債	その他	一般財源	
			4,500	7,200	1,800	－

1　事業の背景・目的

昭和51年度に建設された川口地域体育館は、災害時の広域避難所等の機能を持つ地域拠点施設です。

平成22年度に広域避難所として耐震診断調査を実施しましたが、結果、耐震補強工事が必要と診断されました。

広域避難所の機能を有している川口地域体育館の耐震性の確保は急務であり、地域住民の安心・安全を確保するために耐震補強改修工事を実施する必要があります。

また、建設以来の経年劣化により外壁の腐食や塗装の剥離も進んでいるため、外装等の改修工事を行い、施設の長寿命化を図ります。

2　事業の内容

平成25年度において耐震改修工事の実施設計を行った川口地域体育館について、耐震改修工事を実施し、あわせて外装等の改修工事を行います。

3　事業費の内訳

川口地域体育館　耐震改修工事　　4,500千円
川口地域体育館　外装改修工事　　9,000千円

工事請負費／工事請負費／川口地域体育館　耐震改修工事
外装改修工事

4　主な特定財源

（款）繰入金　（項）基金繰入金　（目）基金繰入金
地域の元気臨時交付金基金繰入金　　7,200千円
（款）市債　（項）市債　（目）教育債
緊急防災・減災事業債（川口地域体育館）　4,500千円

担当課	教育委員会中央公民館	電話	直通 22-9551　内線 5170

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	読書活動支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
784				784		300

1　事業の背景・目的

新図書館の開館初年度にあたり、図書館活動への一層の理解を深めると共に、図書館事業の充実を図り、幅広く市民に学習機会を提供することで、読書活動の普及や図書館利用の推進に努めます。

「佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金」を有効に活用し、これまで以上に子どもたちに本の楽しさを伝える機会を提供し、あわせて読書ボランティアや朗読ボランティアの育成に努めていきます。

2　事業の内容

①「子ども読書の日」記念事業　200千円
- 講師謝礼　150千円
- 講師旅費　50千円

② ボランティア養成講座　200千円
- 講師謝礼　読書ボランティア　100千円
- 朗読ボランティア　100千円

③ 夏休み子ども講座　60千円
- 講師謝礼　30千円×2回

④ 秋の読書週間事業（絵本作家原画展等）　300千円
- 講師謝礼　150千円
- 講師旅費　50千円
- 使用料及び賃借料　100千円

⑤ 講演会等保育ルーム開設費　24千円
- スタッフ謝礼　1,000円×2人×3ｈ×4回

3　事業費の内訳

報償費／報償金／講師謝礼　584千円
旅費／普通旅費　100千円
使用料及び賃借料／借上料　100千円

4　主な特定財源

佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金　784千円

担当課	教育委員会 図書館中央館	電話	直通 22-3225　内線 5162

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	埋蔵文化財体験活用事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
2,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,000				1,000	－

1　事業の背景・目的

福知山市第4次総合計画(第4節文化財の保存と活用)及び福知山市観光振興ビジョンを踏まえて計画する福知山市文化遺産活用活性化事業のメニューとして実施するもので、市内各地の埋もれた歴史・文化学習資料である埋蔵文化財(遺跡)に対し、市民、学生等が知的に且つ容易に学べ、郷土愛護を高める生涯学習教材として活用する手法として実施します。また市内には全国的に著名な遺跡群も存することから、これらを観光資源として捉え活用します。

2　事業の内容

市内に所在する主要埋蔵文化財地(遺跡)について、観光資源、ふるさとの歴史を学ぶ学習資料として活用できるよう、説明板の設置を行います。設置後観光振興部局と連携して見学ツアー、学習会を行います。

(設置予定遺跡)

大内城跡、下山古墳群、武者ヶ谷遺跡、和久寺廃寺他、計20箇所に設置予定。

3　事業費の内訳

【需用費】

消耗品費　　文房具類等　　20,000円

燃料費　　バス燃料費　　15,000円

印刷製本費　資料印刷第　　30,000円

【委託料】

説明板製作　埋蔵文化財説明板設置

90,000円×20箇所＝1,800,000円

遺跡探索ツアーバス運行代行委託

15,000円×3回＝ 45,000円

【使用料及び賃借料】

遺跡探索ツアーバス借上げ料

30,000円×3回＝ 90,000円

4　主な特定財源

（款）国庫支出金　（項）国庫補助金　（目）教育費国庫補助金

史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業補助金　　1,000千円

補助率50%

担当課	教育委員会生涯学習課	電話	直通 24-7064　内線 5151

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="6">福知山城魅力創出事業</td><td>新規</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="3">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">351</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>351</td><td></td></tr>
</table>

１　事業の背景・目的

福知山城を築城し城下町の基礎を築いた明智光秀を顕彰し、福知山の魅力を高めます。

２　事業の内容

明智光秀研究者監修のもと、明智光秀公研究会・福知山史談会等市内愛好家と協働で、明智光秀と福知山の関係をまとめた書物を出版します（平成27年度刊行）。

城－福知山城公園観光駐車場－城下町を結ぶ散策マップを作成し、城周辺の見所を解説します。また、成美大学と協働し福知山城の公式ＨＰを作成しＰＲするとともに、福知山城の活用を検討します。

３　事業費の内訳

監修謝礼50千円／旅費81千円／消耗品20千円／資料印刷100千円／ＨＰ作成委託料100千円

(1)市民と作る光秀解説本の作成（H27出版）

事業費151千円　内訳：報償費50千円／旅費81千円／消耗品20千円

(2)城－駐車場－城下をつなぐ散策マップの作成

事業費：100千円　内訳：印刷製本100千円

(3)成美大学と協働によるＨＰの作成・福知山城活用の検討

事業費100千円　内訳：委託料100千円

４　主な特定財源

京都府市町村振興協会市町村交付金351千円

担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033　内線 3133

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	体育施設設備整備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
82,793	国	府	市債	その他	一般財源	
			51,300	16,518	14,975	17,929

1　事業の背景・目的

体育施設の設備等の整備改修を行い、施設の充実と使用者の利便性・安全性の向上を図ります。

2　事業の内容

体育施設の設備等の整備・改修を実施します。

3　事業費の内訳

(1)施設修繕料　2,473千円

・市民運動場弓道場床面塗装修繕　473千円

・夜久野グラウンドゴルフ場芝改修修繕（12か所）
2,000千円（直径3m）×1回＝2,000千円

(2)工事請負費　80,000千円

・市民運動場野球場内野席増設工事　54,000千円

・市民体育館高圧受変電設備更新工事　20,000千円

・市民運動場庭球場改修工事　6,000千円

(3)備品購入費　320千円

・バンビ用卓球台　100千円×2台＝200千円

・温水プール更衣室ウインドファン　120千円

4　主な特定財源

市民運動場野球場広告収入（スポーツ振興課）　518千円
体育施設整備事業（合併特例）　51,300千円
地域の元気臨時交付金基金繰入金　16,000千円

担当課	地域振興部スポーツ振興課	電話	直通24－7069　内線5148

施策名	魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり					
事業名	市展事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
3,636				2,155	1,481	3,320

1　事業の背景・目的

平成26年度第50回の記念の年を迎える市展を開催します。市内を中心にはじまった市展事業ですが、現在では「北近畿市民公募展の登竜門」「市展と言えば福知山」と確固たる位置を占める市民公募展に発展してまいりました。市展の開催により三たん地域を対象に市民に創作活動の発表の場と文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、事業実施により、市民の芸術に触れる機会の創出を図ります。

2　事業の内容

絵画、書、写真、工芸、彫刻の5部門について作品を一般公募し、審査ののち、入賞・入選作品を厚生会館に展示。運営委員会により日程・要綱を決定し、6月から広報し作品を募集します。10月初旬に作品を受付、審査し入賞・入選を決定します。　11月3日に表彰式を開催します。

平成26年度は50回記念として次の取り組みをします。

(1)50回記念賞の設定
(2)市展功労者表彰の実施
(3)新人賞の設置
(4)会期の延長　4日→5日
(5)出品料（一般）の値上げ　1,500円→2,000円

3　事業費の内訳

報酬135千円、賃金（臨時職員）149千円、報償費（運営委員・審査員）525千円、賞金（市展賞）250千円、需用費（消耗品・印刷製本）839千円、役務費（郵送料・手数料・筆耕料）261千円、委託料（審査会補助・会場設営・監視）552千円、使用料（厚生会館使用料）925千円

4　主な特定財源

京都府市町村振興協会市町村交付金1,100千円、作品出品料805千円、基金繰入金250千円

担当課	地域振興部まちづくり推進課	電話	直通 24-7033　内線 3133

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	国民健康保険事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
7,949,600	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,930,402	437,338		5,581,860		7,970,900

1　事業の背景・目的

職場の健康保険など他の医療保険に加入していないすべての市民を対象に、法律に基づき国民健康保険事業を運営しています。

国民健康保険の保険者として、保険給付をはじめ被保険者の健康保持・増進のための保健事業、これらの事業の財源に充てるための保険料の賦課・徴収などを行います。

2　事業の内容

【主な事業】

○保険料の賦課・徴収

年々増大する医療費支出に対応する保険料の賦課については、前期高齢者を中心に保険給付費の支出が増高しており、国保財政は大変厳しい状況ではありますが、平成25年度に保険料の負担増をお願いしたところであり、被保険者の負担を考慮して据え置くこととします。

○国保人間ドック事業　　予算額：20,461 千円（25 年度比　571 千円増）

対　象　保険料滞納がない世帯で、受診日に満 30 歳以上の国民健康保険被保険者
受診見込人員　　800 人（25 年度と同じ）
人間ドック費用　　36,000円（25年度比　1,000円増額）
自己負担額　　10,800 円（3 割負担）
受診方法　　市内の指定医療機関で受診

○特定健康診査等事業　　予算額：61,160 千円

対　象　　受診日に満 40 歳以上の国民健康保険被保険者
受診見込人員　　4,000 人（集団 1,500 人、個別 2,500 人）（25 年度と同じ）
自己負担額　　500 円　※70 歳以上、非課税世帯は無料（25 年度と同額）
受診方法　　集団健診（各保健福祉センター・地域公民館など）
　　個別健診（市内の指定医療機関）

＊満75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者については別途健診事業あり。

3　事業費の内訳　　計　　7,949,600千円　　（　）内%は予算構成比率

総務費（人件費、物件費）	147,407千円	（ 1.9%）
保険給付費	5,504,325千円	（69.2%）
後期高齢者支援金、介護納付金など	1,332,178千円	（16.8%）
共同事業拠出金	795,880千円	（10.0%）
保健事業費（国保検診ほか）	109,342千円	（ 1.4%）
その他	10,468千円	（ 0.1%）

予備費		50,000千円（ 0.6%）	
4 主な特定財源		（ ）内%は予算構成比率	
保険料(税)	1,513,668千円	(19.0%)	
国庫支出金	1,930,402千円	(24.3%)	
療養給付費交付金	342,828千円	(4.3%)	
前期高齢者交付金	2,122,323千円	(26.7%)	
京都府支出金	437,338千円	(5.5%)	
共同事業交付金	862,543千円	(10.9%)	
一般会計繰入金	606,718千円	(7.6%)	

担当課	市民人権環境部保険課	電話	直通 24-7015・24－7019 内線 2261、2265

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	国民健康保険診療所費特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
57,000				57,000		46,700

1　事業の背景・目的

国民健康保険の被保険者の診療やその他の便益を図り、住民の健康を保持するために雲原診療所を設置運営します。

2　事業の内容

診療日　　毎週月曜日・水曜日・金曜日
医　師　　市民病院からの派遣

3　事業費の内訳

歳入

診療所診療収入	33,600千円
国保特別会計繰入金	6,000千円
一般会計繰入金	17,298千円
その他（手数料・雑入）	102千円

歳出

診療所管理費	36,926千円
バリアフリー工事	3,120千円含む
医業諸費	18,949千円
元利償還金	125千円
予備費	1,000千円

4　主な特定財源

国民健康保険調整交付金

担当課	市民人権環境部 保険課	電話	直通 24-7019　内線 2265

<table>
<tr><td>施策名</td><td colspan="6">地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="5">休日急患診療所費特別会計</td><td>継続</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予算額(千円)</td><td colspan="5">財源内訳(千円)</td><td rowspan="2">前年度
予算額</td></tr>
<tr><td rowspan="2">21,200</td><td>国</td><td>府</td><td>市債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>21,200</td><td></td><td>21,900</td></tr>
</table>

1　事業の背景・目的

休日において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診療を提供することにより市民が安心して生活できる環境を整備するため、昭和52年から福知山市休日急患診療所を社団法人福知山医師会、福知山薬剤師会の協力を得て、実施しています。

2　事業の内容

(1) 診療科目　　内科・小児科

(2) 診療日　　日曜日、祝日
12月30日・31日、1月1日・2日・3日
（＊年間71日開設）

(3) 診療時間　　午前9時～午後0時30分
午後1時30分～午後6時

3　事業費　　21,200千円

・総務管理費　6,593千円
・医業費　14,095千円
・公債費利子　12千円
・予備費　500千円

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788　内線 6200

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
7,335,800	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,822,627	1,038,893		4,474,280		7,177,100

1　事業の背景・目的

平成12年度からスタートした介護保険制度は、介護を社会全体で支える仕組みとして定着してきました。

しかし、一方で介護や支援を必要とする方の急増による給付費の増大、認知症や一人暮らし高齢者の増加など様々な環境や状況の変化から見直しを迫られ、数度にわたり制度の改正も行われてきたところであります。

市町村は、介護保険の保険者として、第１号被保険者（６５歳以上の方）の保険料賦課徴収、介護認定、各種負担軽減制度の実施、介護保険制度の周知、地域密着型サービス事業所の指定・指導、介護給付費の支払い、福祉用具・住宅改修の許可など様々なサービスの提供やそれに関連する事務を行っています。そのほかにも、地域支援事業として、地域包括支援センターと連携しながら、介護予防事業や保険外の各種事業にも取り組んでいます。

これらにかかる経費を予算化するものです。

2　事業の内容

(1) 一般管理費
・介護保険運営にかかる事務費、人件費

(2) 賦課徴収費
・介護保険料の賦課徴収にかかる事務費、人件費

(3) 介護認定審査会費
・介護認定にかかる事務費、人件費

(4) 保険給付費
・介護給付費として、国保連合会等に支払う経費

(5) 介護予防事業費
・二次予防対象者把握、訪問型・通所型介護予防、訪問リハビリなど、介護予防にかかる経費

(6) 包括的支援・任意事業
・介護用品、安心生活見守り、配食サービスなど介護保険外で任意にすすめる事業にかかる経費

【市長マニフェスト事業】

〇安心生活見守り事業

緊急・相談通報装置をひとり暮らし高齢者等の希望者に対して設置し、急病、事故及び日常生活における相談に対して２４時間・３６５日対応する。

事業委託先：（社）福知山市社会福祉協議会

(7) 基金積立金
・介護給付費準基金の利子積立
(8) 公債費
・基金繰替運用利子
(9) 予備費
・緊急対応時に備えた予算
(10)償還金及び還付加算金
・第１号被保険者保険料還付金

３ 事業費の内訳

(1) 一般管理費	161,861千円	
(2) 賦課徴収費	18,194千円	
(3) 介護認定審査会費	52,588千円	
(4) 保険給付費	6,931,108千円	
(5) 介護予防事業費（人件費除く）	38,251千円	
(6) 包括的支援・任意事業（人件費除く）	121,530千円	
（うち、安心生活見守り事業		29,780千円
地域包括支援センター運営事業		2,385千円）
(7) 基金積立金	242千円	
(8) 公債費	66千円	
(9) 償還金及び還付加算金	1,960千円	
(10) 予備費	10,000千円	

４ 主な特定財源

・介護保険料（現年度分）	1,275,622千円
・介護保険料（滞納繰越分）	4,283千円
・督促手数料他	251千円
・介護給付費国庫負担金	1,249,184千円
・調整交付金	502,505千円
・国庫補助金（介護予防）	16,823千円
・国庫補助金（包括・任意）	54,115千円
・支払基金交付金	2,029,536千円
・介護給付費府負担金	1,003,425千円
・府補助金（介護予防）	8,411千円
・府補助金（包括・任意）	27,057千円
・財産収入	242千円
・一般会計繰入金（給付）	901,856千円
・一般会計繰入金（その他）	190,264千円
・基金繰入金	71,162千円
・延滞金	300千円
・雑入	764千円

担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7013 内線 2144

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	介護保険事業（介護サービス事業勘定）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
33,000	国	府	市債	その他	一般財源	
				33,000		30,600

1　事業の背景・目的

高齢化が進み、要支援認定者（介護予防サービス対象者）が増加傾向にあります。この要支援者を対象にした介護予防サービスの介護予防ケアプラン作成については、地域包括支援センターが受け、直轄で作成を行う分と、その他の介護支援事業所に委託する分があります。この介護予防ケアプラン作成等にかかる経費の予算計上を行います。

2　事業の内容

(1) 地域包括支援センター運営事業　3,062千円

・センター運営にかかる事務費。介護予防支援等で使用する包括支援センターシステム機器更新のため、平成25年度予算（932千円）に比べて、2,130千円増となっています。

(2) 地域包括支援センター運営事業（人件費）　11,387千円

・プランを作成するセンター職員の人件費。平成25年度から4人分の人件費を計上しているが、報酬の減額により、平成25年度予算(11,876千円)に比べて△489千円としています。

(3) 介護予防サービス計画作成事業　18,380千円

・センターから介護支援事業所にプラン作成を委託する委託経費。プラン作成数の増加から平成25年度予算(17,621千円)に比べて759千円の増額となっています。

(4) 基金積立金　66千円

・介護サービス事業基金にかかる利息を積み立てます。

(5) 一時借入金利子　5千円

・支払いのために一時借入金（基金繰替運用）を行う際の利息。

(6) 予備費　100千円

・不足の事態に備えて予備費を計上します。

3　事業費の内訳

(1) 地域包括支援センター運営事業　3,062千円

・消耗品費　104千円、電信・電話料　47千円、システム機器更新業務委託料　2,911千円

(2) 地域包括支援センター運営事業（人件費）　11,387千円

・嘱託職員　４名分

(3) 介護予防サービス計画作成事業　18,380千円

・センターで受けるプラン作成のうち、介護支援事業所に委託する委託料（委託率55.8%）

(4) 基金積立金　66千円
(5) 一時借入金　5千円
(6) 予備費　　100千円

4　主な特定財源
・介護予防サービス計画作成料
・介護サービス事業基金利子

担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7013　内線 2144

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	後期高齢者医療事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,831,800	国	府	市債	その他	一般財源	
				1,831,800		1,882,000

1　事業の背景・目的

75歳以上の高齢者を対象とした医療保険制度です。京都府後期高者医療広域連合が保険者の役割を果たし、高齢者の医療の確保に関する法律第48条に規定する後期高齢者医療の事務を行います。

2　事業の内容

（1）一般管理費　　・後期高齢者医療事業運営に係る一般経費。

（2）一般管理費（人件費）　・後期高齢者医療事業運営に係る人件費。

（3）後期高齢者医療保険料徴収事業

・京都府広域連合が賦課を行った保険料の徴収を市が行います。

（4）後期高齢者医療広域連合納付金

・京都府後期高齢者医療広域連合規約に基づき算出された納付金を納めます。

① 共通経費

広域連合の組織運営に要する事務費負担金

② 保険料納付金

特別徴収、普通徴収により徴収した保険料負担金

③ 保険基金安定負担金

低所得者等の保険料軽減分を公費補填する負担金

④ 療養給付費負担金

療養の給付に要する負担金

（5）後期高齢者医療保健事業

・疾病予防、早期発見、早期治療により医療費を抑制します。

（6）後期高齢者医療人間ドック

・疾病予防、早期発見、早期治療により医療費を抑制します。

（7）公債費　　・一時借入金の利子

（8）保険料還付金　　・保険料の還付金

（9）予備費　　・緊急対応時に備えた予算

3　事業費の内訳

（1）一般管理費　　9,077千円

（2）一般管理費（人件費）　　18,196千円

（3）後期高齢者医療保険料徴収事業

・旅費　　14千円

・需用費　　546千円

・役務費　　2,640千円

・委託料　461千円（新規）

（４）後期高齢者医療広域連合納付金

・共通経費負担金　23,307千円
・療養給付費負担金　796,554千円
・保健基盤安定負担金　242,077千円
・保険料等負担金　703,224千円

（５）後期高齢者医療保健事業

・賃金　947千円
・需用費　220千円
・役務費　574千円
・委託料　22,809千円
・使用料及び賃借料　13千円

（６）後期高齢者医療人間ドック事業

・需用費　71千円
・役務費　97千円
・委託料　6,424千円

（７）公債費　164千円
（８）保険料還付金　1,385千円
（９）予備費　3,000千円

４　主な特定財源

・特別徴収　449,526千円
・普通徴収　230,532千円
・普通徴収（過年度分）　2,633千円
・証明手数料　1千円
・督促手数料　225千円
・一般会計繰入金　1,110,117千円
・延滞金　374千円
・保険料還付金　1,385千円
・雑入　16,848千円
・繰越金　20,159千円

担当課	市民人権環境部保険課	電話	直通 24-7018　内線 2145

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	病院事業（市立福知山市民病院事業）					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
11,488,900	国	府	市債	その他	一般財源	
	14,500	33,070		11,441,330		10,984,700

1　事業の背景・目的

市民病院は福知山市域のみならず、ますます広域化する医療ニーズに対応するため、引き続き医療機能を充実させるとともに、平成25年度から施工中の救命救急棟建設事業の完成を進め、「地域救命救急センター」としての救急医療機能や透析医療体制の整備・拡充を推進します。

2　事業の内容

【主な事業】　救命救急棟の運用開始（平成26年9月予定）

① 施設の概要

RC造　地上4階建　延べ床面積　3,347㎡

1階　救急外来、治療室

2階　透析病棟（36床で運用開始予定）

3階　救急専用病床（ICU、CCU等10床）

4階　機械室・受電室・発電機室等

西側イメージ図

北側イメージ図

② 総事業費　1,607,542千円

③ その他　救命救急棟の建築にあわせ、既存本館内の再配置に伴う改修工事を行います。

3　事業費の内訳

【主な事業】

① 救命救急棟建設工事（平成26年度分事業費）　423,781千円

② 医療機器等整備　404,390千円

4　主な特定財源（救命救急棟建設事業）

① 京都府地域医療再生事業費補助金　200,000千円

② 京都府中丹地域医療再生事業補助金　100,000千円

担当課	市民病院 事務部総務課	電話	代表 22-2101　内線 2211

施策名	地域で支えるみんなにやさしい健康・福祉のまちづくり					
事業名	病院事業（国民健康保険新大江病院）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
341,650	国	府	市債	その他	一般財源	
			150,000	172,500		42,844

1　事業の背景・目的

地域医療を確保し、住民のいのちと健康を守る病院を設置運営します。

2　事業の内容

〇国民健康保険新大江病院の施設整備事業

・経年劣化の改修等

〇国民健康保険新大江病院事業に関する企業債の償還

・旧大江町から継承した施設整備に係る償還金

3　事業費の内訳

収益的支出:事業費用

経費	76千円
企業債利息	3,260千円

資本的支出

病院施設整備費	300,000千円
企業債元金	19,164千円
減価償却費	19,150千円（経理上財源不足とし内部留保を行わない）

4　主な特定財源

病院債

その他（一般会計からの繰入金）

担当課	市民人権環境部 保険課	電話	直通 24-7019　内線 2265

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	簡易水道事業（簡易水道事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
1,005,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	61,985	6,386	250,400	686,229		883,000

1　事業の背景・目的

安心安全な水を継続的に供給するため、適正な施設の維持管理に努めるとともに、水道未普及地域解消のため大江町橋谷地区に水道施設を整備します。また、平成29年度の上水道との経営統合に向けて老朽化している配水管、漏水が多発している配水管、残存している石綿管を布設替えすることにより断水事故を解消します。

2　事業の内容

【主な事業】

（１）施設維持管理事業

・155カ所の施設を運転、維持管理するための消耗品（薬品等）、ポンプ運転電気料、機器の保守点検、漏水調査業務、ろ過砂入替業務、施設清掃業務等

（２）水道未普及地域解消事業

・福知山北部簡易水道　橋谷送水管布設工事

・福知山北部簡易水道　橋谷配水管布設工事

（３）生活基盤近代化事業

・畑簡易水道　今里配水管布設替工事

（４）その他簡易水道改良事業

・細見簡易水道　芦渕配水管布設替工事

・大江町中央簡易水道　金屋配水支管布設替工事

・中夜久野簡易水道　末配水管布設替工事

・上夜久野簡易水道　副谷配水管布設替工事

3　事業費の内訳

【主な事業】

（１）施設維持管理事業

事業費　106,147千円

（内訳）　需用費　51,115千円（消耗品費、光熱水費等）

委託料　35,797千円（維持管理業務等）

その他　19,235千円

（２）水道未普及地域解消事業

事業費　147,660千円

（内訳）　工事請負費　140,626千円

その他　7,034千円

（３）生活基盤近代化事業

事業費　　51,890千円

（内訳）　工事請負費　　51,288千円

その他　　602千円

（４）その他簡易水道改良事業

事業費　　52,000千円

（内訳）　工事請負費　　52,000千円

４　主な特定財源

・簡易水道使用料　　277,769千円
・簡易水道施設費国庫補助金　　61,985千円
・簡易水道施設費府補助金　　6,386千円
・一般会計繰入金　　356,961千円
・簡易水道事業債　　250,400千円

担当課	上下水道部 総務課 お客様サービス課 水道課	電話	 直通 22-6503　内線 72-370 直通 22-6500　内線 72-210 直通 22-6502　内線 72-300

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	農業集落排水施設事業（農業集落排水施設事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
939,100	国	府	市債	その他	一般財源	
	0	20,000	212,900	706,200	0	894,400

1　事業の背景・目的

農山村地域における用排水の水質保全、生活環境の改善を図るため、市内21地区で運営している農業集落排水施設事業の処理場、マンホールポンプ（311箇所）、管渠など各施設の適正な維持管理に努めます。

2　事業の内容

【主な事業】

施設管理事業

農業集落排水施設中六人部地区施設管理事業ほか市内全21地区（簡易排水1地区を含む。）の農業集落排水施設の維持管理等

3　事業費の内訳

【主な事業】

施設管理事業

事業費　416,714千円

（内訳）需用費　76,931千円（光熱水費・修繕料等）
委託料　207,458千円（処理施設維持管理業務等）
工事請負費　60,588千円（管渠移設工事等）
負担金補助及び交付金　17,043千円（汚泥処理負担金等）
その他　54,694千円（直営経費）

4　主な特定財源

・集落排水使用料　181,775千円
・一般会計繰入金　484,229千円
・集落排水事業債　212,900千円
・農山漁村地域整備交付金　20,000千円

担当課	上下水道部 総務課 お客様サービス課 下水道課	電話	直通 22-6503　内線 72-370 直通 22-6500　内線 72-210 直通 23-2085　内線 72-401

施策名	人と自然が共生する・安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	水道事業（水道事業会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	企業債	その他	一般財源	
3,341,800		13,269	950,000	2,378,531		2,380,600

1　事業の背景・目的

市民生活や産業活動を支える重要なライフラインとして、災害に強い水道施設の整備に取り組みます。

本年度は、堀浄水場緩速ろ過池更新工事など老朽化した施設や管路の更新を計画的に進め、水道水の安定供給に努めます。

2　事業の内容

【主な事業】

建設改良事業

・堀浄水場緩速ろ過池更新工事（平成２６～２７年度継続事業）
・岩崎多保市線他配水管布設替工事
・国道１７５号線配水管布設替工事　　他

3　事業費の内訳

【主な事業】

・堀浄水場緩速ろ過池更新工事　800,200千円
（全体事業費　1,332,000千円）
・岩崎多保市線他配水管布設替工事　35,000千円
・国道１７５号線配水管布設替工事　29,000千円

4　主な特定財源

・水道料金　1,291,584千円
・企業債　950,000千円
・加入金　52,734千円
・一般会計繰入金　103,227千円

担当課	上下水道部 総　務　課 お客様サービス課 水　道　課	電話	直通22-6503　内線72-370 直通22-6500　内線72-210 直通22-6502　内線72-300

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	下水道事業（下水道事業会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	企業債	その他	一般財源	
5,802,400	498,800		716,700	4,586,900		4,664,300

1　事業の背景・目的

浸水対策、公衆衛生の確保、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を担う事業として、災害に強い下水道施設の整備に取り組みます。

本年度は、前年度に引き続き土師・堀地区の浸水対策事業を実施するとともに、福知山終末処理場雨天時排水ポンプエンジン更新など老朽化した施設の更新事業を行います。

2　事業の内容

【主な事業】

建設改良事業

・土師新町貯留施設設置工事（平成２５年度～２６年度継続事業）
・堀高田貯留施設設置工事（平成２５年度～２６年度継続事業）
・福知山終末処理場　雨天時排水Ｎｏ．３ポンプエンジン更新工事

3　事業費の内訳

【主な事業】

管渠施設拡張事業費

雨水管渠布設事業費

・土師新町貯留施設設置工事　284,000千円
・堀高田貯留施設設置工事　188,000千円

処理場施設改良事業費

その他処理場施設改築更新事業費

・福知山終末処理場
雨天時排水Ｎｏ．３ポンプエンジン更新工事　150,000千円

4　主な特定財源

・下水道使用料　1,481,729千円
・一般会計負担金等　922,000千円
・企業債　716,700千円
・国庫補助金　498,800千円

担当課	上下水道部 総務課 お客様サービス課 下水道課	電話	直通 22-6503　内線 72-370 直通 22-6500　内線 72-210 直通 23-2085　内線 72-401

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	石原土地区画整理事業 （石原土地区画整理事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
995,900				995,900		1,341,300

1　事業の背景・目的

石原地区は、近畿自動車道敦賀線の開通に伴い、広域的な観点から福知山ICへのアクセス道路の整備が必要となっています。一方、既存の幹線道路や生活道路は拡幅等による改善、更には長田野工業団地に近いことから良質な住宅地の供給が求められています。

こうしたことから、石原土地区画整理事業では、都市基盤及び都市施設を整備し、生活利便性の向上を図るとともに、良好な生活環境を形成する市街地づくりを行います。

2　事業の内容

本事業は、平成4年度に事業着手、以後、都市基盤及び都市施設の整備を行い、平成21年度に換地処分を完了したところです。このような経過を踏まえ、平成26年度は、特別会計の早期閉鎖に向け、積極的な保留地の売却に努めます。

3　事業費の内訳

旅費	84千円
需用費（消耗品費）	236千円
役務費（通信運搬費、広告料、手数料ほか）	6,132千円
委託料（除草業務、事業計画変更業務ほか）	4,510千円
工事請負費（保留地の整備工事）	2,000千円
公債費	1,138千円
前年度繰上充用金	981,800千円

4　財源の内訳

保留地処分金	936,443千円
一般会計繰入金	59,427千円
雑入（使用料）	30千円

担当課	土木建設部 都市整備課	電話	直通 24-7048　内線 4332・4334

施策名	人・物・情報が行き交う交流め連携のまちづくり					
事業名	福知山駅周辺土地区画整理事業 （福知山駅周辺土地区画整理事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
158,200				158,200		530,800

1　事業の背景・目的

福知山駅周辺地区は、本市の中心部に位置し、商業・業務施設が集積し、中央部にはJR福知山駅及びKTR福知山駅やバスターミナルがあり、交通の結節点となっています。しかし、市街地が広大な平面鉄道によって分断されており、駅南北における状況は著しく異なっています。

こうしたことから、福知山駅周辺土地区画整理事業では、福知山駅付近連続立体交差事業とあわせて、都市基盤を整備し、鉄道高架後の土地、未利用地の有効利用、また、都市施設を拡充することによって、南北市街地の一体化、都市機能の強化を図り、総合的な都心づくりを行います。

2　事業の内容

本事業は、平成7年度に事業着手、以後、都市基盤及び都市施設の整備を行い、平成25年12月に換地処分を完了したところです。このような経過を踏まえ、平成26年度は、特別会計の早期閉鎖に向け、積極的な保留地の売却に努めます。また、都市基盤整備等の完了を記念し、竣工式典を開催します。

3　事業費の内訳

旅費	288千円
需用費（消耗品費、印刷製本費）	1,273千円
役務費（通信運搬費、手数料ほか）	5,923千円
使用料及び賃借料	116千円
委託料（会場設営業務ほか）	1,068千円
工事請負費（保留地の整備工事）	324千円
公債費	408千円
前年度繰上充用金	148,800千円

4　財源の内訳

保留地処分金	158,150千円
雑入（清算金）	50千円

担当課	土木建設部 都市整備課	電話	直通 24-7048　内線 4332・4334

施策名	人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり					
事業名	河守土地区画整理事業 （河守土地区画整理事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
33,100	国	府	市債	その他	一般財源	
				33,100		48,400

1　事業の背景・目的

河守地区は、国道175号沿線や山手側では商工業施設や住宅等が立地しており、一定の宅地化が進んでいるものの、KTR側は過去の水害により宅地化が進んでいない状況です。

こうしたことから、河守土地区画整理事業では、由良川・宮川の築堤改修や国道175号の沿道環境整備とあわせて、安心かつ快適に住み続けられる市街地の環境づくりを行います。

2　事業の内容

本事業は、平成15年度に事業着手、以後、都市基盤及び都市施設の整備を行い、平成24年度に換地処分を完了したところです。このような経過を踏まえ、平成26年度は、特別会計の早期閉鎖に向け、積極的な保留地の売却に努めます。

3　事業費の内訳

旅費	28千円
需用費（消耗品費、印刷製本費）	361千円
役務費（通信運搬費、広告料、保険料ほか）	150千円
委託料（除草業務ほか）	430千円
工事請負費（整地工事ほか）	4,700千円
公課費	8千円
公債費	223千円
前年度繰上充用金	27,200千円

4　財源の内訳

保留地処分金	33,020千円
雑入（清算金）	80千円

担当課	土木建設部 都市整備課	電話	直通 24-7048　内線 4332・4334

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	宅地造成事業(宅地造成事業特別会計)					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
38,600	国	府	市債	その他	一般財源	
				38,600		30,000

1　事業の背景・目的

戸田地区は、出水時における由良川の氾濫により幾度となく浸水被害を被ってきました。こうした背景の中で、国土交通省が実施する由良川改修による築堤事業により、対象家屋の集団移転先用地を、併せて実施した〝ほ場整備〟区域内の既存集落隣接地に確保、造成を行い代替地として分譲するもので、地区計画を導入し「農」と「住」の一体的な整備による田園住区を創出していきます。

併せて、移転対象とならない既存集落についても移転先住宅用地と一定的に集落環境整備を行い、本集落の一体性を確保していきます。

2　事業の内容

［全体計画］

	非農用地造成事業	集落環境整備事業
開発区域	6.2ｈａ	6.7ｈａ
事業概要	宅地分譲　85区画 区画道路、公園施設、 防災設備、管路整備 事業年度：平成14年度 ～平成26年度	集落道路、幹線道路、 防災設備、公園緑地 事業年度：平成13年度～ 平成26年度

［平成26年度事業概要］

・造成地植栽工　1式
・未分譲宅地除草等委託料　1式
・雨水排水ポンプ施設点検清掃費　1式
・集落道路改良　2路線、農道舗装　1路線

3　事業費の内訳

・工事請負費　7,600千円
・委託料　400千円
・用地買収費　100千円
・物件移転補償費　6,000千円
・事務費(人件費含む)　8,744千円
・前年度繰上充用金　15,700千円
・一時借入金利子　56千円

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041　内線 4112

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	と畜場費特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
28,800				28,800		27,300

1　事業の背景・目的

京都府北部における農畜産振興、安心・安全な食肉供給施設並びに生産流通における重要な機能の維持確保を図ることを目的として実施します。

また、地産地消及び食育の推進に寄与するものであります。

2　事業の内容

食用に供する牛・豚などのと畜が、衛生的かつ円滑に実施されるための施設の維持管理を行います。

年間利用頭数（H24年度）

大動物（牛、馬）　810頭

小動物（仔牛等）　12頭

3　事業費の内訳

一般管理費　25,806千円

食肉センター運営補助　2,346千円

一時借入金利子　148千円

予備費　500千円

4　主な特定財源

施設使用料　4,967千円

一般会計繰入金　1,966千円

雑入（4市運営負担金ほか）　21,867千円

担当課	農林商工部 農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	公設地方卸売市場事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
7,000				7,000		7,500

1　事業の背景・目的

生産者に安定的な販路を提供するとともに、消費者には生鮮食料品等を日々安定的に供給する多数の小売商等の仕入機構としての役割を果たし、取引の適正化と流通の円滑化を図ることにより、市民生活の安定に寄与することを目的として実施します。

平成24年度から指定管理者制度（利用料金制）を導入しております。

2　事業の内容

市場取引業務、施設管理について指定管理者に適正な指導助言を行い、協定に基づく施設修繕を実施します。

価格安定対策事業の実施により、地場野菜の流通促進を図ります。

平成24年度青果取扱量・高

野菜	1,471,329kg	355,075,445円
果実	978,047kg	248,154,441円
花きなど		5,324,822円

3　事業費の内訳

一般管理費	5,931千円
一時借入金利子	69千円
予備費	1,000千円

4　主な特定財源

一般会計繰入金	7,000千円

担当課	農林商工部 農業振興課	電話	直通 24-7044　内線 4120

施策名	地域の個性と資源を生かす産業創造のまちづくり					
事業名	福知山市下夜久野地区財産区管理会特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
172	国	府	市債	その他	一般財源	
				172		172

1　事業の背景・目的

福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全並びに基金の管理を図ります。

2　事業の内容

・財産区有林の現地確認による保全管理
・下夜久野地区財産区管理会に要する費用の財源及び財産区保有の財産の維持管理を実施する費用の財源確保

3　事業費の内訳

・管理経費

報酬	160千円
需用費(消耗品費)	3千円
役務費	1千円

・維持経費

需用費（印刷製本費）	3千円
負担金補助及び交付金	4千円
積立金	1千円

・合計　172千円

4　主な特定財源

福知山市下夜久野地区財産区財政調整基金　172千円

担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1101　内線 74-9211

施策名	人・物・情報が行き交う交流・連携のまちづくり					
事業名	地域情報通信ネットワーク事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度予算額
	国	府	市債	その他	一般財源	
834,000			115,700	718,300		546,800

1　事業の背景・目的

平成18年度から実施している「ｅ－ふくちやま」事業は、全市域内での高速インターネット接続やテレビ難視聴対策など、地域間情報格差の解消及びＩＴ基盤の利活用による地域情報化の推進を目的としています。

この事業により整備した光ファイバー網及び情報通信基盤設備による安定したサービス提供を図るため、施設の保守管理や道路拡幅等による電柱移転に伴う光ファイバーの敷設替えを実施します。また、整備した光ファイバー網を活用し、ブロードバンド（インターネット）及びテレビ難視聴対策に係る追加申し込み世帯へサービスを提供するための光ファイバーを敷設します。さらに、整備済みの情報通信機器等の保守期間終了に伴う改修を行い、サービスの維持と安定供給を図ります。

2　事業の内容

（１）テレビ再送信施設のメンテナンス業務及び事故等のトラブル対応業務、並びに情報通信基盤施設の保守業務等を実施します。

ア　テレビ難視聴対策運営保守及び通信基盤施設保守業務

イ　地域イントラ設備機器保守業務

ウ　電柱共架料及び管路使用料・民地借地料

エ　放送・通信機器ハウジング料

オ　電柱支障移転

カ　加入金及び使用料の調定、納付書・督促状発送業務

（２）ＦＴＴＨ方式により敷設した光ファイバー網を活用し、ブロードバンドの加入促進、テレビ難視聴世帯の解消を図ります。

ア　ブロードバンドの加入促進対応

イ　テレビ難視聴地域における追加申し込み世帯の対応

（３）地域イントラネット基盤整備事業により整備した市役所庁内情報通信機器及びＦＴＴＨ網監視システム並びに通信機器の更新を行います。

3　事業費の内訳

（１）事業費　　371,391千円

「ｅ－ふくちやま」保守管理事業　190,692千円（継続）

「ｅ－ふくちやま」保守管理事業（職員人件費）　7,399千円（継続）

「ｅ－ふくちやま」整備事業　27,000千円（継続）

「ｅ－ふくちやま」施設更新事業　146,300千円（新規）

（２）公債費　　460,609千円

「ｅ－ふくちやま」整備事業分　460,609千円（継続）

（３）予備費　　2,000千円

４　主な特定財源

（１）テレビ再送信サービス加入金	88千円
（２）テレビ再送信サービス使用料	22,707千円
（３）光ファイバー網貸付収入	10,194千円
（４）「ｅ－ふくちやま」事業債（合併特例債）	115,700千円
（５）一般会計繰入金	685,311千円

担当課	総務部情報推進課	電話	直通 24-7060　内線 3121